



Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant DL360 Gen11サーバーユーザーガイド

部品番号: 30-1311EFD2-001-ja-JP
発行: 2023年2月
版数: 1

HPE ProLiant DL360 Gen11サーバーユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。Hewlett Packard Enterpriseでは、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

部品番号: 30-1311EFD2-001-ja-JP

発行: 2023年2月

版数: 1

© Copyright - 2023 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel®、Itanium®、Optane™、Pentium®、Xeon®、Intel Inside®、およびIntel Insideロゴは、Intel Corporationまたはその子会社の商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

Linux®は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

VMware ESXi™とVMware vSphere®は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

Red Hat® Enterprise Linuxは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc. の商標または登録商標です。

microSD®はSD-3Dの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Kensington®はACCO Brandsの登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

- コンポーネントの識別
 - フロントパネルのコンポーネント
 - フロントパネルのLEDとボタン
 - UIDボタンの機能
 - フロントパネルのLED電源障害コード
 - Systems Insight Display LED
 - Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明
 - リアパネルのコンポーネント
 - リアパネルのLED
 - システムボードのコンポーネント
 - ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント
 - 閉ループ液冷ヒートシンクのコンポーネント
 - システムメンテナンススイッチの説明
 - DIMMラベルの識別
 - DIMMスロット位置
 - ドライブボックスと番号
 - ホットプラグ対応ファン
 - HPEのベーシックドライブのLEDの定義
 - HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント
 - HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義
- セットアップ
 - オプションサービス
 - サーバーをセットアップする
 - 動作要件
 - 空間および通気要件
 - 温度要件
 - 電源要件
 - アース要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
 - 静電気対策
- 操作
 - サーバーデータバックアップ
 - サーバーの電源を切る
 - ラックからサーバーを引き出す
 - ケーブルマネジメントアームを解放する
 - ラックからサーバーを取り外す
 - アクセスパネルを取り外す
 - プライマリPCIeライザーケースを取り外す
 - プライマリPCIeライザーケースを取り付ける
 - ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し
 - Systems Insight Displayへのアクセス
 - アクセスパネルを取り付ける
 - サーバーの電源を入れる

- ハードウェアオプションの取り付け
 - はじめに
 - Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
 - コントローラー
 - タイプsストレージコントローラーを取り付ける
 - タイポストレージコントローラーを取り付ける
 - 冷却
 - 高性能ファンの取り付け
 - ドライブケース
 - 2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け
 - Energy Packオプション
 - 最小ファームウェアバージョン
 - HPE Smartストレージバッテリー
 - HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
 - Smartストレージバッテリー/キャパシターを取り付ける
 - ハードディスクドライブ
 - ドライブのガイドライン
 - ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け
 - 管理
 - Systems Insight Displayの取り付け
 - シリアルポートオプションの取り付け
 - メモリ
 - メモリ取り付け情報
 - DIMMプロセッサの互換性
 - DIMMブランクを取り付ける
 - DIMMの取り付け
 - ネットワーク
 - OCPネットワークアダプターを取り付ける
 - PCIeネットワークアダプターを取り付ける
 - オプティカルドライブとメディアベイ
 - 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け
 - 8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け
 - 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け
 - 4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け
 - OSブートデバイス
 - ブートデバイスドライブを取り付ける
 - HPE NS204iブートデバイスを取り付ける
 - 電源装置オプション
 - 冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け
 - プロセッサとヒートシンクのオプション
 - プロセッサに関する注意事項
 - プロセッサを取り付ける
 - ラックマウントオプション
 - ラックマウントインターフェイス
 - レール識別マーカ
 - ラックレールの取り付け

- サーバーをラックに取り付ける
- ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
- ケーブルマネジメントアームの取り付け
- ライザーおよびライザーケージオプション
 - PCIe5スロットの説明
 - プライマリPCIライザーケージオプション
 - スロット1への拡張ボードの取り付け
 - スロット2への拡張ボードの取り付け
 - プライマリライザーケージにGPUを取り付ける
 - セカンダリPCIライザーオプション
 - セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け
 - セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け
 - セカンダリライザーケージへの拡張ボードの取り付け
- セキュリティ
 - ベゼルの取り付け
 - シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け
 - Trusted Platform Module 2.0のガイドライン
- ケーブル接続
 - ケーブル接続のガイドライン
 - ケーブル配線図
 - 8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - NS204i-uのケーブル接続
 - OCPアダプター帯域幅アップグレードのケーブル接続
 - 電源ケーブルの接続
 - IOケーブル接続
 - Systems Insight Displayのケーブル接続
 - 侵入検知スイッチのケーブル接続
 - シリアルポートのケーブル接続
 - Smartストレージバッテリー/キャパシターのケーブル接続
 - bby_086
- 構成関連情報
 - ファームウェアまたはシステムROMのアップデート
 - サーバーの構成
 - ストレージコントローラーの構成
 - HPE NS204i ブートデバイスの管理
 - オペレーティングシステムの展開
 - セキュリティの構成
 - サーバーの最適化
 - サーバー管理
 - Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理
- トラブルシューティング
 - NMI機能
 - トラブルシューティングの資料
- 仕様

- 環境仕様
- 機械仕様
- 電源装置の仕様
 - HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)
 - HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
- ホットプラグ対応電源装置に関する計算
- Webサイト
- サポートと他のリソース
 - Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス
 - アップデートへのアクセス
 - リモートサポート (HPE通報サービス)
 - カスタマーセルフリペア (GSR)
 - 保証情報
 - 規定に関する情報
 - ドキュメントに関するご意見、ご指摘

コンポーネントの識別

サブピック

[フロントパネルのコンポーネント](#)

[フロントパネルのLEDとボタン](#)

[リアパネルのコンポーネント](#)

[リアパネルのLED](#)

[システムボードのコンポーネント](#)

[ドライブボックスと番号](#)

[ホットプラグ対応ファン](#)

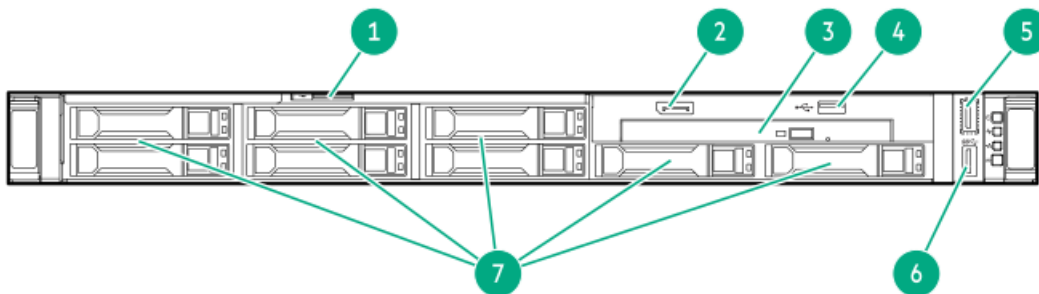
[HPEのベーシックドライブのLEDの定義](#)

[HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント](#)

[HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義](#)

フロントパネルのコンポーネント

SFF (2.5型)

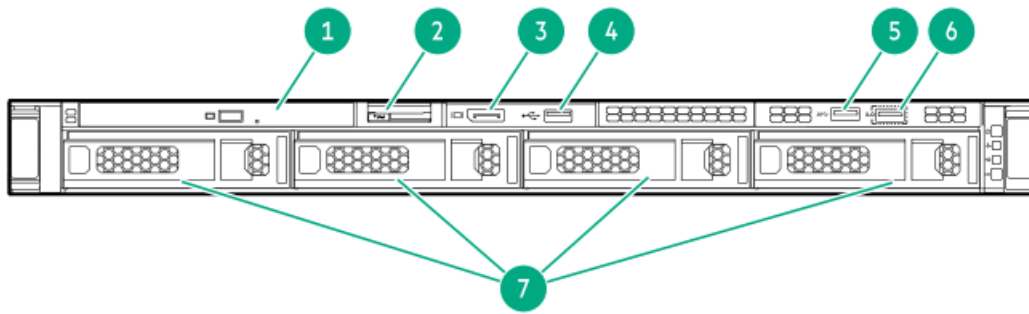


番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ
2	ディスプレイポート (オプション) ¹
3	オプティカルドライブ (オプション) ¹
4	USB 2.0ポート (オプション) ¹
5	iLOサービスポート ²
6	USB 3.2 Gen 1ポート
7	ドライブベイ

¹ このオプションは、2 SFF (2.5型) ドライブベイに置き換えることができます。

² オペレーティングシステムは、このポートをUSBポートとして認識しません。

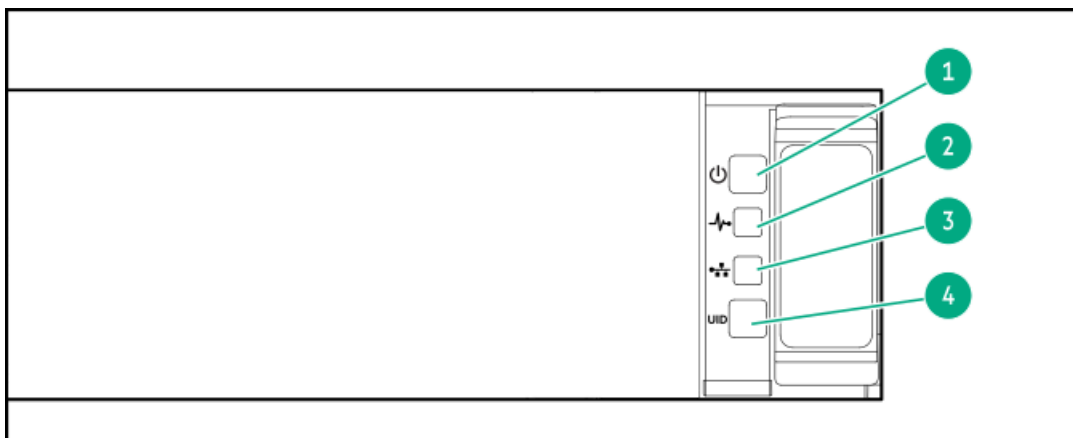
LFF (3.5型)



番号 説明

1	オプティカルドライブ (オプション)
2	シリアル番号/iLO情報プルタブ
3	ディスプレイポート (オプション)
4	USB 2.0ポート (オプション)
5	USB 3.2 Gen 1ポート
6	iLOサービスポート ²
7	ドライブベイ

フロントパネルのLEDとボタン



番号	説明	ステータス
1	電源ボタンおよびシステム電源LED ¹	<p>緑色で点灯 = システムに電源が入っています</p> <p>緑色で点滅 = 電源投入シーケンスを実行中です</p> <p>オレンジ色で点灯 = システムはスタンバイ状態です</p> <p>消灯 = 電源が供給されていません¹</p>
2	ヘルスLED ¹	<p>緑色で点灯 = 正常</p> <p>緑色で点滅 = iLOが再起動しています。</p> <p>オレンジ色で点滅 = システムの機能が劣化しています</p> <p>赤色で点滅 = システムに重大な障害が発生しています²</p>
3	NICステータスLED ¹	<p>緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています</p> <p>緑色で点滅 = ネットワークが動作しています</p> <p>消灯 = ネットワークが動作していません</p>
4	UIDボタン/LED ³	<p>青色で点灯 = 動作しています。</p> <p>青色で点滅:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 Hz = リモート管理またはファームウェアアップグレードが進行中 • 4 Hz = iLOの手動再起動シーケンス開始 • 8 Hz = iLOの手動再起動シーケンス実行中 <p>消灯 = 動作していません。</p>

- ¹ 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、または電源ボタンケーブルが接続されていません。
- ² ヘルスLEDが劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、システムIMLを確認するか、またはiLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。
- ³ この表で説明されている4つのLEDがすべて同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。

サブトピック

[UIDボタンの機能](#)

[フロントパネルのLED電源障害コード](#)

[Systems Insight Display LED](#)

[Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)

UIDボタンの機能

サーバーの電源が入らないときにUIDボタンを使用すると、ラック内の特定のサーバーを識別したり、サーバーヘルスマリヤを表示したりすることができます。詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)にある最新のHPE iLOユーザーガイド参照してください。

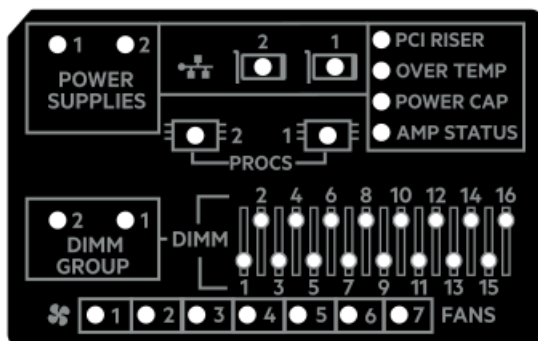
フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサ	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
OCPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCIeのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

Systems Insight Display LED

Systems Insight Display LEDは、システムボードのレイアウトを表しています。この表示によって、取り付けられたアクセスパネルの診断が可能になります。



説明	ステータス
プロセッサ LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = プロセッサに障害が発生しています
DIMM LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = DIMMに障害が発生しているか、または構成に問題があります
DIMMグループ LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = DIMMグループに障害が発生しているか、または構成に問題があります
ファンLED	消灯 = 正常 オレンジ色 = ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
NIC LED ¹	消灯 = ネットワークにリンクされていません 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています 緑色で点滅 = ネットワークにリンクされ動作しています 電源が切れている場合は、フロントパネルのLEDが機能しません。ステータスについては、 リアパネルのLED を参照してください。
電源装置のLED	消灯 = 正常 オレンジ色で点灯 = 電源サブシステムが劣化しているか、電源装置に障害が発生しているか、または入力電源が切断されています。
PCIライザー LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = PCIライザーケースが正しく取り付けられていません
温度超過LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = 高温を検出
消費電力上限 LED	消灯 = システムはスタンバイの状態か、消費電力上限が設定されていません。 緑色で点灯 = 消費電力上限が適用されます
AMP ² ステータ スLED	消灯 = AMPモードが無効 緑色で点灯 = AMPモードが有効 オレンジ色で点灯 = フェイルオーバー オレンジ色で点滅 = 無効な構成

¹ 内蔵NICポートはサーバーに装備されていません。Systems Insight DisplayのNIC LEDは、ネットワークアダプターポートのアクティビティに応じて点滅します。デュアルポートアダプターの場合、それぞれのネットワークポートの動作に対応して、NIC LED 1と2だけが点灯します。

² アドバンスドメモリプロテクションを構成するには、最新の[UEFIシステムユーティリティユーザーガイド](#)を参照してください。

フロントパネルのヘルスLEDがオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示します。これらのLEDの組み合わせについて詳しくは、[Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)を参照してください。

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

次のLED点灯の組み合わせは、システム状態を示します。

- Systems Insight Display LED

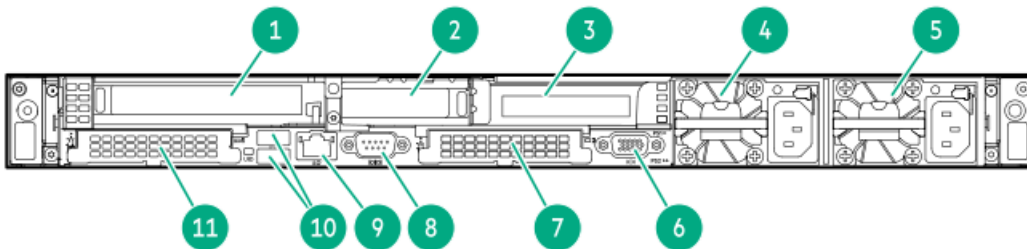
- システム電源LED
- ヘルスLED

Systems Insight Display LEDと色	ヘルスLED	システム電源LED	ステータス
プロセッサ (オレンジ色)	赤色	オレンジ色	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • ソケットXのプロセッサに障害が発生しました。 • プロセッサXがソケットに取り付けられていない。 • プロセッサXはサポートされていない。 • POST実行中に、故障したプロセッサをROMが検出しました。
プロセッサ (オレンジ色)	オレンジ色	緑色	ソケットXのプロセッサが障害予測状態です。
DIMM (オレンジ色)	赤色	緑色	1つ以上のDIMMに障害が発生しました。
DIMM (オレンジ色)	オレンジ色	緑色	スロットXのDIMMが障害予測状態です。
温度超過 (オレンジ色)	オレンジ色	緑色	ヘルスドライバーが注意温度レベルを検出しました。
温度超過 (オレンジ色)	赤色	オレンジ色	サーバーは、ハードウェアの温度がクリティカルなレベルに達したことを検出しました。
PCIライザー (オレンジ色)	赤色	緑色	PCIライザーケージが適切に固定されていません。
ファン (オレンジ色)	オレンジ色	緑色	1つのファンが故障したか取り外されています。
ファン (オレンジ色)	赤色	緑色	2つ以上のファンが故障したか取り外されています。
電源装置 (オレンジ色)	赤色	オレンジ色	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 装着されている電源装置は1台だけで、その電源装置はスタンバイの状態です。 • 電源装置の障害です。 • システムボードの障害です。

Systems Insight Display LEDと色	ヘルス LED	システム電源LED	ステータス
電源装置 (オレンジ色)	オレンジ色	緑色	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> 冗長電源装置が取り付けられており、1つの電源装置だけが機能している。 冗長電源装置にAC電源コードが接続されていません。 冗長電源装置の障害です。 電源装置がPOST時に適合しない、またはホットプラグによる追加作業時に不適合が発生している。
パワーキャップ (消灯)	-	オレンジ色	スタンバイ。
パワーキャップ (緑色)	-	緑色で点滅	電源投入を待っています。
パワーキャップ (緑色)	-	緑色	電力が使用可能です。
消費電力上限 (オレンジ色で点滅)	-	オレンジ色	電力が使用できません。

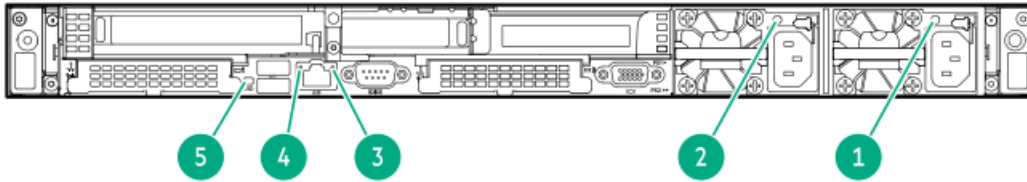
i 重要: 複数のDIMMスロットのLEDが点灯している場合は、さらにトラブルシューティングが必要です。他のすべてのDIMMを取り外して、DIMMの各バンクをテストしてください。バンクにある各DIMMを正常に動作しているDIMMと交換して、障害のあるDIMMを特定してください。

リアパネルのコンポーネント



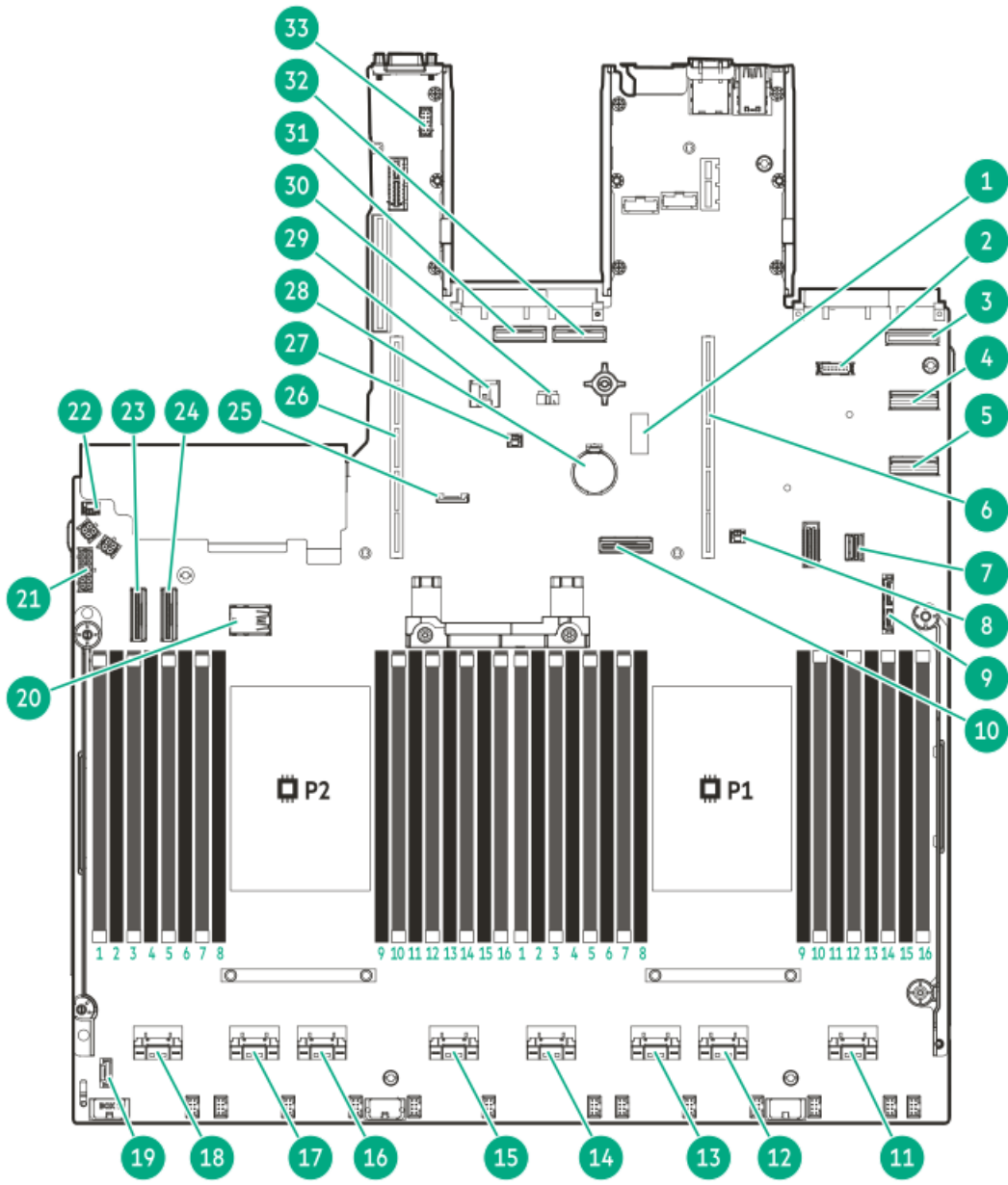
番号	説明
1	スロット1 PCIe5
2	スロット2 PCIe5
3	スロット3 PCIe5 (オプション - 2つ目のプロセッサが必要)
4	電源装置2 (PS2)
5	電源装置1 (PS1)
6	ビデオ (VGA) ポート
7	OCP 3.0スロット15
8	シリアルポート (オプション)
9	iLOマネジメントポート
10	USB 3.2 Gen 1ポート
11	OCP 3.0スロット14

リアパネルのLED



番号	説明	ステータス
1	電源装置1のLED	<p>緑色で点灯 = 正常</p> <p>消灯 = 以下に示す、1つまたは複数の状態が発生しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC電源が供給されていない • 電源装置に障害が発生している • 電源装置がスタンバイモードに入っている • 電源装置が電流制限を超えた。
2	電源装置2のLED	<p>緑色で点灯 = 正常</p> <p>消灯 = 以下に示す、1つまたは複数の状態が発生しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC電源が供給されていない • 電源装置に障害が発生している • 電源装置がスタンバイモードに入っている • 電源装置が電流制限を超えた。
3	iLO/標準NIC動作LED	<p>緑色で点灯 = 動作しています。</p> <p>緑色で点滅 = 動作しています。</p> <p>消灯 = 動作していません。</p>
4	iLO/標準NICリンクLED	<p>緑色で点灯 = 接続されています。</p> <p>消灯 = リンクされていません。</p>
5	UID LED	<p>青色で点灯 = 確認機能が使用されています。</p> <p>青色で点滅 = システムはリモートで管理されています。</p> <p>消灯 = 確認機能が使用されていません。</p>

システムボードのコンポーネント



番号	説明
1	システムメンテナンススイッチ
2	フロントDisplayPort/USB 2.0コネクタ
3	OCPスロット14、ポート2
4	LP SlimSASポート2
5	LP SlimSASポート1
6	プライマリライザーコネクタ
7	フロントI/OコネクタおよびUSB 3.2 Gen 1ポート
8	OCPスロット14バックアップ電源コネクタ
9	SATAオプティカルポート
10	ソケット1 MCIOポート1
11-18	x8 SlimSASポート ¹
19	冷却モジュールコネクタ
20	内部USBポート ²
21	ドライブバックプレーン電源コネクタ
22	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ
23	ソケット2 MCIOコネクタ2
24	ソケット2 MCIOコネクタ1
25	SIDコネクタ
26	セカンダリライザーコネクタ
27	OCPスロット15バックアップ電源コネクタ
28	システムバッテリー
29	Energy Packコネクタ
30	NS204i-u電源コネクタ
31	OCPスロット15、ポート1
32	OCPスロット15、ポート2
33	シリアルポートコネクタ

¹ SlimSASポートには、左から右へ1B~4B、1A~4Aの番号が付けられています。Bはプロセッサ2用で、Aはプロセッサ1用です。

² 上 = USB 3.2 Gen 1ポート、下 = USB 2.0ポート

サブトピック

[ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント](#)

[閉ループ液冷ヒートシンクのコンポーネント](#)

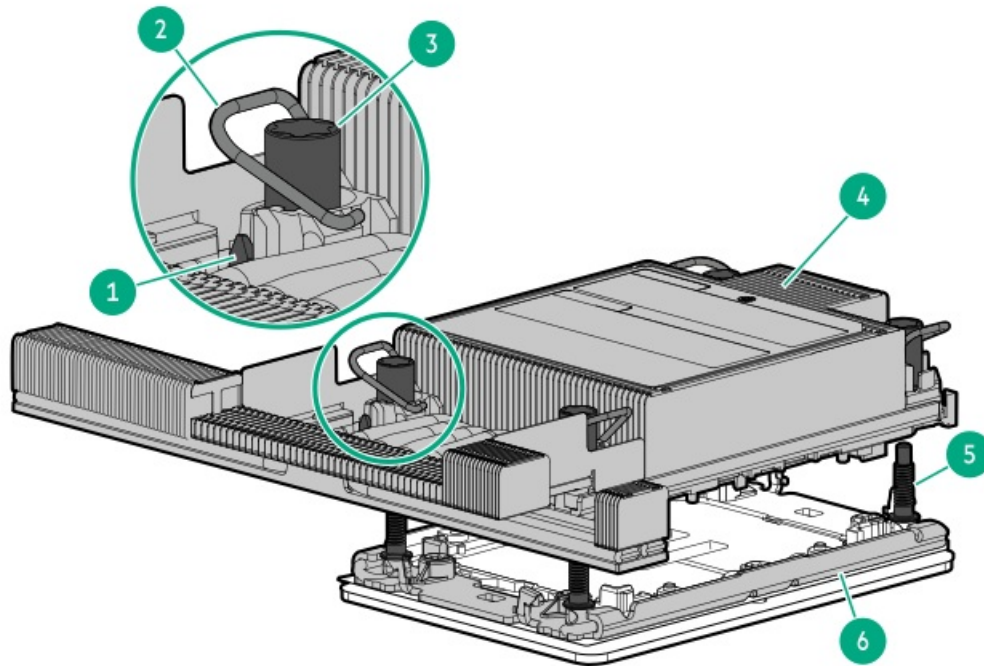
[システムメンテナンススイッチの説明](#)

[DIMMラベルの識別](#)

[DIMMスロット位置](#)

ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

高性能ヒートシンクが示されています。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサキャリアラッチ
2	ヒートシンクラッチ
3	ヒートシンクナット
4	プロセッサヒートシンクモジュール ¹
5	調整ネジ
6	ボルスタープレート

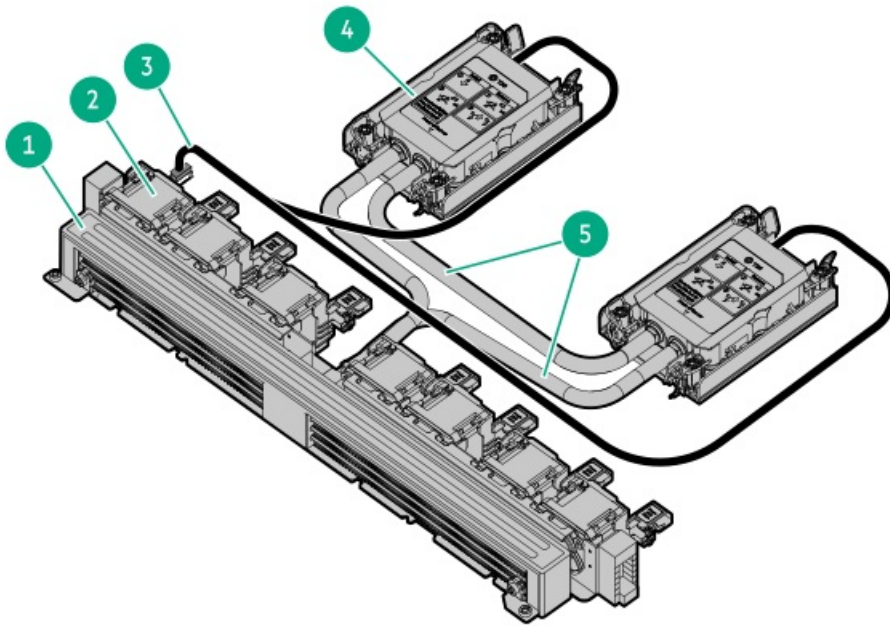
1 このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサに接続されたヒートシンクで構成されています。

閉ループ液冷ヒートシンクのコンポーネント

① 重要:

- **最大使用制限に関する注意事項:** このサーバーで使用される閉ループ液冷ヒートシンクには、5年を超えない運用の最大使用制限が適用されます。この5年の制限に達したら、液冷ヒートシンクを交換する必要があります。最大使用制限に達しているまたは超えているとHewlett Packard Enterpriseが判断する部品および製品は、保証またはサービス契約に基づいて提供、修理、または交換いたしません。詳細については、最寄りのHPE営業窓口までお問い合わせください。
- 液冷ヒートシンクのチューブには、クーラントがあらかじめ充填されています。このサーバークーラントの流出や漏れが万が一発生した場合は、サーバーメンテナンスガイドのAppendix I: Server coolant spill responseの推奨された手順に従ってください。

<https://www.hpe.com/info/dl360gen11-msg>



番号	説明
1	ラジエータ
2	ファン
3	信号ケーブル
4	クーラントチューブ
5	ポンプ-コールドプレート ¹

¹ 液冷ヒートシンクには、冗長性のために2つのポンプがあります。

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト機能	
S1 ¹	オフ	<ul style="list-style-type: none"> オフ - iLOセキュリティは有効です。 オン - iLOセキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 ¹	オフ	<ul style="list-style-type: none"> オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 ^{1, 2, 3}	オフ	<ul style="list-style-type: none"> オフ - 動作していません オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

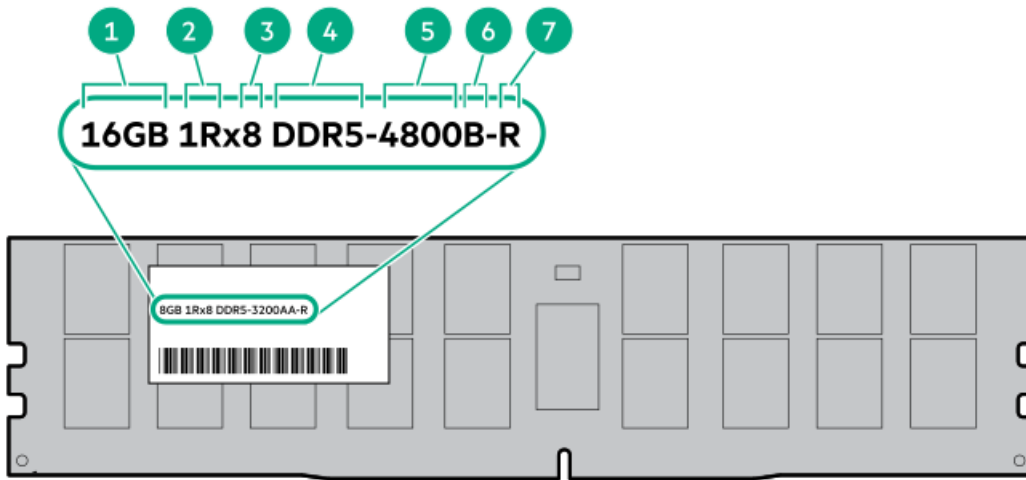
- ¹ 冗長ROMにアクセスするには、S1、S5、およびS6をオンに設定します。
- ² システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。
- ³ システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、[サーバーの構成](#)を参照してください。

DIMMラベルの識別

DIMMの特長を確認するには、DIMMに貼り付けられているラベルを参照してください。このセクションの情報は、ラベルを使用してDIMMの仕様情報を見つけるのに役立ちます。

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HPE DDR5 SmartMemoryのQuickSpecsを参照してください。

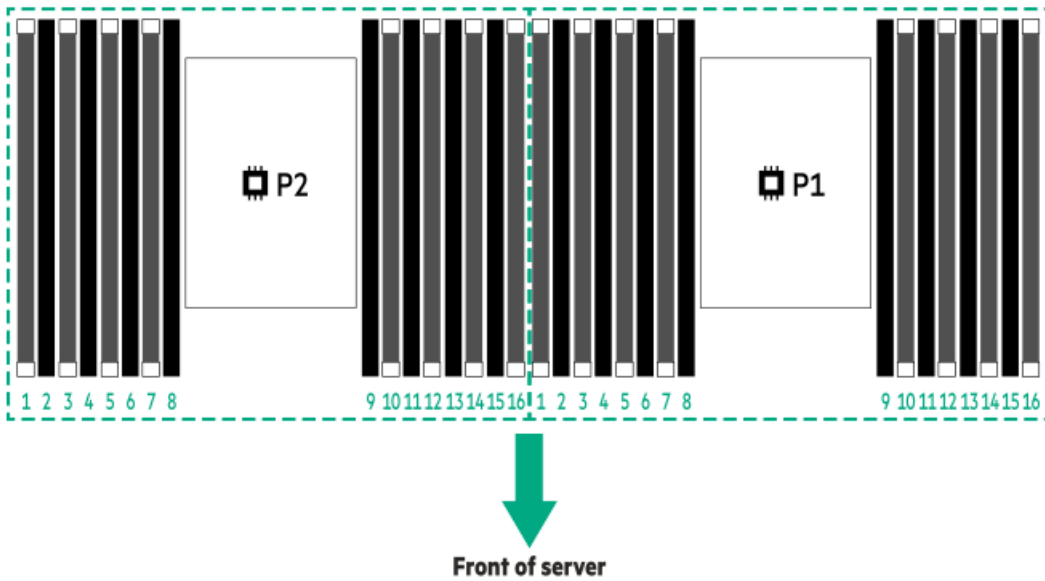
<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



番号	説明	例
1	処理能力	16 GB 32 GB 64 GB 128 GB 256 GB
2	ランク	1R - シングルランク 2R - デュアルランク 4R - クアッドランク 8R - オクタルランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 - DDR5
5	メモリの最大速度	4800 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42 B - 50-42-42 (128 GBおよび256 GB容量の場合)
7	DIMMタイプ	R - RDIMM (レジスター付き)

DIMMスロット位置

DIMMスロットは、各プロセッサごとに順番に番号（1～16）が付けられています。



ドライブボックスと番号

SFF (2.5型) ドライブボックス

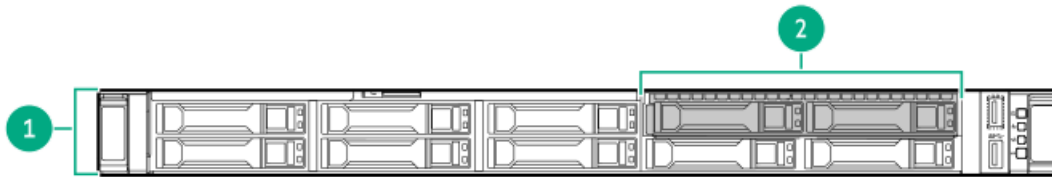
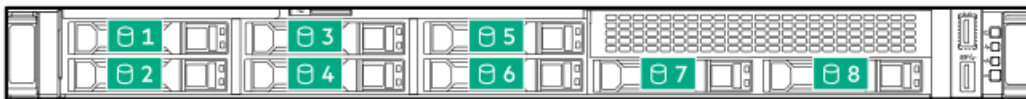


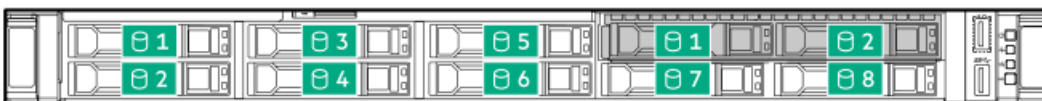
表 1.

番号	説明
1	ボックス1
2	ボックス2

8 SFF (2.5型) ドライブベイの番号

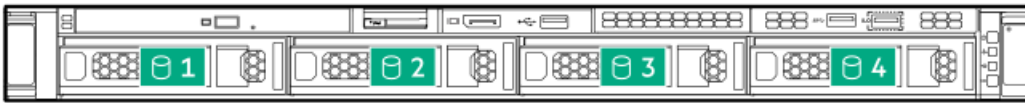


8 SFF (2.5型) + 2 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



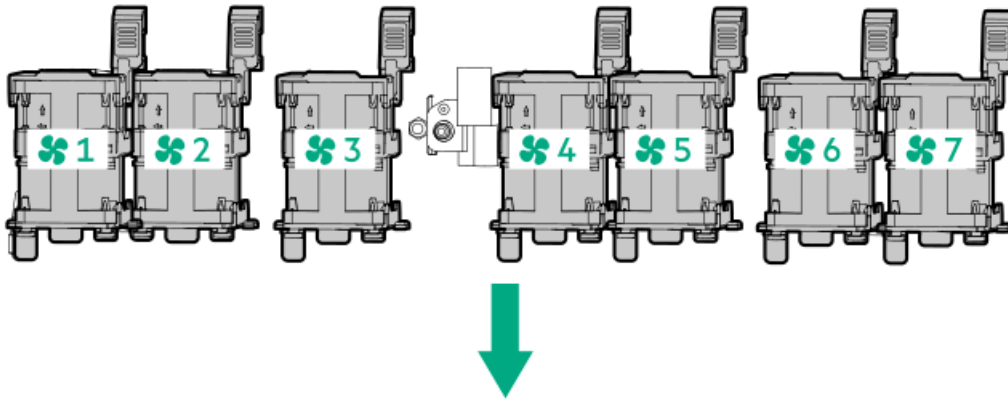
4 LFF (3.5型) ドライブボックスとベイ

すべてのLFF (3.5型) ドライブがボックス1に入っています。



ホットプラグ対応ファン

△ 注意: 装置の損傷を防止するために、最適な数のファンが取り付けられていない場合は、サーバーを長時間動作させないでください。サーバーが起動する場合がありますが、必要なファンが取り付けられて稼働していない状態でサーバーを動作させないでください。



ファンベイ1 ファンベイ2 ファンベイ3 ファンベイ4 ファンベイ5 ファンベイ6 ファンベイ7
ファン ファン ファン ファン ファン ファン ファン

1つのファンローター（1つの標準ファン）が失われると、冗長性が損なわれます。2つのファンローター（2つの標準ファンまたは1つの高性能ファン）が失われると、サーバーでシャットダウンが開始されます。

一部の構成には高性能ファンが必要です。また、ASHRAE準拠の構成にも必要です。ASHRAE準拠の構成について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/servers/ASHRAE>) を参照してください。

サーバーはファンの回転速度の変更をサポートしています。温度が上昇し、ファンの回転速度を上げてサーバーを冷却する必要が発生するまでは、ファンは最小限の速度で回転します。サーバーは、温度に関連した以下の場合にシャットダウンします。

- 注意レベルの温度が検出された場合、iLOは、POST実行時およびOSで、通常の方法のシャットダウンを実行します。通常のシャットダウンが行われる前にサーバーハードウェアが重大レベルの温度を検出した場合、サーバーが即時シャットダウンを実行します。
- 高温シャットダウン機能がBIOS/プラットフォーム構成（RBSU）で無効に設定されている場合、注意レベルの温度が検出されても、iLOは通常の方法のシャットダウンを実行しません。この機能が無効に設定されている場合でも、重大な温度レベルが検出されると、サーバーハードウェアは即時シャットダウンを実行します。

△ 注意: BIOS/プラットフォーム構成（RBSU）で高温シャットダウン機能が無効に設定されている場合、高温イベントによりサーバーコンポーネントが損傷する場合があります。

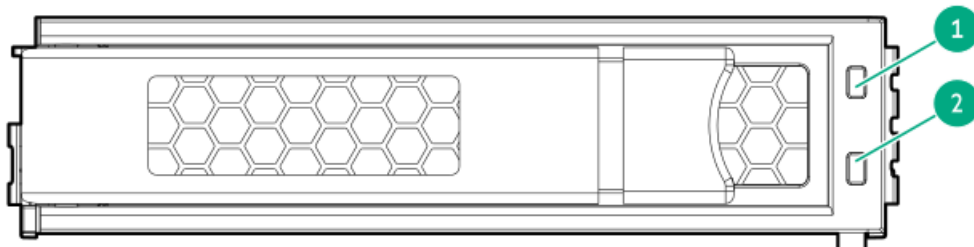
HPEのベーシックドライブのLEDの定義

HPEのベーシックドライブキャリアには、次のLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

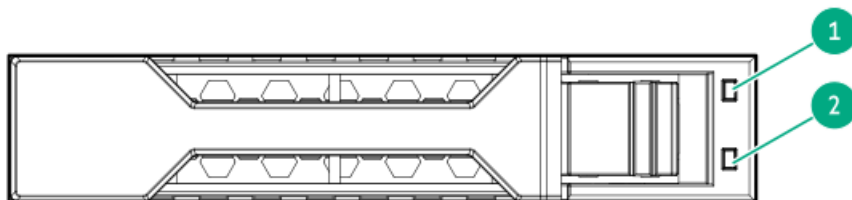
LFF (3.5型) ロープロファイルドライブキャリア

LFF (3.5型) ロープロファイルドライブキャリアはホットプラグSASまたはSATAをサポートしています。



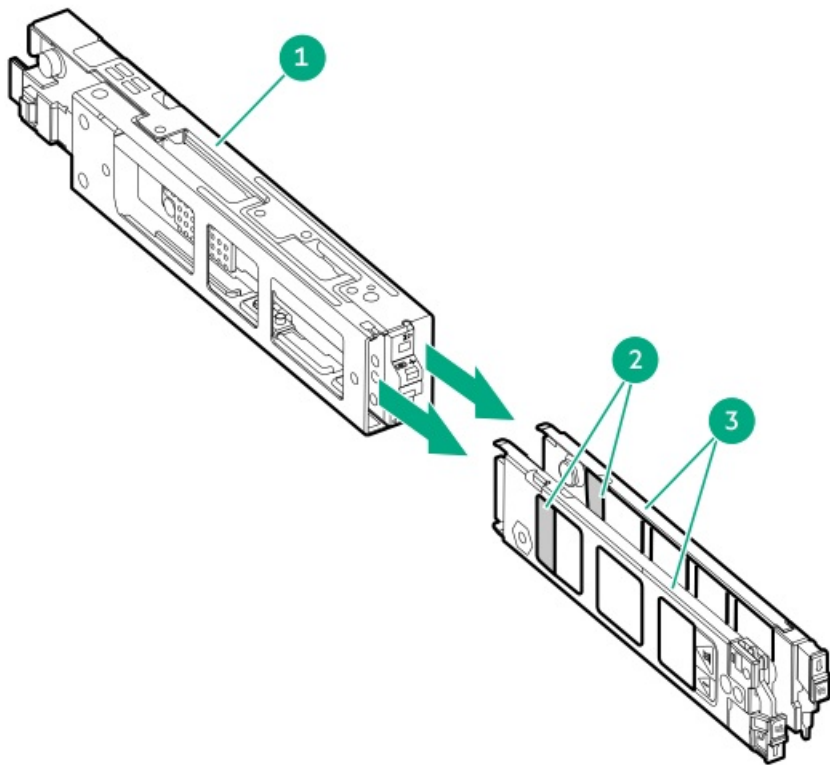
SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリア

SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリアはホットプラグSAS、SATA、またはU.3 NVMeをサポートしています。



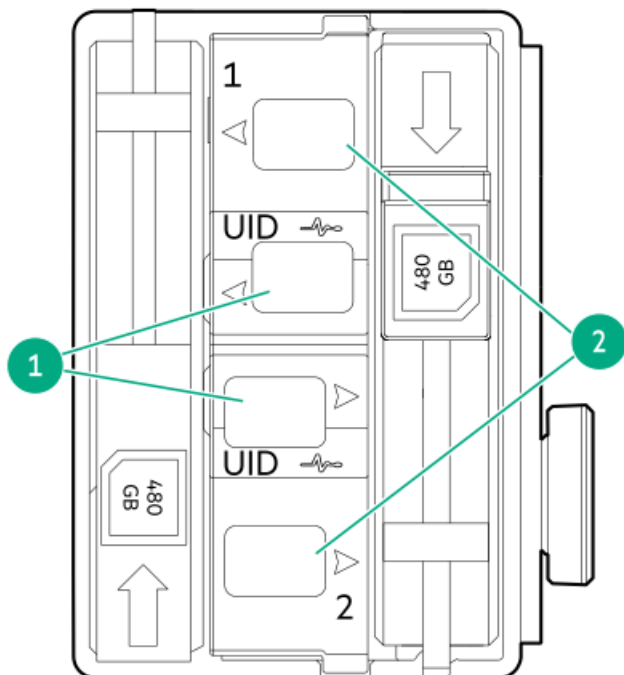
番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅 (毎秒1回点滅)	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> RAIDの再構築または実行 ストリップサイズの移行の実行 容量拡張の実行 論理ドライブの拡張の実行 消去 スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅 (毎秒4回点滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAIDコントローラーによる構成が行われていないか、またはスペアドライブです。

HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント



番号	説明
1	ブートデバイスケージ
2	M.2スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義



番号	LED	ステータス	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 <ul style="list-style-type: none"> RAIDの再構築または実行 消去
		緑色で点滅 (毎秒4回点滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブは、RAIDコントローラーによって構成されていないか、またはスペアドライブです。

セットアップ

サブトピック

[オプションサービス](#)

[サーバーをセットアップする](#)

[動作要件](#)

ラックに関する警告と注意事項

サーバーに関する警告と注意事項

静電気対策

オプションサービス

経験豊富な認定を受けたエンジニアによって提供されるHPEサポートサービスでは、HPE ProLiantシステム専用で作成されたサポートパッケージを通じて、サーバーの安定稼働に貢献します。HPEサポートサービスをご利用いただくと、ハードウェアサポートとソフトウェアサポートの両方を単一のパッケージに統合できます。お客様のビジネスおよびITニーズに合わせて、いくつかのサービスレベルオプションが用意されています。

HPEサポートサービスの購入しやすく使い勝手のよいサポートパッケージは、標準の製品保証を拡張するアップグレードされたサービスレベルを提供し、サーバーへの投資を最大限に活用するお手伝いをします。ハードウェア、ソフトウェア、またはその両方のHPEサポートサービスの一部は次のとおりです。

- HPE Pointnext Tech Care - システムの稼働を維持します。

このサービスの時間の約束は、お客様の地域によって異なることがあります。お客様の地域で利用可能なサービスについて詳しくは、最寄りのHPEサポートセンターにお問い合わせください。

- ハードウェアとソフトウェア両方の展開サービス。
- HPE教育サービス - ITスタッフのトレーニングを支援します。

HPEサポートサービスについて詳しくは、HPE PointnextのWebサイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/services>

サーバーをセットアップする

前提条件

サーバーをセットアップする前に、次の操作を行います。

- サーバーの動作要件を確認します。

動作要件

- HPE Webサイト上の安全性とコンプライアンス情報を確認します。

<http://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>

手順

1. サーバーボックスの内容を確認します。

- サーバー
- 電源コード
- ラックマウント用ハードウェア部品
- ドキュメント

2. (オプション) ハードウェアオプションを取り付けます。

3. サーバーをラックに取り付けます。

ラックの手順書は、ラックレールに付属しています。

- a. サーバーに、デバイス、ケーブル、およびコードを接続します。
- b. ケーブルマネジメントアームを使用して、ケーブルを固定します。

4. サーバーの管理方法を決定します。

- ローカル管理の場合：KVMスイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
- リモート管理の場合：リモートコンソールを使用してiLO Webインターフェイスに接続します。
 - a. iLO管理ポートが安全なネットワークに接続されていることを確認します。
 - b. ブラウザーを使用して、iLOのWebインターフェイスに移動し、ログインします。

```
https://<iLOホスト名またはIPアドレス>
```

以下の点に注意してください。

- ホスト名はシリアルプルタブにあります。
 - DHCPサーバーにIPアドレスを割り当てると、ブート画面にIPアドレスが表示されます。
 - 静的IPアドレスが割り当てられている場合は、そのIPアドレスを使用します。
 - デフォルトのログイン認証情報は、シリアルラベルプルタブにあります。
- c. サイドナビゲーションで、リモートコンソールおよびメディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。
- #### 5. 電源オン/スタンバイボタンを押します。
- リモートで管理する場合は、iLOの仮想電源ボタンを使用します。

動作要件

HPE ProLiant DL360 Gen11サーバーの設置に向けた計画とサイトの準備を行う際には、次の一般的な運用要件を必ず守ってください。

- 空間および通気要件
- 温度要件
- 電源要件
- アース要件

サーバー固有の環境要件については、環境仕様を参照してください。

サブトピック

空間および通気要件

温度要件

電源要件

アース要件

空間および通気要件

修理をしやすくし、また通気をよくするために、ラックの設置場所を決定する際には、次の空間要件に従ってください。

- ラックの正面に63.5 cm (25インチ) 以上の隙間をあけてください。
- ラックの背面に76.2 cm (30インチ) 以上の隙間をあけてください。
- ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面まで121.9 cm (48インチ) 以上の隙間をあけてください。

Hewlett Packard Enterprise サーバーは、冷気をフロントドアから吸収して、内部の熱気をリアドアから排出します。したがって、ラックの正面ドアと背面ドアで適切な通気を行い、室内の空気が十分にキャビネットに入るようにする必要があります。また、背面ドアで適切な通気を行い、暖気がキャビネットから出ていくようにする必要があります。

△ 注意: 不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー間の空気の流れが変動することがあります。ブランクパネルですべての隙間を埋め、適切な通気を確保してください。

△ 注意: ラック内の空の縦スペースを満たすには必ずブランクパネルを使用してください。これにより、適切な通気が確保されます。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

9000および10000シリーズのラックは、通気のための64%の開口部を備えた正面および背面ドアの通気孔から適切なサーバー冷却を提供します。

△ 注意: 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。

- 正面および背面ドア-42Uラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて5,350平方cm (830平方インチ) の通気孔 (通気に必要な64パーセントの開口部と同等) を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
- 側面-取り付けられたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は7 cm (2.75インチ) 以上の隙間をあける必要があります。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度 (TMRA) は、35° C (95° F) です。ラックを設置する室内の温度は、35° C (95° F) を超えてはなりません。

△ 注意: 他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- 製造元のTMRAを超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition (全国的な電気規約) およびNFPA-75, 1992 (電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約) の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。

⚠ 警告: けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。

△ 注意: サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code第250項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364の第1部から第7部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterpriseでは、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDUを使用することをお勧めします。NEMAロック式プラグまたはIEC 60309に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項

⚠ 警告:

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は13.04 - 16.27 kg (28.74 - 35.86 lb) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で13.77 - 16.78 kg (30.36 - 37.00 lb) になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。

⚠ 警告:

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は13.04 - 16.27 kg (28.74 - 35.86 lb) を超えているため、サーバーを持ち上げてサーバーに取り付ける際は、必ず2人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをサーバーから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- コンポーネントをサーバーの外部に引き出す前に、サーバーを安定させてください。また、コンポーネントは1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、サーバーが不安定になる場合があります。
- レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。

**警告:**

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、ラックの製造元や該当する規約によって規定されている、ボルトによる床への固定、転倒防止脚、安定器、またはそれらの組み合わせがあります。
- 水平ジャック(脚)は床まで延びています。
- ラックの全重量が水平ジャック(脚)にかかっています。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数ラックの取り付けではラックを連結してください。

**警告:**

けがや装置の損傷を防止するために、ラックを降ろすときには、次の点に注意してください。

- 荷台からラックを降ろす際は、2人以上で作業を行ってください。42Uラックは何も載せていない場合でも重量が115 kgで、高さは2.1 mを超えることがあるため、キャスターを使って移動させるときに不安定になる可能性があります。
- ラックを傾斜路に沿って移動する際は、ラックの正面に立たないで、必ず、両側から支えてください。

**注意:**

最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してください。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。

**注意:**

サーバーにサーバーを取り付ける前に、サーバーの制限事項の範囲を適切に定めてください。また、取り付けを続行する前に、以下の点を考慮してください。

- サーバーの静止時と変化時の積載能力を完全に理解し、サーバーの重量に対応できることを確認する必要があります。
- サーバーのケーブル配線、取り付けと取り外し、およびラックドアの作動のための十分な隙間が存在することを確認します。

サーバーに関する警告と注意事項

**警告:**

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

**警告:**

Energy Packを取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために:

- Energy Packを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。
- 外部接点をショートさせないでください。
- Energy Packを火や水の中に投じないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Packを低い空気圧にさらさないでください。
- Energy Packを60° C以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が1秒から160秒間は残る可能性があります。

**注意:**

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPSを使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。

**注意:**

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

**注意:**

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。

**注意:**

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われず、冷却機構が正常に動作しなくなるため、高温によって装置が損傷する可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなる可能性があります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、1 MΩ ±10%です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。

- 作業用具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

サブトピック

サーバーデータバックアップ

サーバーの電源を切る

ラックからサーバーを引き出す

ケーブルマネジメントアームを解放する

ラックからサーバーを取り外す

アクセスパネルを取り外す

プライマリPCIeライザーケージを取り外す

プライマリPCIeライザーケージを取り付ける

ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し

Systems Insight Displayへのアクセス

アクセスパネルを取り付ける

サーバーの電源を入れる

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ユーザーデータファイル
- ユーザーアカウント名とパスワード
- アプリケーションの設定とパスワード
- コンポーネントドライバとファームウェア
- TPMリカバリキー/パスワード
- BIOS構成設定 - UEFIシステムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/info/UEFI-manuals>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - 電源オンおよびBIOS管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック (HPE Trusted Supply)

Chainサーバー用)に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード

- サーバーシリアル番号と製品ID
- iLO関連データ - iLOバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLOのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/ilo6>) を参照してください。
 - iLOのライセンス
 - お客様のiLOユーザー名、パスワード、およびDNS名
 - iLO構成設定
- HPE GreenLake for Compute Ops Managementによって管理されるサーバーの場合は、HPE GreenLakeのアカウントIDを持っていることを確認してください。詳しくは、[HPE GreenLake for Compute Ops Managementお使いになる前に](#)を参照してください。

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。

i 重要:

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- 電源ボタンを押して離します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSの制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- 電源ボタンを4秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
この方法は、正しい順序でアプリケーションとOSを終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- iLO経由の仮想電源ボタンを使用する。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSを正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源LEDがオレンジ色）になっていることを確認してください。

ラックからサーバーを引き出す

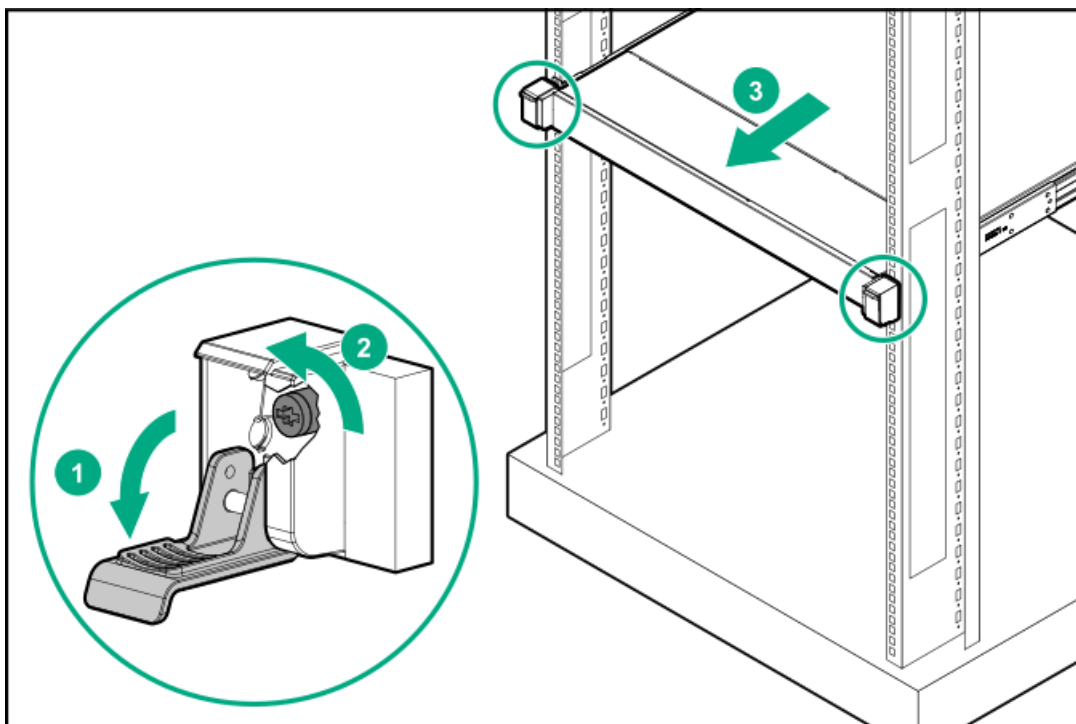
前提条件

- T-25トルクスドライバーを使用して輸送用ネジを緩めることが必要な場合があります。
- 以下を確認してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)

手順

サーバーをラックから引き出します。

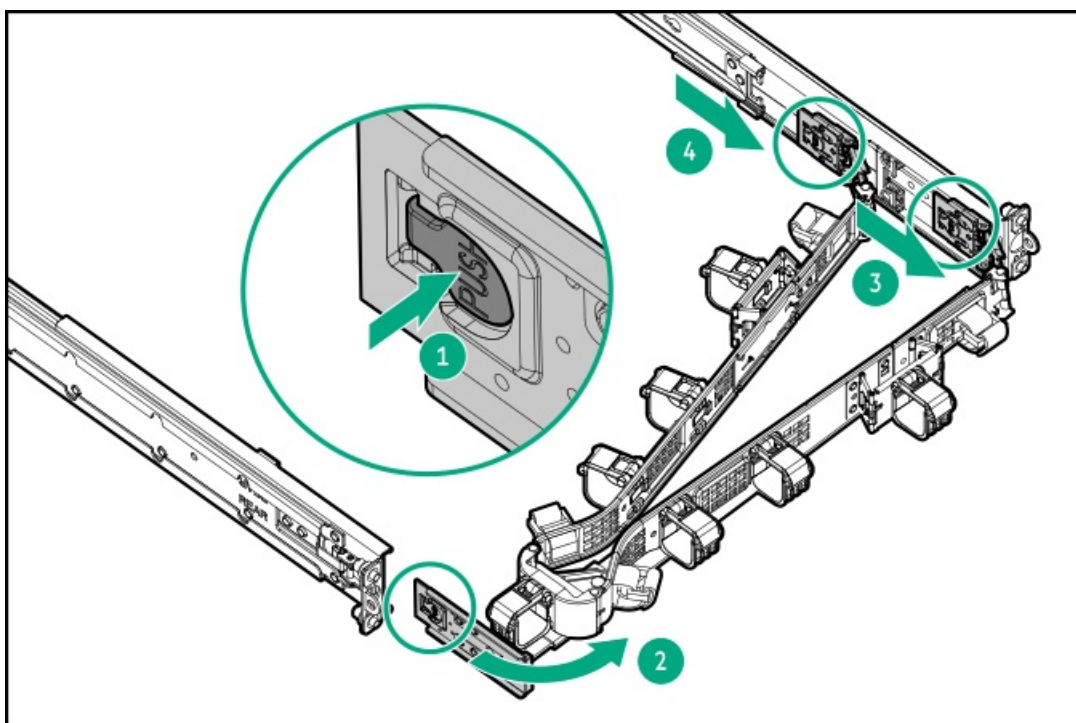
警告: けがや装置の損傷の危険を防止するため、何らかのコンポーネントをラックから引き出す前に、ラックが十分に安定していることを確認してください。



ケーブルマネジメントアームを解放する

手順

ケーブルマネジメントアームを解放し、動かしてラックから取り外します。



ラックからサーバーを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、以下を参照してください。

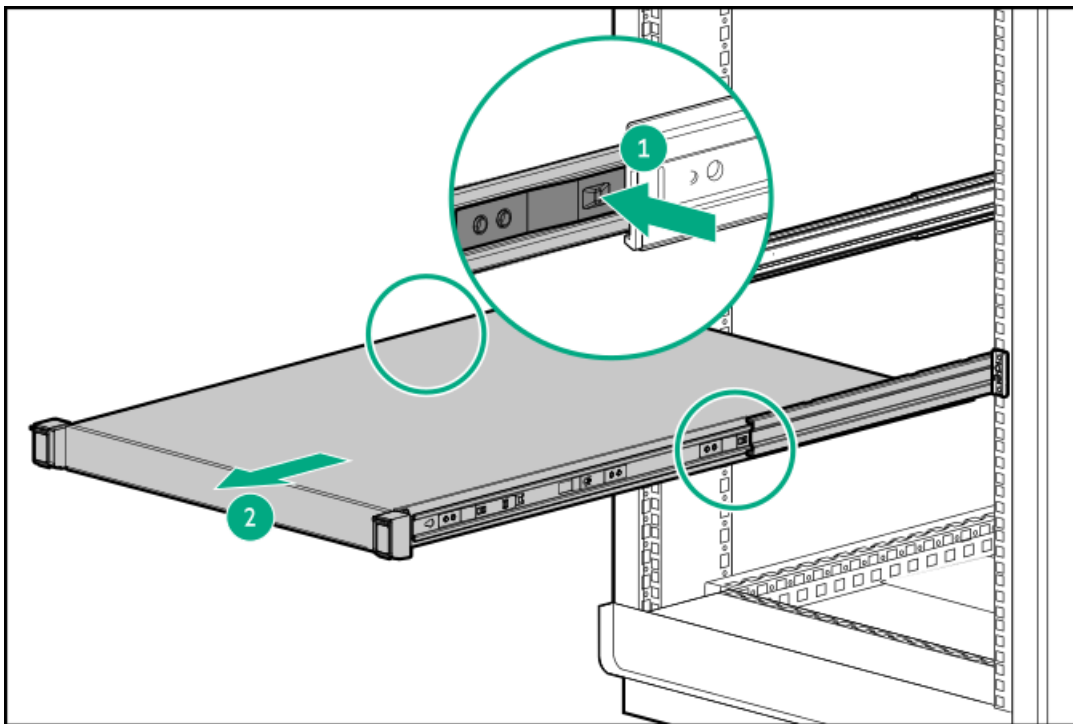
- [ラックに関する警告と注意事項](#)
- [サーバーに関する警告と注意事項](#)

このタスクについて

警告: けがや装置の損傷の危険を防止するため、何らかのコンポーネントをラックから引き出す前に、ラックが十分に安定していることを確認してください。

手順

1. [サーバーの電源を切ります。](#)
2. [ケーブルマネジメントアームを解放します。](#)
3. [リアパネルからケーブルを取り外します。](#)
4. [サーバーをラックから引き出します。](#)
5. [ラックからサーバーを取り外します。](#)



6. [サーバーを安定した水平な面に置きます。](#)

アクセスパネルを取り外す

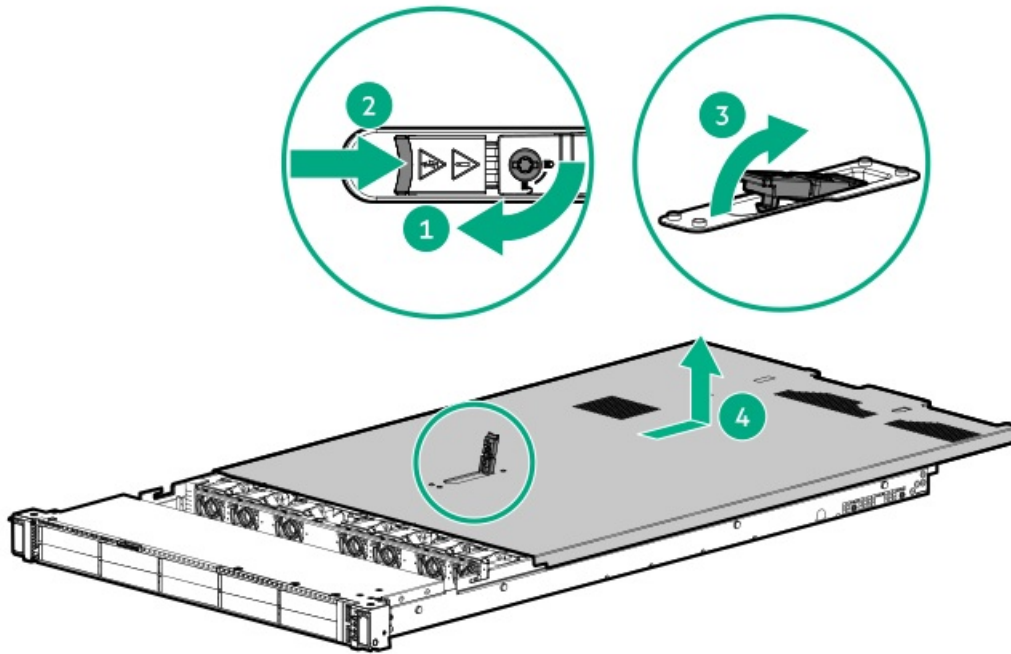
このタスクについて

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

△ 注意: アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われなために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. サーバーをラックから引き出します。
3. ロック用ラッチを開くかロックを解除し、アクセスパネルをシャーシの背面側にスライドさせて、アクセスパネルを取り外します。



プライマリPCIeライザーケージを取り外す

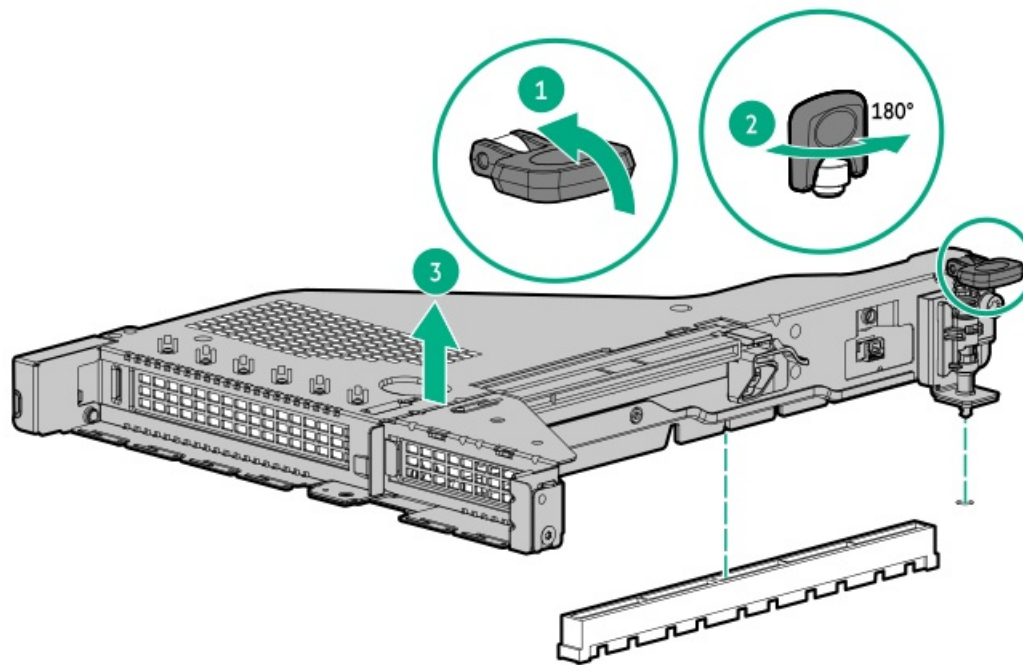
このタスクについて

△ 注意: サーバーまたは拡張ボードの損傷を防ぐために、サーバーの電源を切り、すべてのAC電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取り付けを行ってください。

手順

1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。

5. アクセスパネルを取り外します。
6. PCIライザーケージを取り外します。



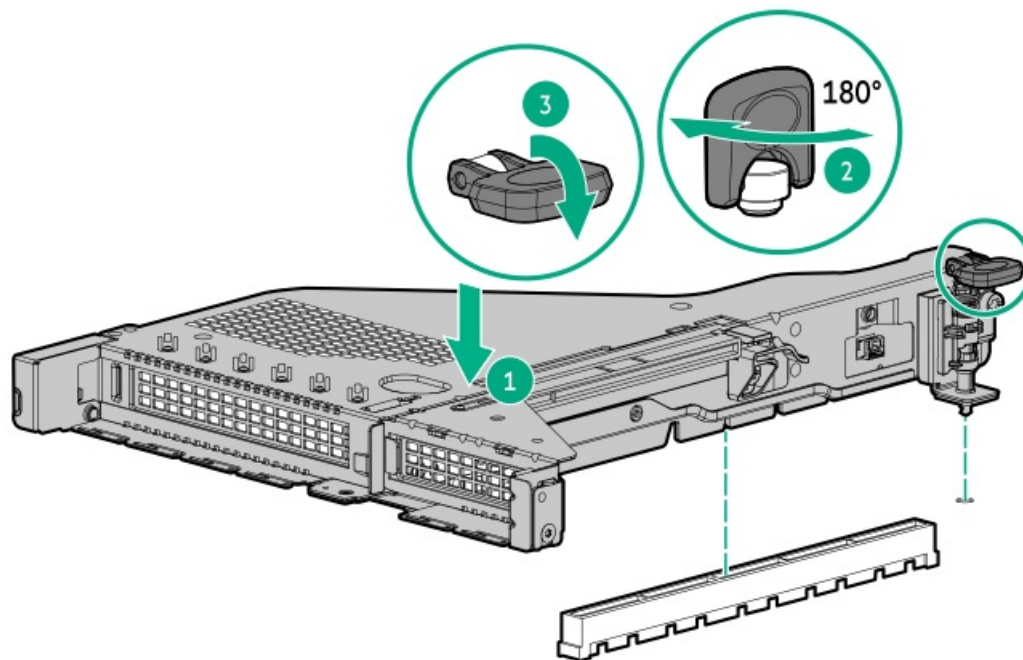
タスクの結果

コンポーネントを交換するには、この取り外し手順を逆に実行してください。

プライマリPCIeライザーケージを取り付ける

手順

1. PCIライザーケージを取り付けます。



2. アクセスパネルを取り付けます。
3. サーバーをラックに取り付けます。
4. 各電源コードをサーバーに接続します。
5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
6. サーバーの電源を入れます。

ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し

△ 注意: 適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、およびブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

1. ホットプラグ対応ドライブのLEDの定義からドライブのステータスを確認します。
2. ドライブ上のすべてのサーバーデータのバックアップを取ります。
3. ドライブを取り外します。

図 1. SFF (2.5型) ドライブ

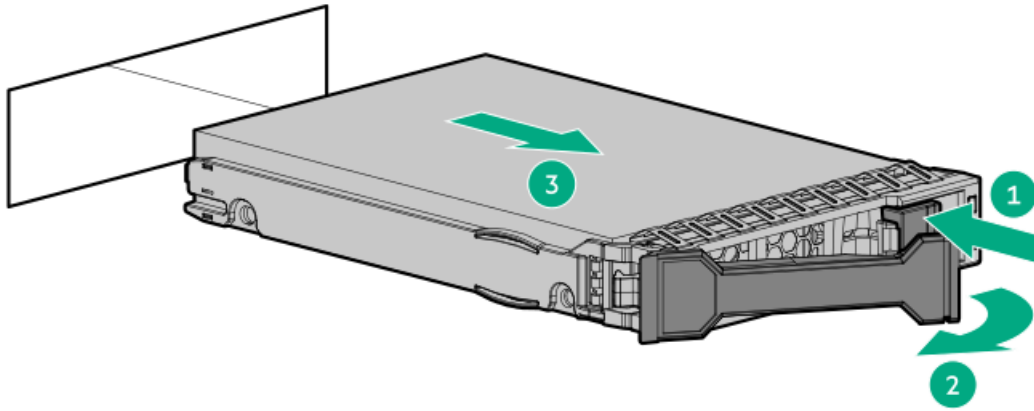
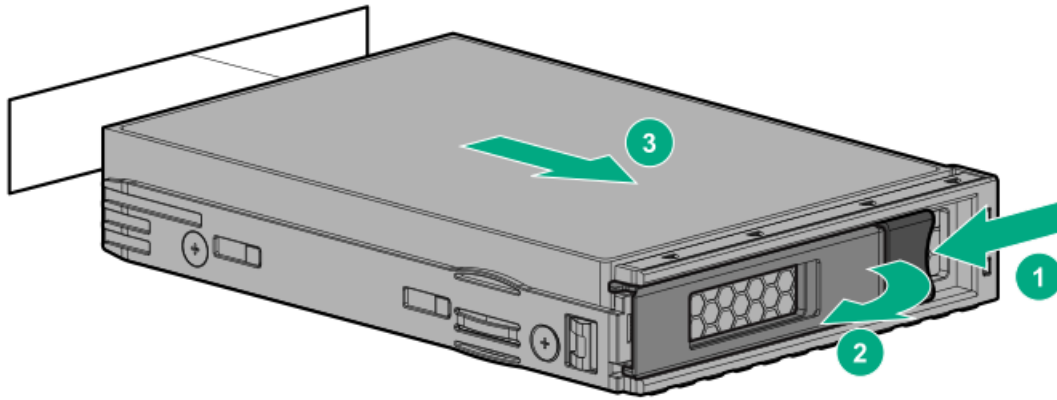


図 2. LFF (3.5型) ドライブ



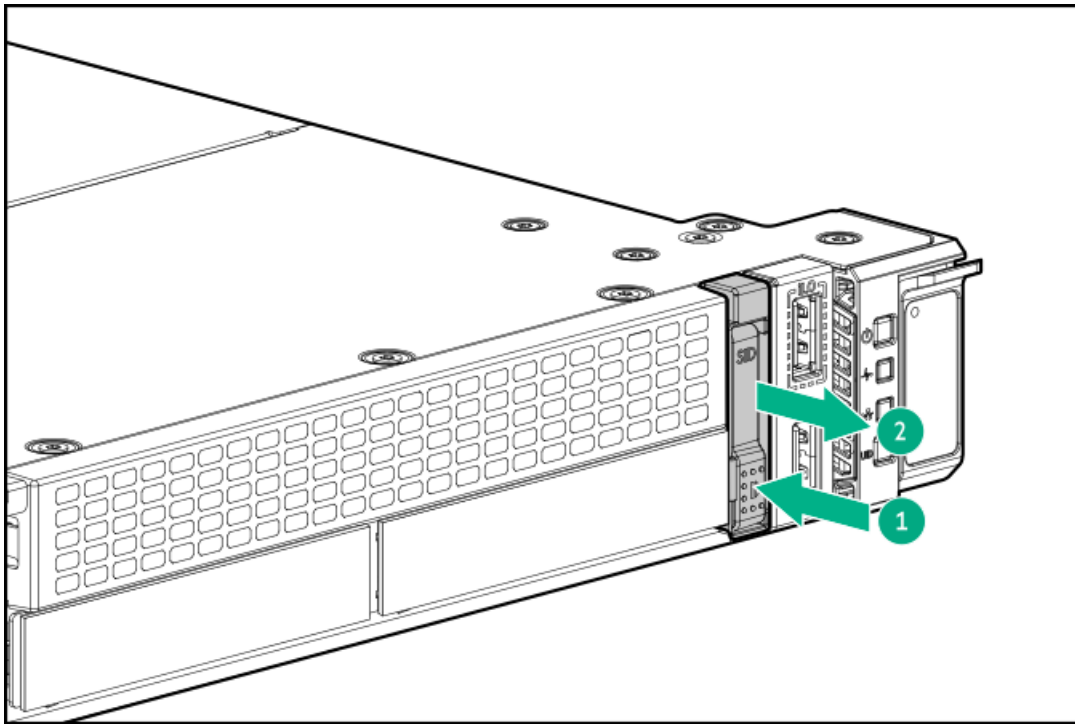
Systems Insight Displayへのアクセス

このタスクについて

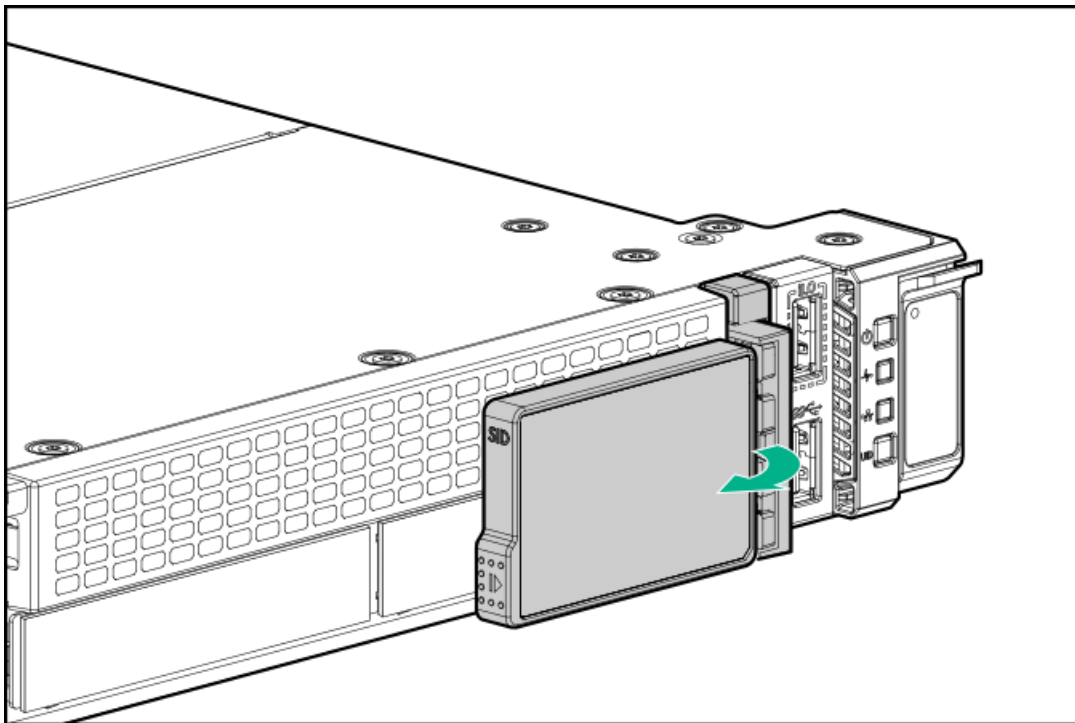
Systems Insight Displayは、SFF (2.5型) プラットフォームでのみ使用できます。

手順

1. パネルを押してロックを解放します。



2. ディスプレイを取り出したら、ディスプレイを回転させ、LEDを表示します。



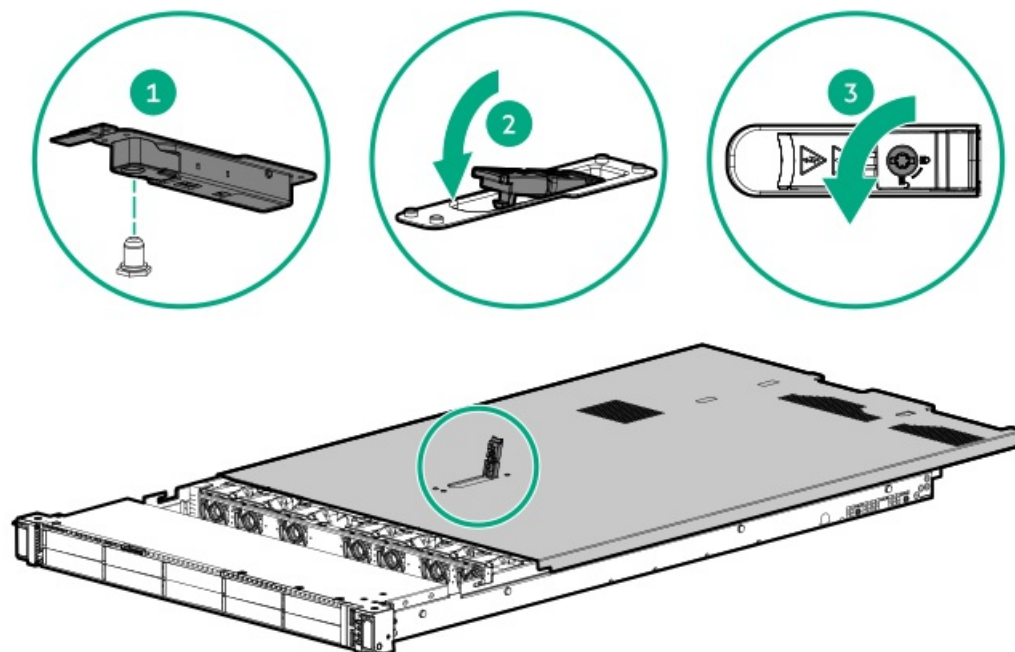
アクセスポネルを取り付ける

手順

1. ラッチを開いたまま、アクセスポネルをサーバーの上に置きます。
アクセスポネルの位置をずらして、サーバーの背面側から約1.25 cm (0.5インチ) 出るようにしてください。
2. ラッチを押し下げます。

アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。

3. 必要に応じて、ラッチのセキュリティネジを締めます。



サーバーの電源を入れる

このタスクについて

サーバーの電源を入れるには、以下のいずれかの方法を使用します。

- 電源ボタンを押します。
- iLO経由の仮想電源ボタンを使用します。

ハードウェアオプションの取り付け

サブトピック

[はじめに](#)

[Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs](#)

[コントローラー](#)

[冷却](#)

[ドライブケージ](#)

[Energy Packオプション](#)

[ハードディスクドライブ](#)

管理

メモリ

ネットワーク

オプティカルドライブとメディアベイ

OSブートデバイス

電源装置オプション

プロセッサとヒートシンクのオプション

ラックマウントオプション

ライザーおよびライザーケージオプション

セキュリティ

はじめに

ハードウェアオプションを取り付けてから、サーバーを初期設定してください。複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。



警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/qs>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。

コントローラー

サブトピック

タイプpストレージコントローラーを取り付ける

タイプoストレージコントローラーを取り付ける

タイプpストレージコントローラーを取り付ける

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント

- T-10トルクスドライバー

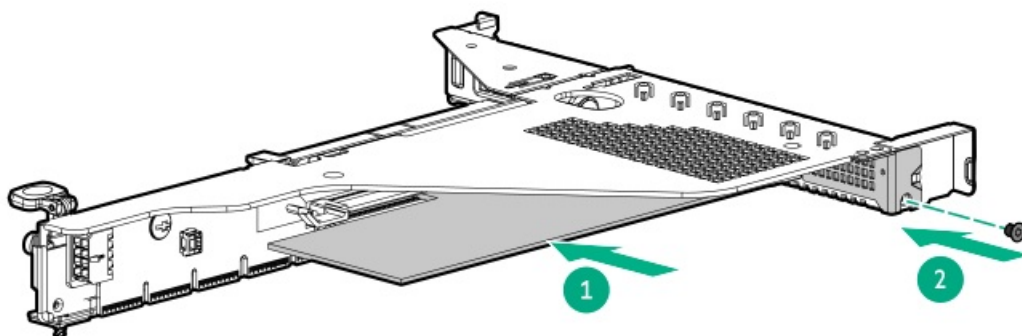
手順

1. 次のアラートに注意してください。

⚠ 警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

⚠ 注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源の取り外し:
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. プライマリライザーケースを取り外します。
8. コントローラーを取り付けます。



9. ライザーケースを取り付けます。
10. コントローラーのケーブルの配線を行います。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

タイプoストレージコントローラーを取り付ける

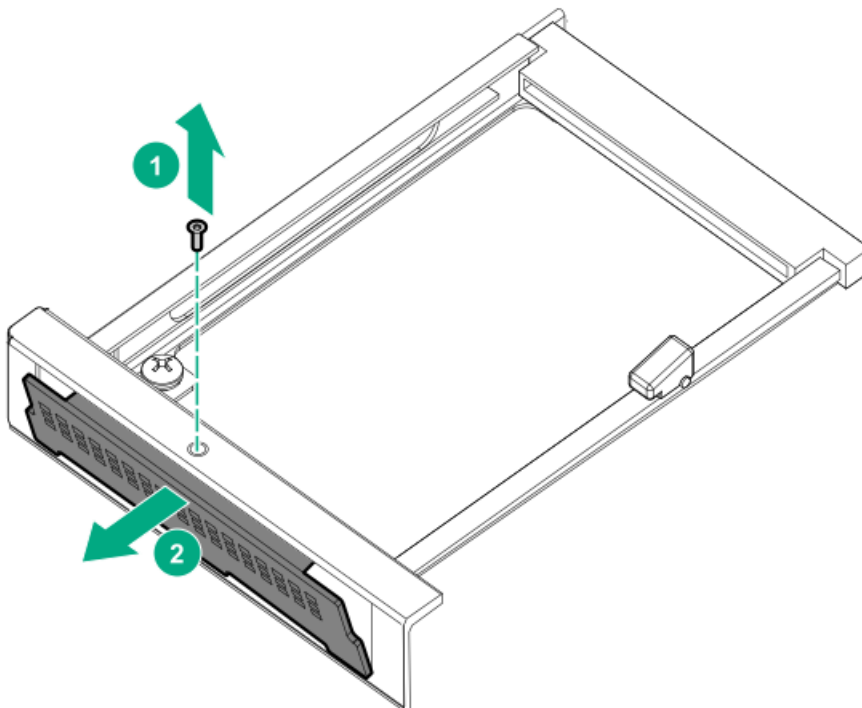
前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。

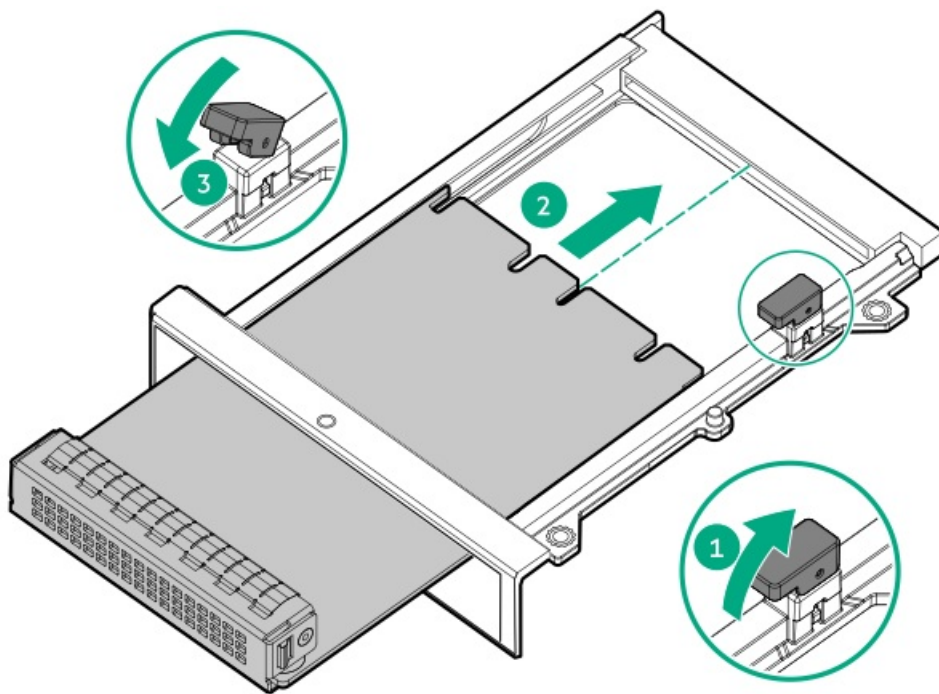
- ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. リアウォールブランクまたはライザーケージを取り外します。
6. OCPアダプターブランクを取り外します。



7. ストレージコントローラーを取り付けます。



8. ケーブルを接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源に接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

冷却

サブトピック

高性能ファンの取り付け

高性能ファンの取り付け

このタスクについて

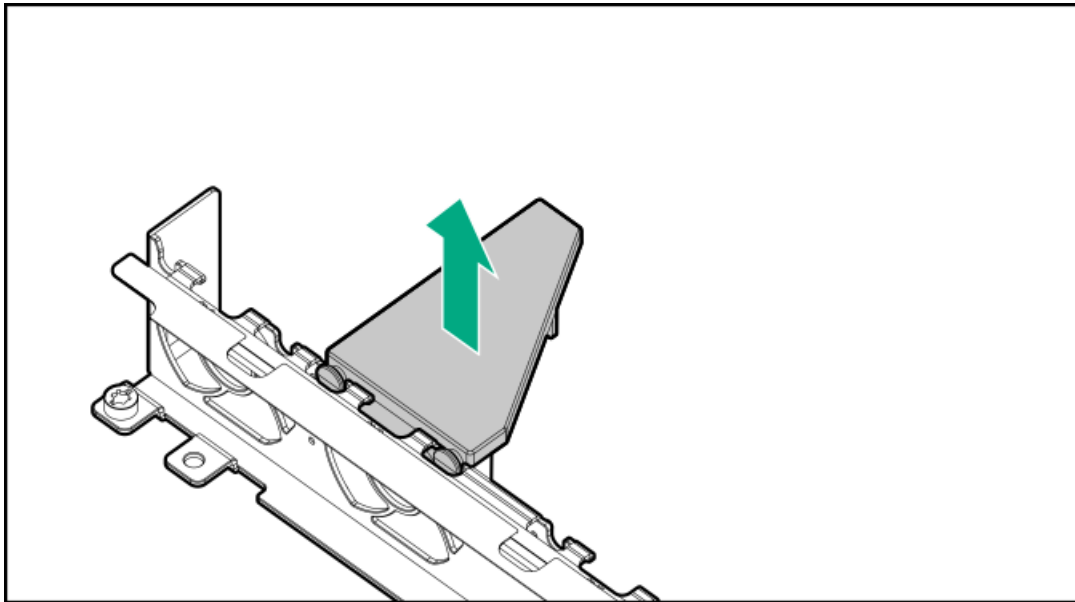
特定のハードウェア構成では高性能ファンが必要です。具体的な構成を確認するには、Hewlett Packard Enterprise [Webサイト](#)にある製品のQuickSpecsを参照してください。

このキットは、35° Cを超える拡張された動作時の周囲温度を満たします。拡張された周囲構成について詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)を参照してください。

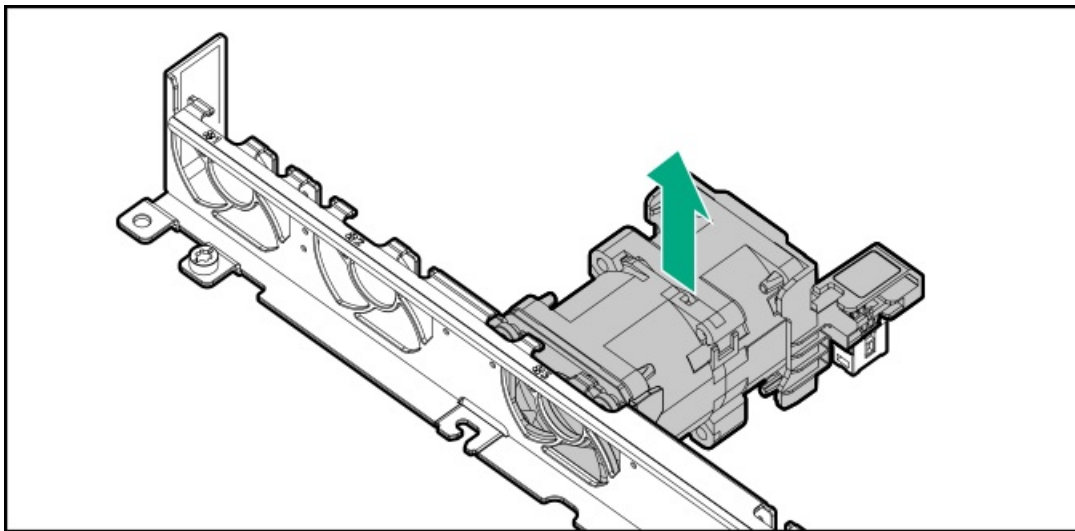
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

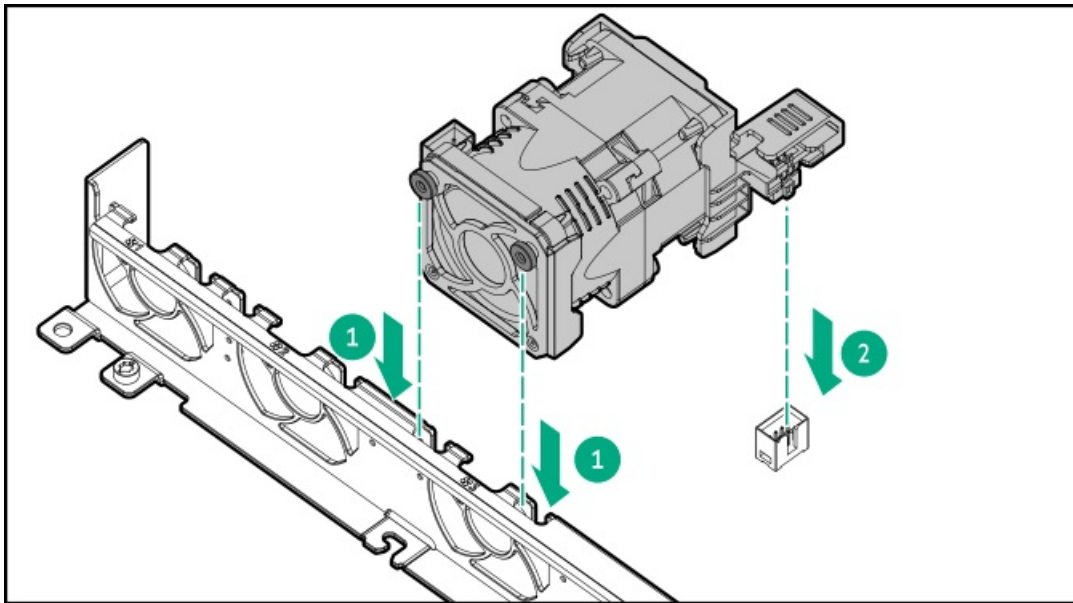
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. ファンブランクをすべて取り外します。



- 6. すべての標準ファンを取り外します。



- 7. 高性能ファンを取り付けます。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに戻します。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

ドライブケース

サブトピック

2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け

2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け

前提条件

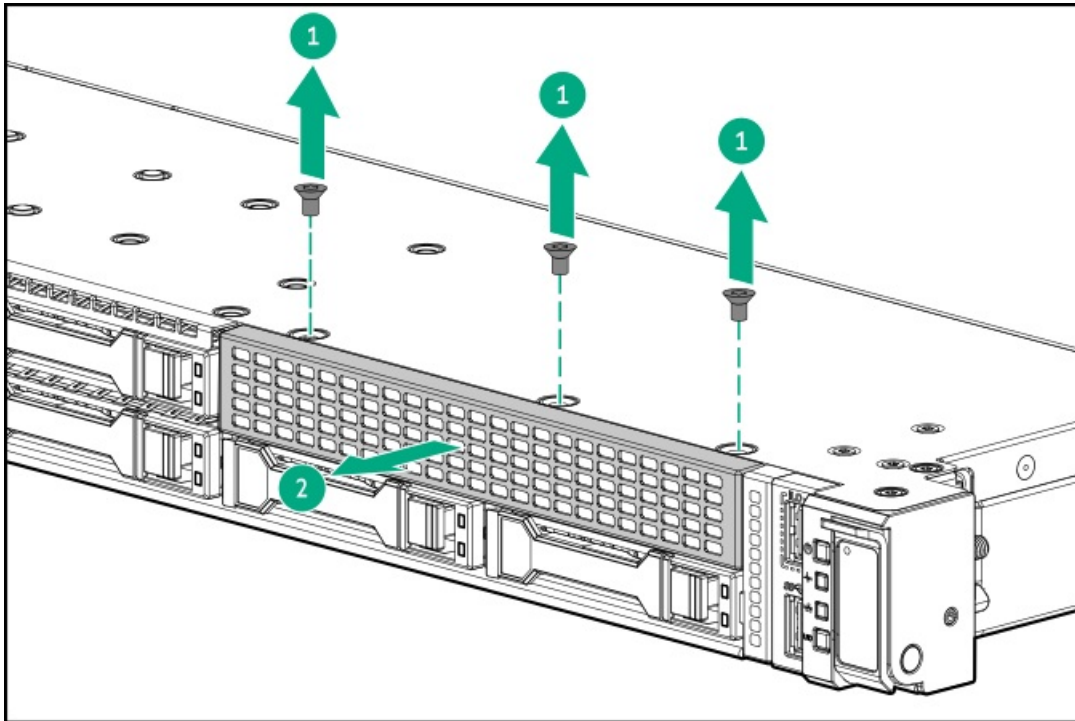
次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- オプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- 2 SFF (2.5型) ドライブまたはドライブブランク

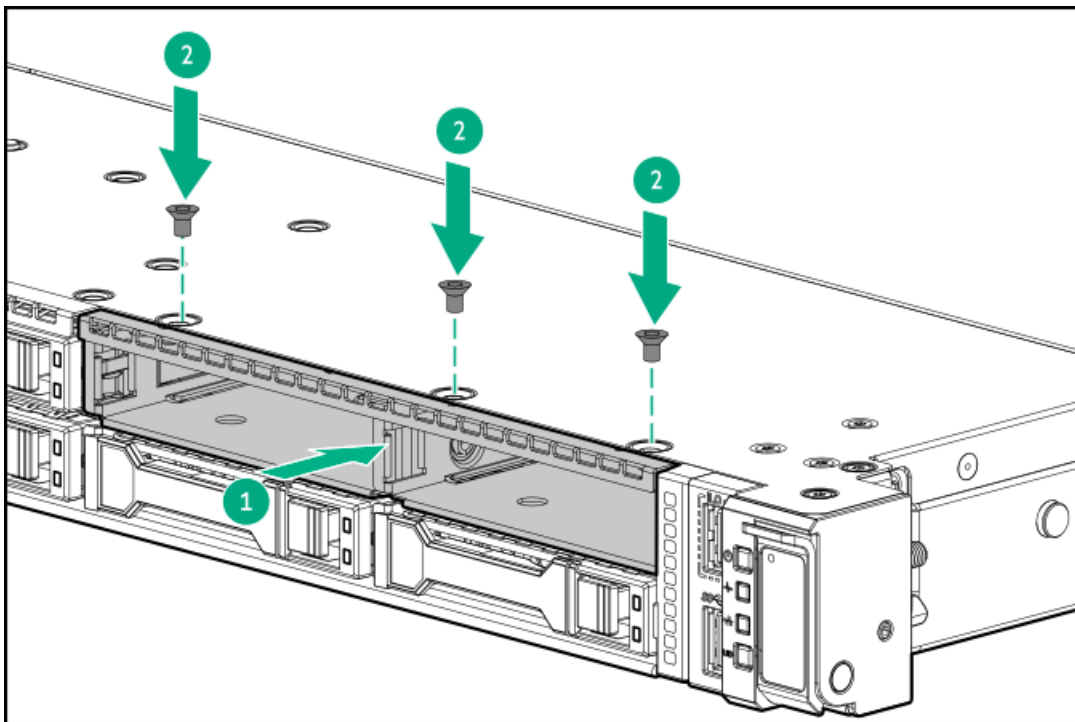
手順

1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
2. サーバーの電源を切る。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。

- a. ラックからサーバーを引き出す。
 - b. ラックからサーバーを取り外す。
5. ユニバーサルメディアベイブランクを取り外します。

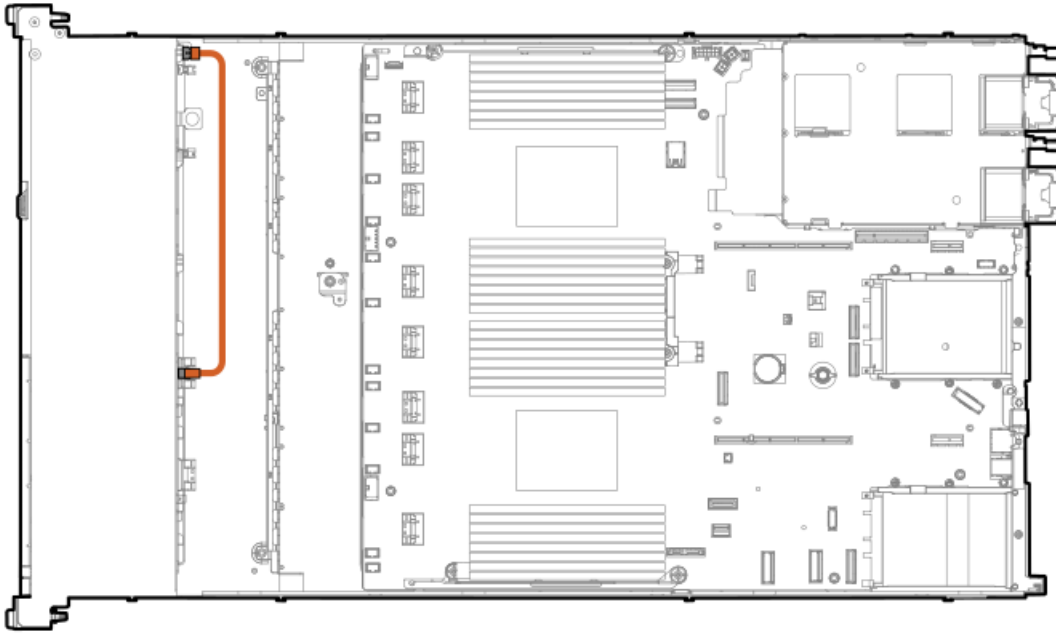


6. 2 SFF (2.5型) ドライブパッケージを取り付けます。



7. アクセスポネルを取り外す。
8. 電源ケーブルを8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンに接続します。





9. データケーブルを接続します。
10. ドライブまたはドライブblankを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付ける。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
15. サーバーの電源を入れる。

Energy Packオプション

サーバー電源の計画外の停電が発生した場合、HPEストレージコントローラーのフラッシュバックアップ式ライトキャッシュ (FBWC) 機能には、フラッシュデバイス内の書き込みキャッシュデータをバックアップするための集中型バックアップ電源が必要です。このサーバーは、Energy Packと総称される次の電源オプションをサポートします。

- HPE Smartストレージバッテリー
- HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

1つのEnergy Packで、複数のデバイスをサポートします。その取り付け後に、Energy PackのステータスがHPE iLOに表示されます。詳しくは、iLOのユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/iLo6>

サブトピック

最小ファームウェアバージョン

HPE Smartストレージバッテリー

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

Smartストレージバッテリー/キャパシターを取り付ける

最小ファームウェアバージョン

製品	最小ファームウェアバージョン
サーバーシステムROM	1.20
HPE SR900シリーズタイプp Gen11コントローラー 03.01.14.062	

HPE Smartストレージバッテリー

HPE SmartストレージバッテリーはHPEのSRとMRの両方のストレージコントローラーをサポートしています。

1個の96Wバッテリーで最大24のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で2時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、145 mmケーブル付き96 W HPE Smartストレージバッテリーをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

HPE SmartストレージハイブリッドキャパシターはHPEのSRとMRの両方のストレージコントローラーをサポートしています。

コンデンサーパックは、最大2つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、145 mmケーブル付きHPE Smartストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファームウェアの最小要件をシステムBIOSが満たしていることを確認します。

i 重要:

システムBIOSまたはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョンよりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

Smartストレージバッテリー/キャパシターを取り付ける

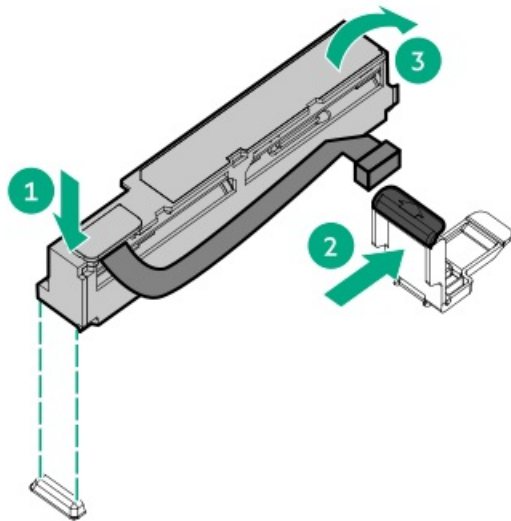
前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

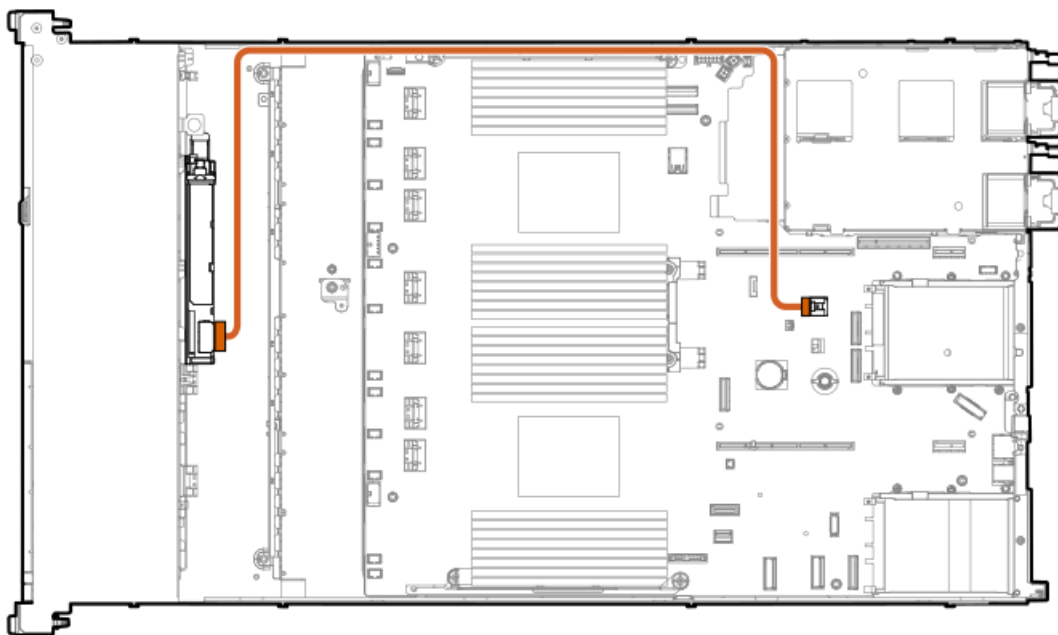
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。

- a. サーバーをラックから引き出します。
- b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. Energy Packを取り付けます。



6. 必要に応じて、延長ケーブルを接続します。
7. ケーブルをシステムボードに接続します。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ハードディスクドライブ

サブトピック

ドライブのガイドライン

ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け

ドライブのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。
- ハードドライブを1台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。ドライブ番号については、「ドライブベイの番号」を参照してください。
- NVMe SSDはPCIeバスデバイスです。PCIeバスに接続されたデバイスは、デバイスとバスの信号またはトラフィックフローが完全に終了するまで取り外すことはできません。取り外し禁止ボタンのLEDが点滅している場合は、ドライブベイからNVMe SSDを取り外さないでください。取り外し禁止ボタンのLEDの点滅は、デバイスがまだ使用されていることを示します。デバイスの信号またはトラフィックフローが完全に終了する前にNVMe SSDを取り外すと、データが消失する可能性があります。
- 容量が同じドライブを同じドライブアレイにグループ化すると、ストレージの容量効率が最大になります。

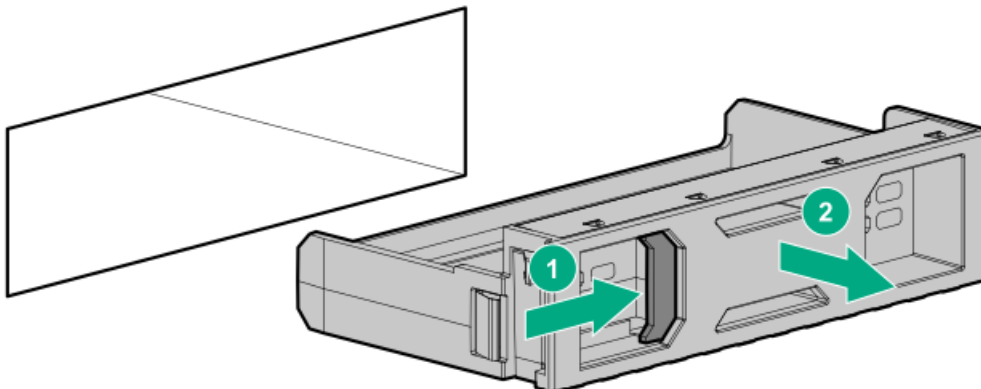
ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け

このタスクについて

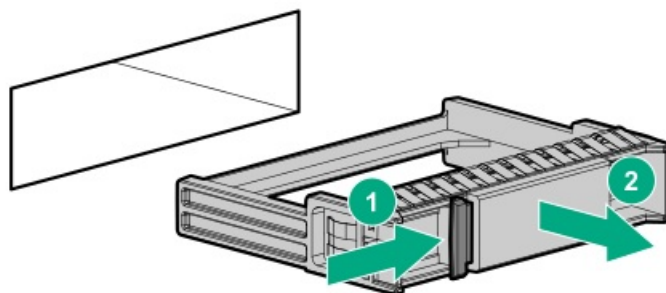
△ 注意: 不適切な冷却や高温による装置の損傷を防止するために、すべてのドライブベイとデバイスベイに必ず、コンポーネントかブランクのいずれかを実装してサーバーを動作させてください。

手順

1. 次のドライブブランクを取り外します。
 - LFF (3.5型) ドライブブランク

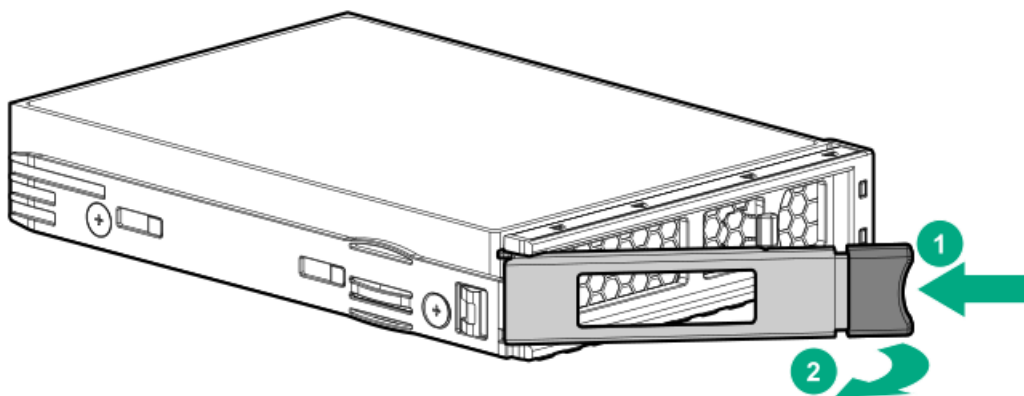


- SFF (2.5型) ドライブブランク

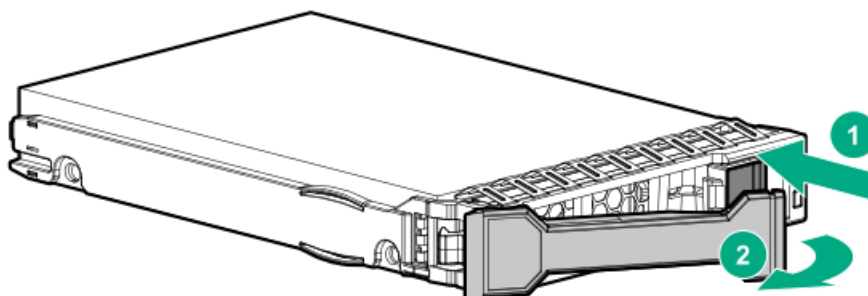


2. ドライブを準備します。

- LFF (3.5型) ドライブ

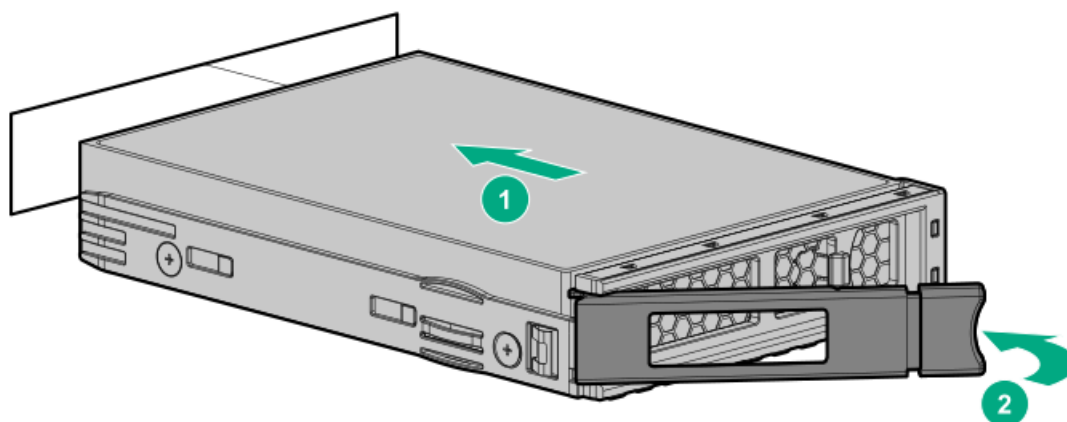


- SFF (2.5型) ドライブ

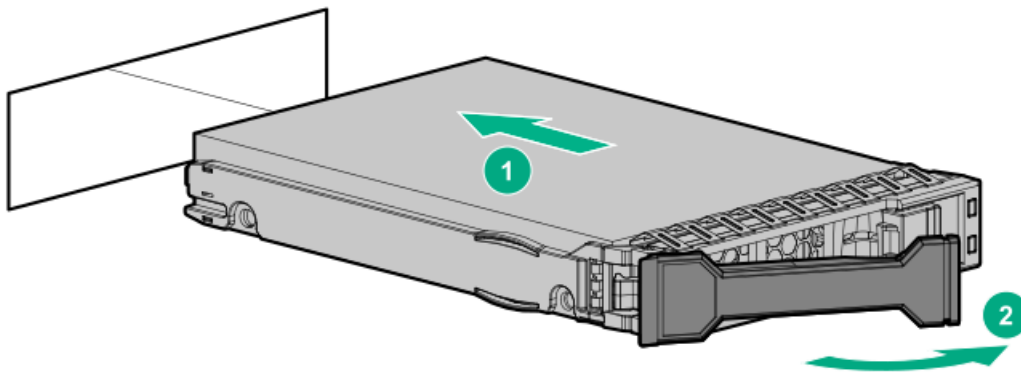


3. ドライブを取り付けます。

- LFF (3.5型) ドライブ



- SFF (2.5型) ドライブ



4. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。

管理

サブトピック

Systems Insight Displayの取り付け

シリアルポートオプションの取り付け

Systems Insight Displayの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。

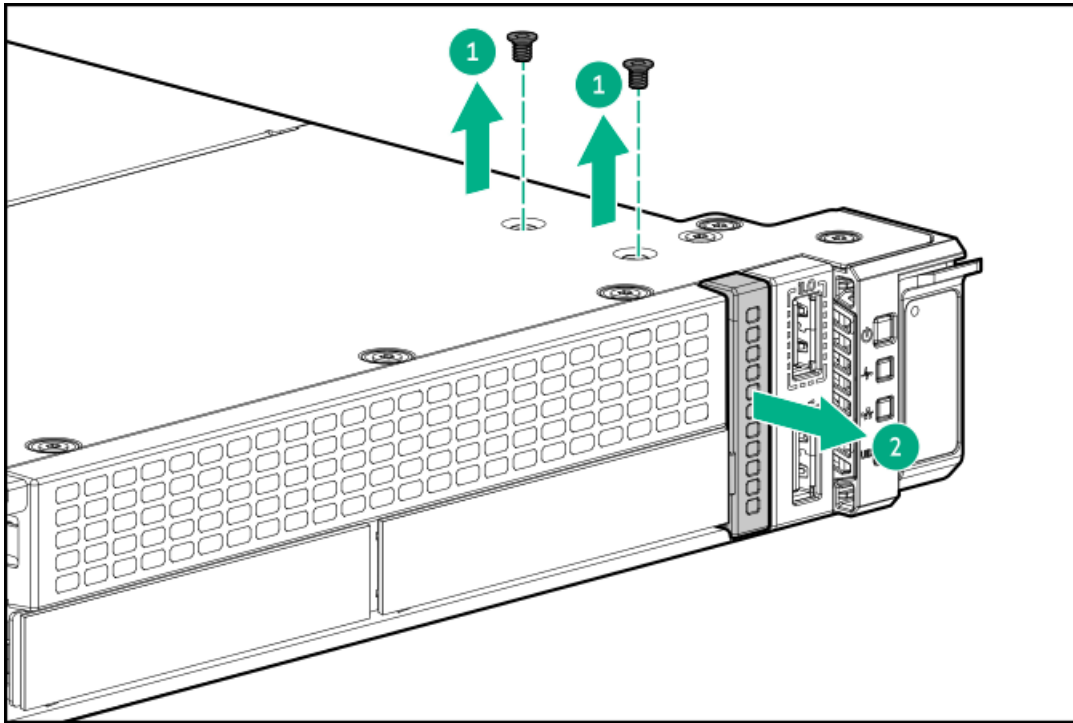
⚠ 警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

⚠ 注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

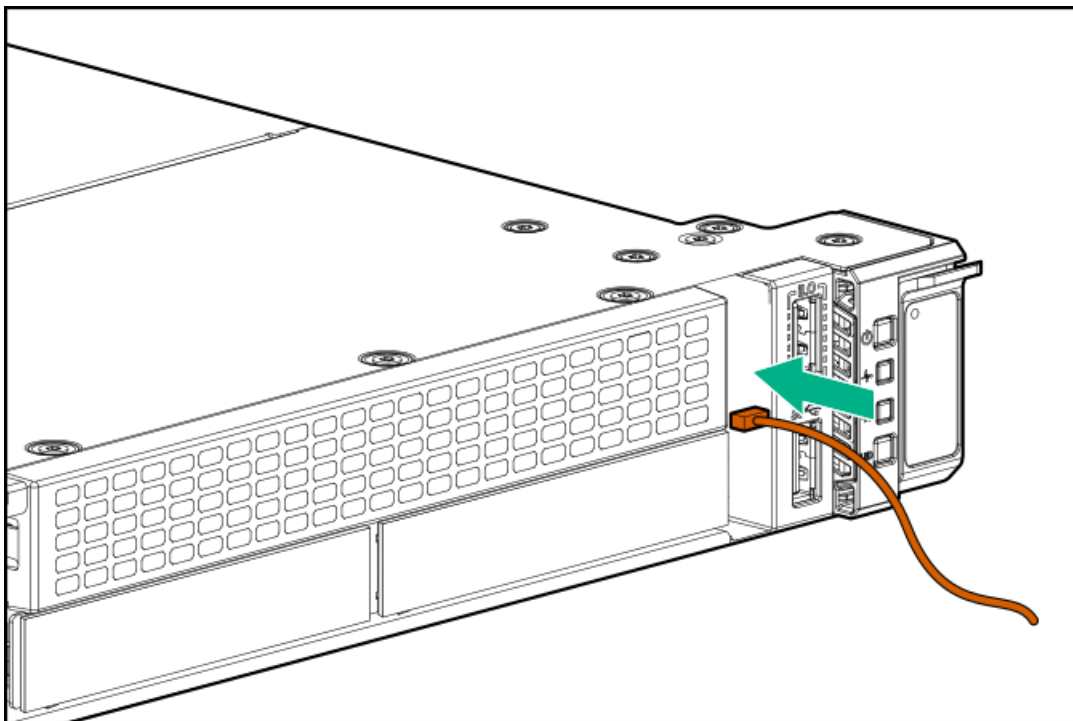
2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。

- サーバーをラックから取り外します。

6. アクセスパネルを取り外します。
7. SIDブランクを取り外します。

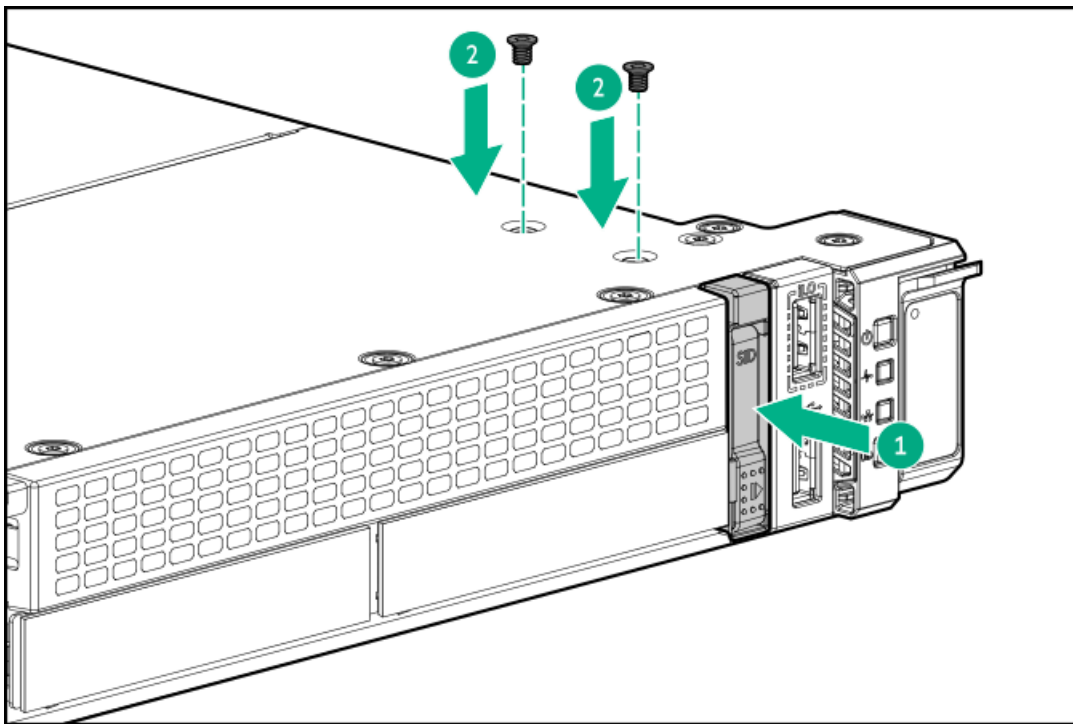


8. SIDケーブルをサーバーの前面を通して配線します。

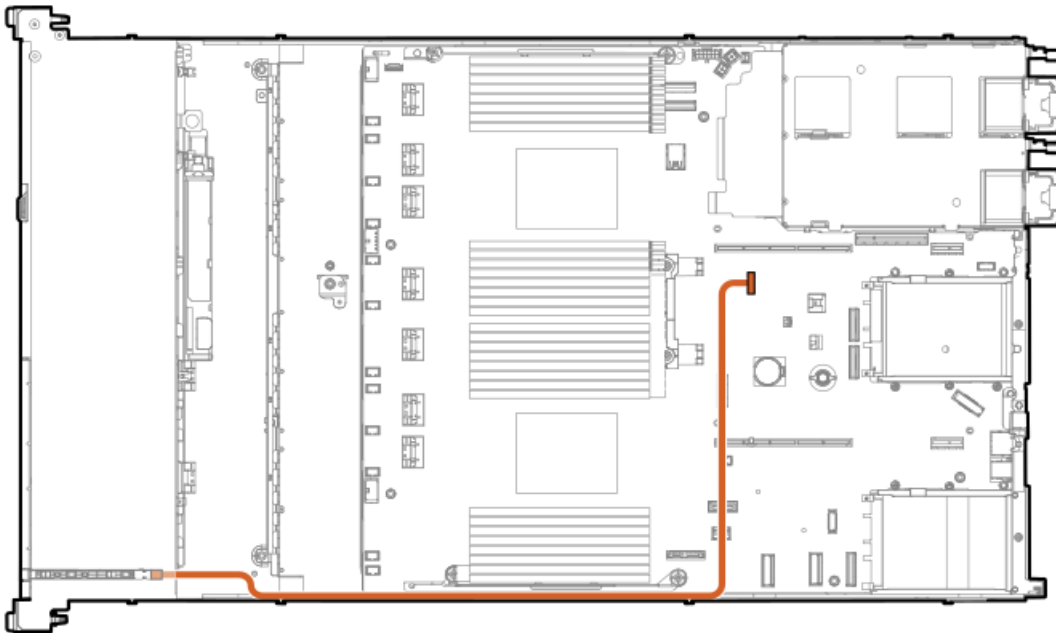


9. T-10トルクスドライバーを使用してSIDモジュールを取り付けます。





10. SIDケーブルをシステムボードに接続します。



11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

シリアルポートオプションの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- 5 mmナットドライバー

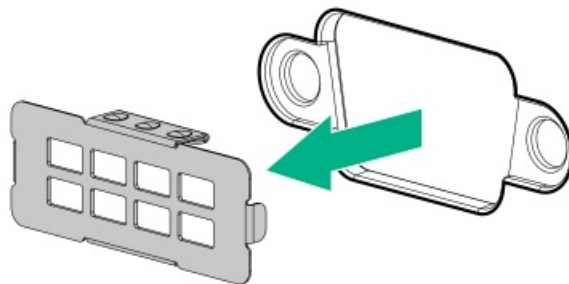
手順

1. 次のアラートに注意してください。

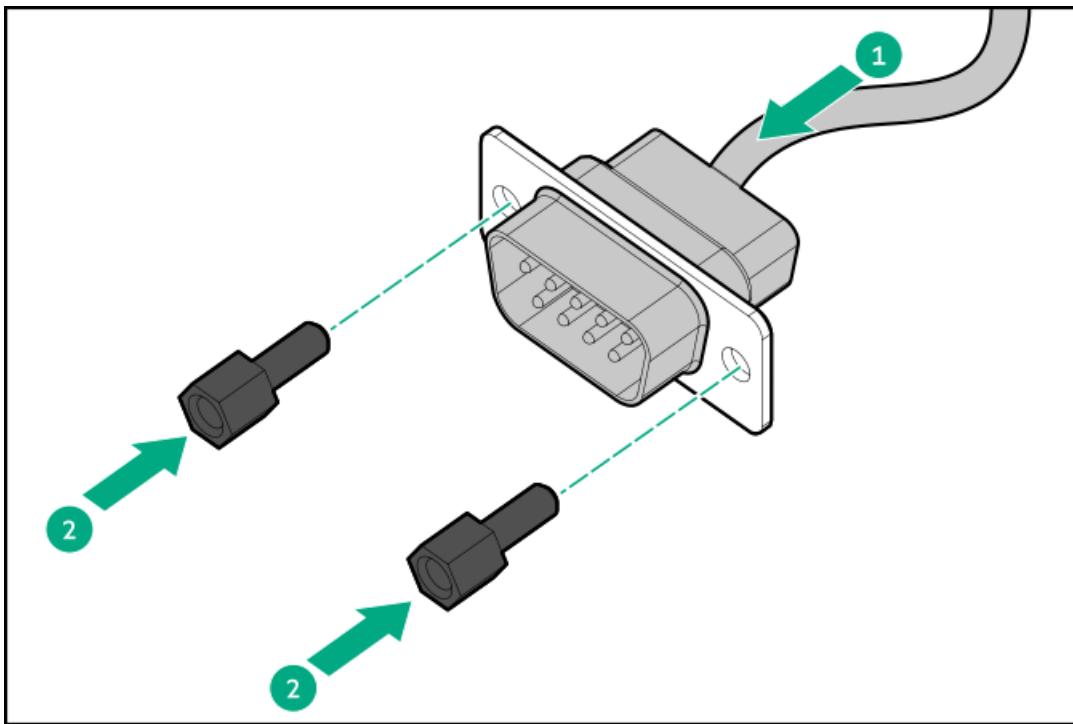
警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

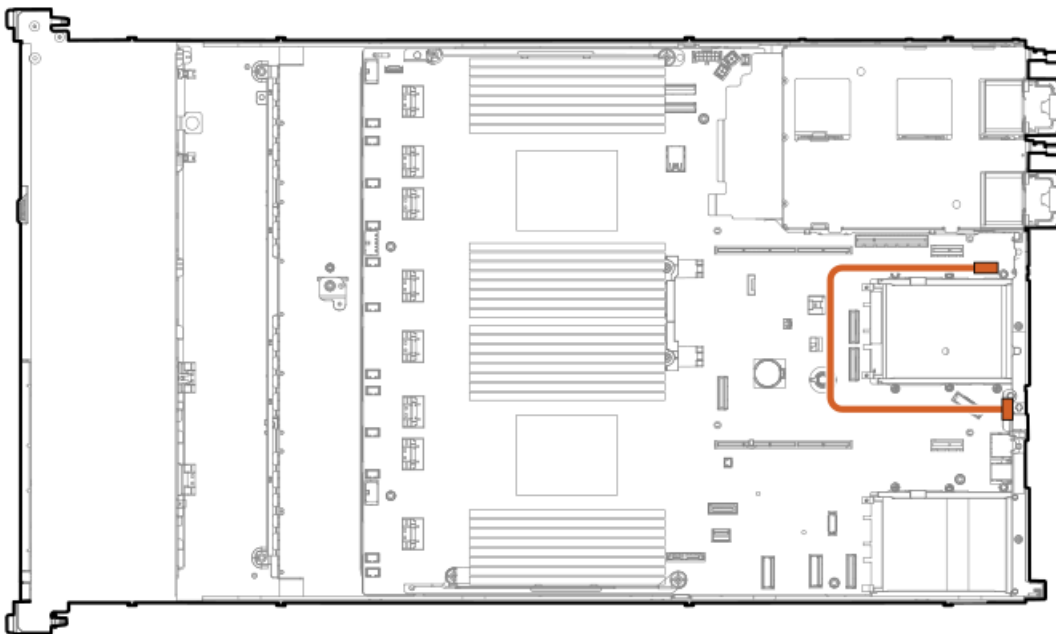
2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. シリアルポートブラックを取り外します。



8. 5 mmナットドライバーを使用してシリアルケーブルを取り付けます。



9. シリアルケーブルをシステムボードに接続します。



10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

メモリ

サブトピック

[メモリ取り付け情報](#)

[DIMMプロセッサの互換性](#)

[DIMMブランクを取り付ける](#)

[DIMMの取り付け](#)

メモリ取り付け情報

特定のメモリ取り付けについては、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/docs/server-memory>) にあるメモリの取り付けガイドラインを参照してください。

DIMMプロセッサの互換性

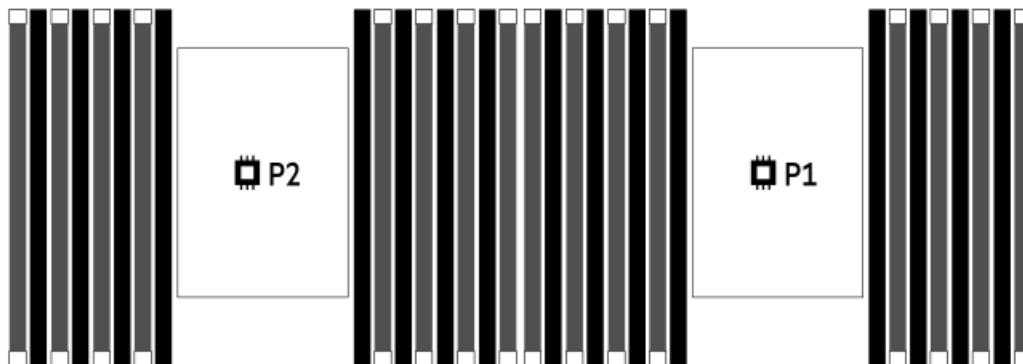
第4世代インテルXeonスケーラブルプロセッサは、DDR5-4800 DIMMをサポートします。

DIMMを混在させないでください。サーバーでサポートされているDDR5-4800 DIMMのみを取り付けます。

DIMMブランクを取り付ける

このタスクについて

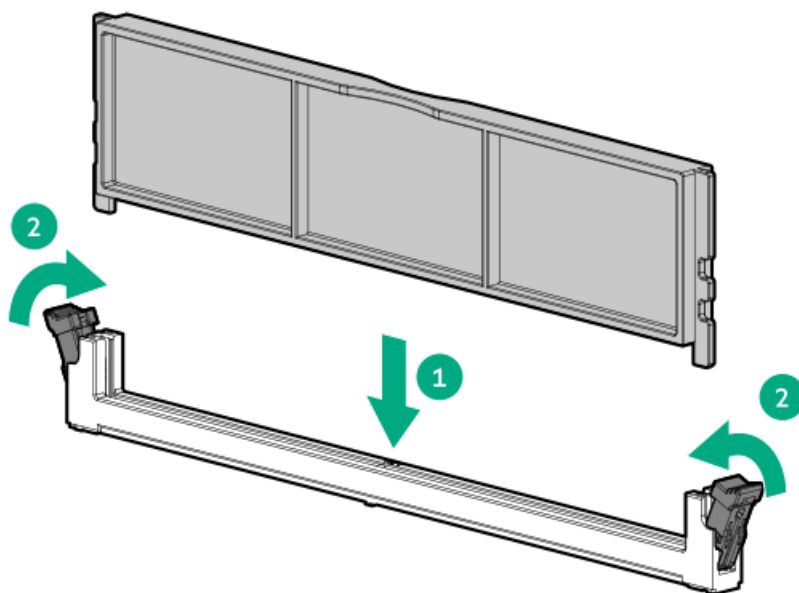
① 重要: このサーバーでは、使用可能なすべてのDIMMスロットにDIMMブランクが必要です。



手順

1. [サーバーの電源を切ります。](#)
2. [すべての電源の取り外し：](#)

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
- a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. DIMMスロットのラッチを開きます。
6. DIMMブランクを取り付けます。



7. アクセスパネルを取り付けます。
8. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
9. 各電源コードをサーバーに接続します。
10. 各電源コードを電源に接続します。
11. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

DIMMの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。

ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

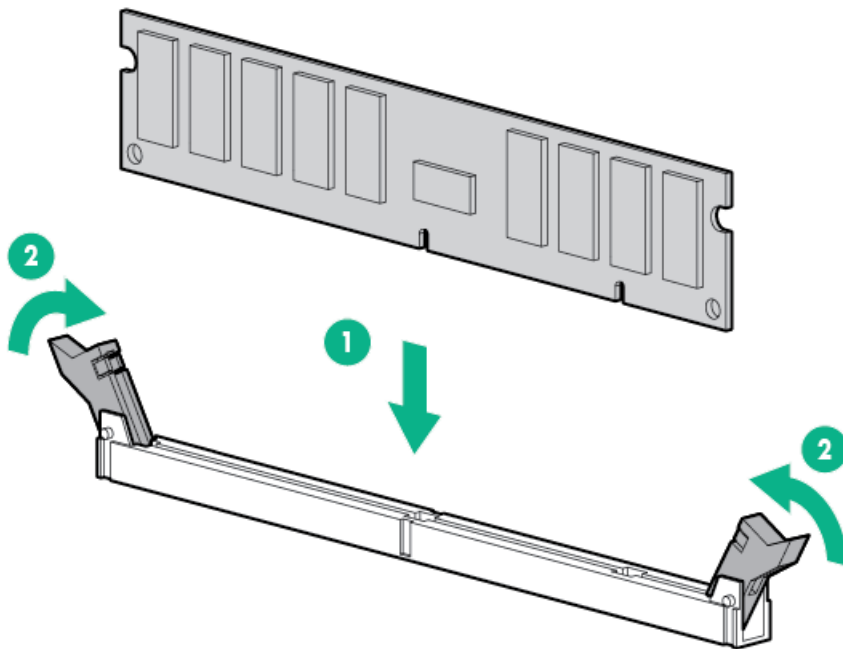
個々のオプションについて詳しくは、サーバーのQuickSpecsを[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)で参照してください。

このタスクについて

このサーバーは、最大32枚のDIMMをサポートします。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. DIMMスロットのラッチを開きます。
6. DIMMを取り付けます。



7. アクセスパネルを取り付けます。
8. サーバーをラックに取り付けます。
9. 各電源コードをサーバーに接続します。
10. 各電源コードを電源ソースに接続します。
11. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

UEFIシステムユーティリティのBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) を使用して、メモリモードを構成します。

LEDおよび障害が発生したDIMMのトラブルシューティングについて詳しくは、[System Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)を参照してください。

ネットワーク

サブトピック

OCPネットワークアダプターを取り付ける

PCIeネットワークアダプターを取り付ける

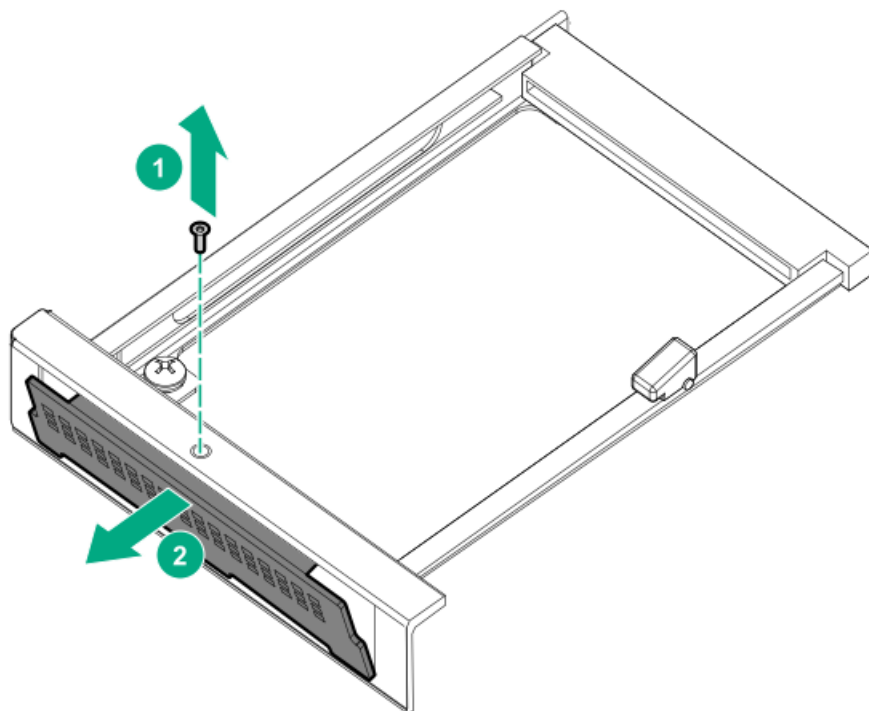
OCPネットワークアダプターを取り付ける

前提条件

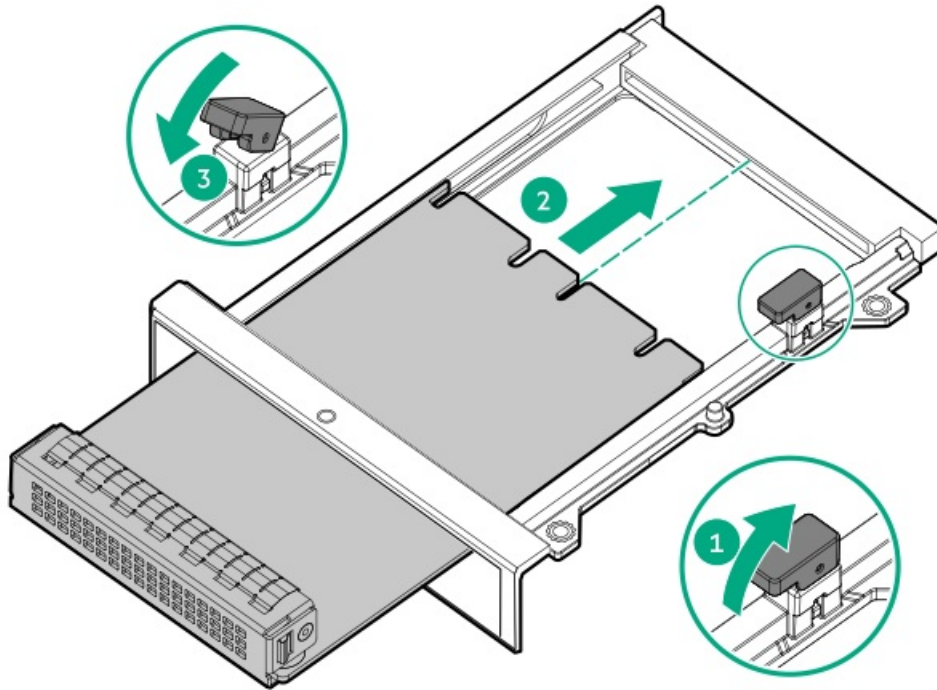
この手順を始める前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが使用可能であることを確認してください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. リアウォールブラックまたはライザーケージを取り外します。
6. OCPアダプターブラックを取り外します。



7. ネットワークアダプターを取り付けます。



8. ケーブルを接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源に接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

PCIeネットワークアダプターを取り付ける

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

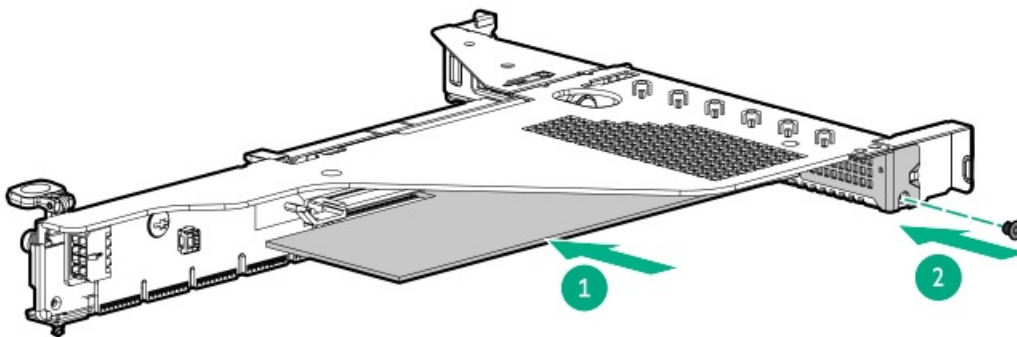
1. 次のアラートに注意してください。

⚠ 警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

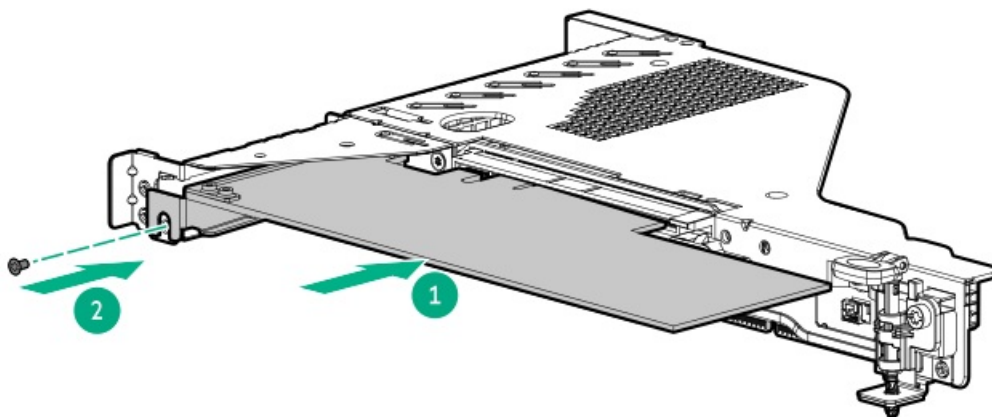
⚠ 注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。

4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. 以下のいずれかを実行します。
 - アダプターをプライマリライザーのスロット1に取り付けるには、以下の手順に従います。
 - a. プライマリPCIライザーケーシングを取り外します。
 - b. ブランクを取り外します。
 - c. アダプターを取り付けます。



- アダプターをプライマリライザーのスロット2に取り付けるには、次の手順に従います。
 - a. プライマリPCIライザーケーシングを取り外します。
 - b. ブランクを取り外します。
 - c. アダプターを取り付けます。



8. ライザーケーシングを取り付けます。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。

11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源ソースに接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

オプティカルドライブとメディアベイ

サブトピック

8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け

4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け

8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

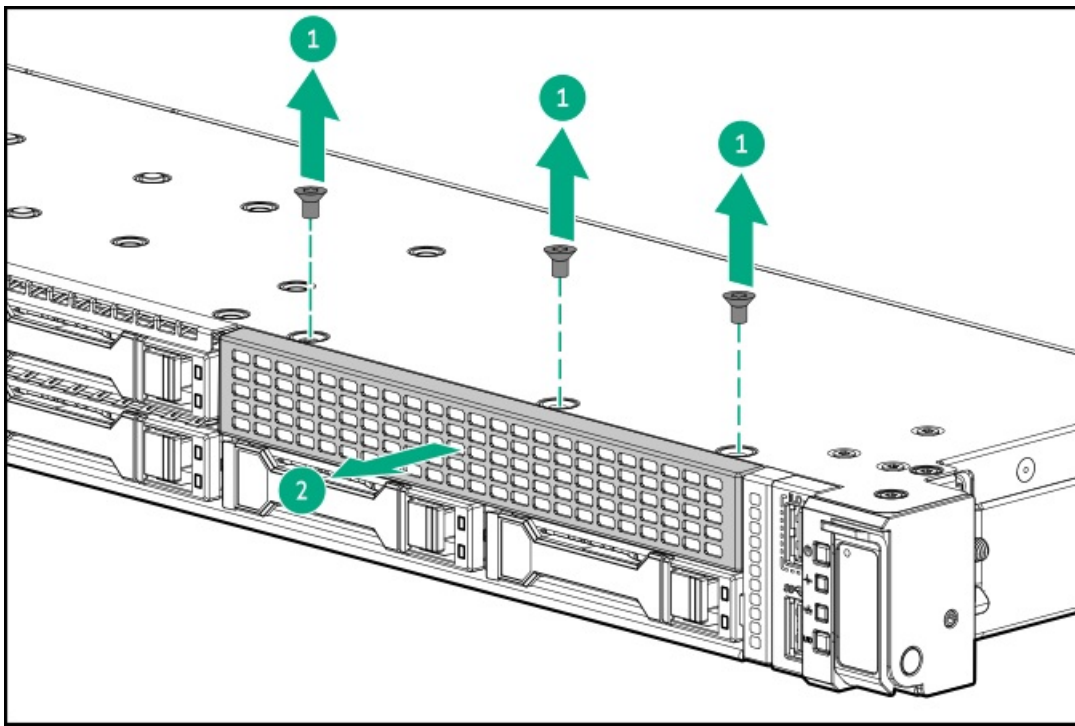
前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

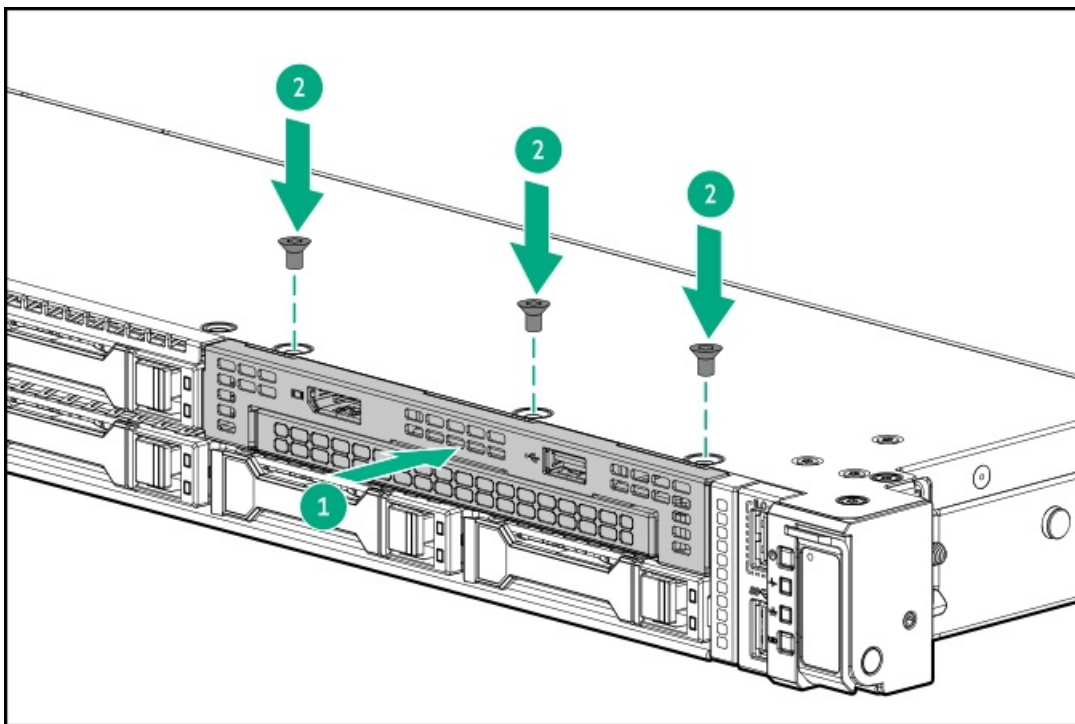
- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. ベイブランクを取り外します。

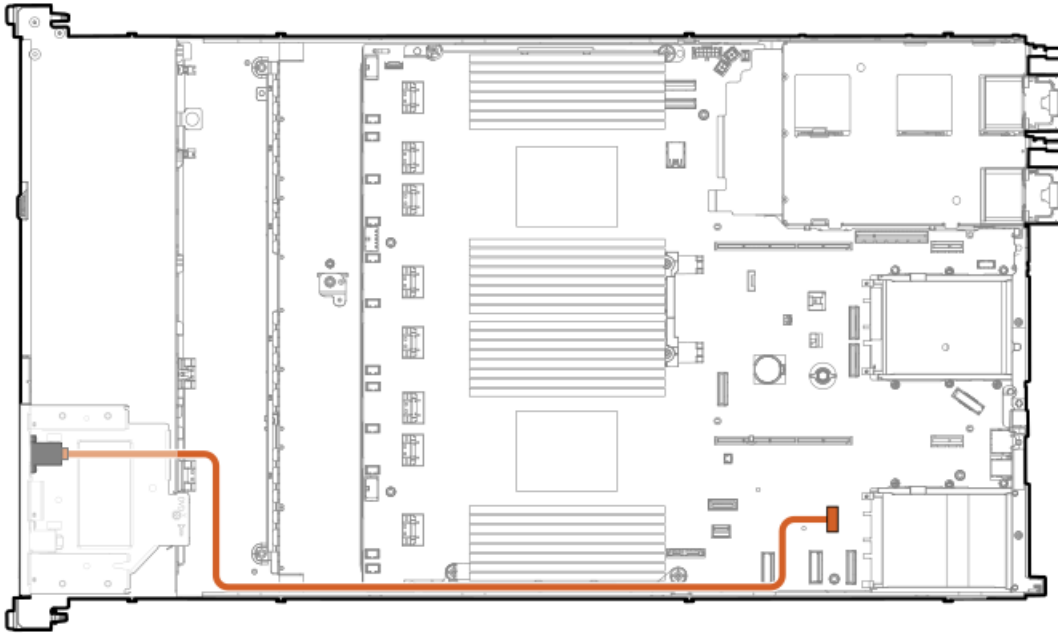


7. 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルオプションを取り付けます。



8. ケーブルをシステムボードに接続します。





9. 必要な場合は、オプティカルドライブを取り付けます。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け

前提条件

8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルblankオプションを取り付けます。

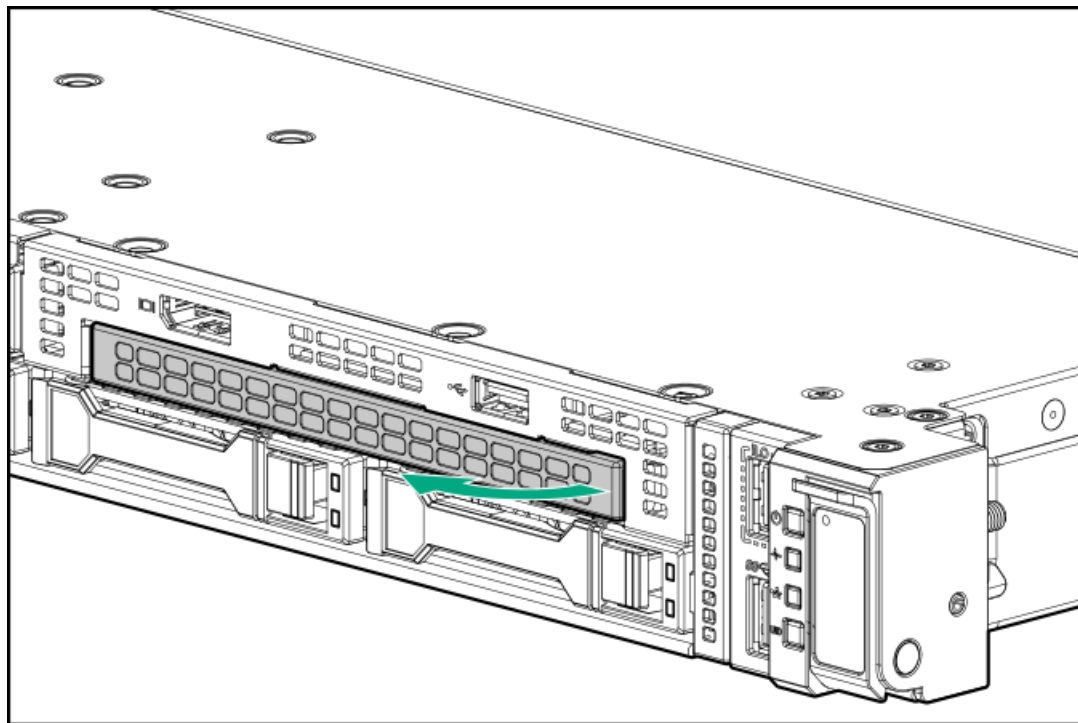
次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

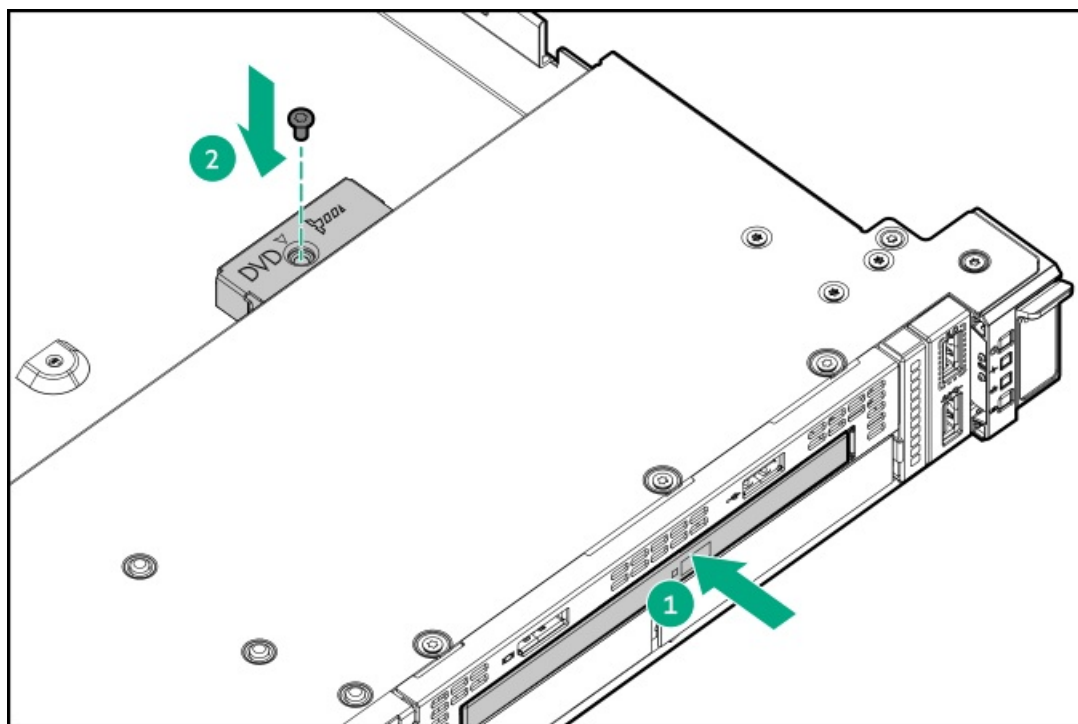
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。

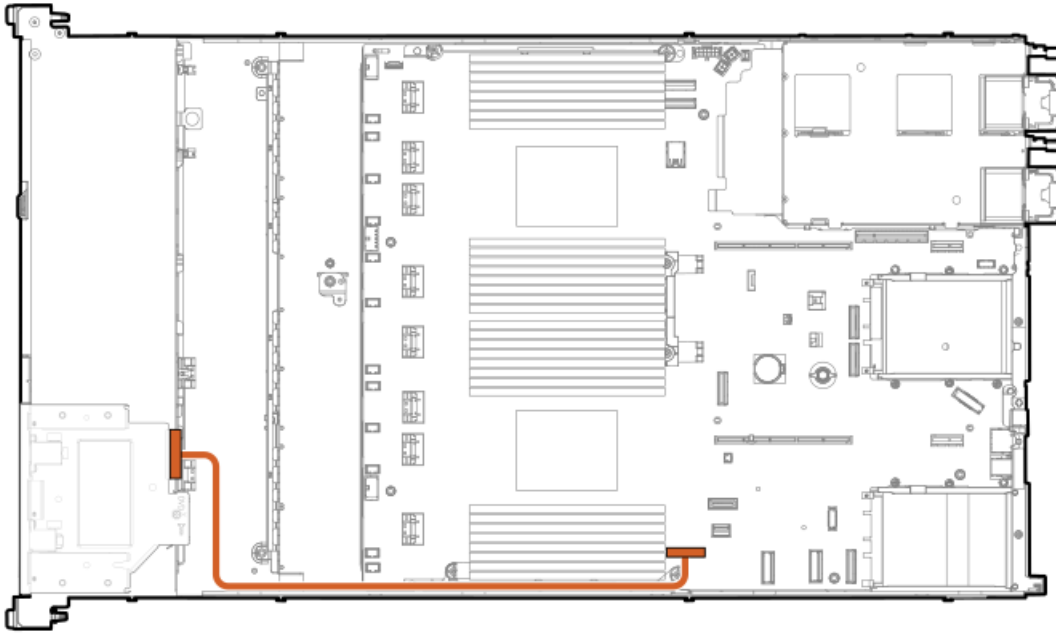
- a. サーバーをラックから引き出します。
- b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. オプティカルドライブブラックを取り外します。



6. オプティカルドライブを取り付けます。



7. オプティカルドライブのケーブルを接続します。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

前提条件

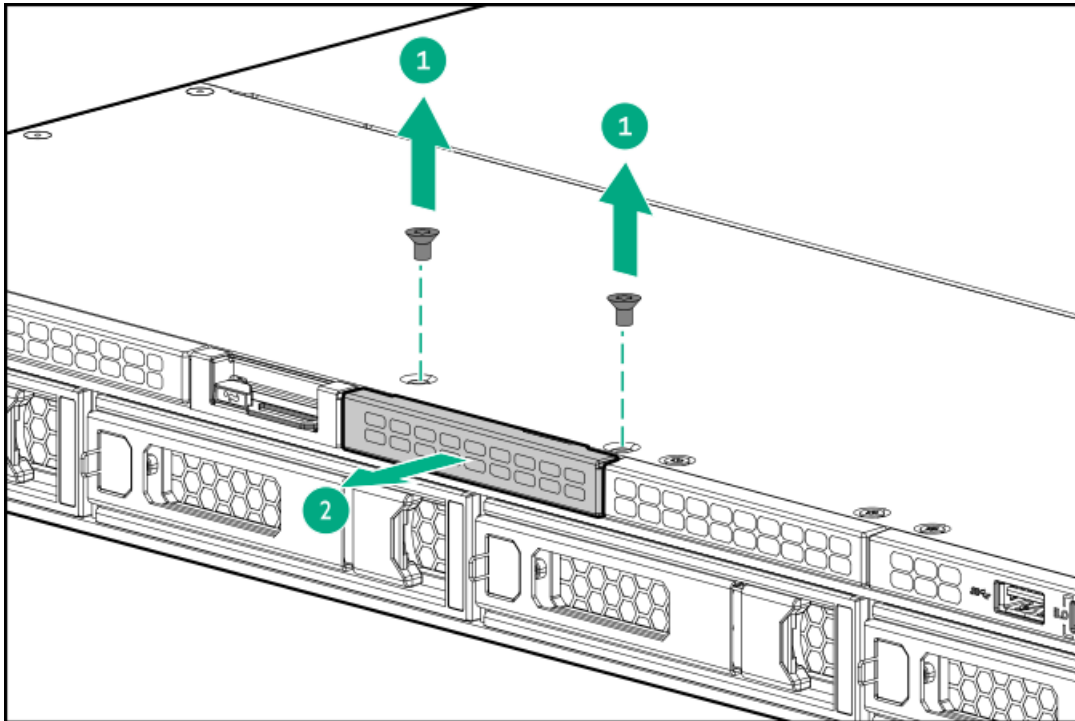
次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

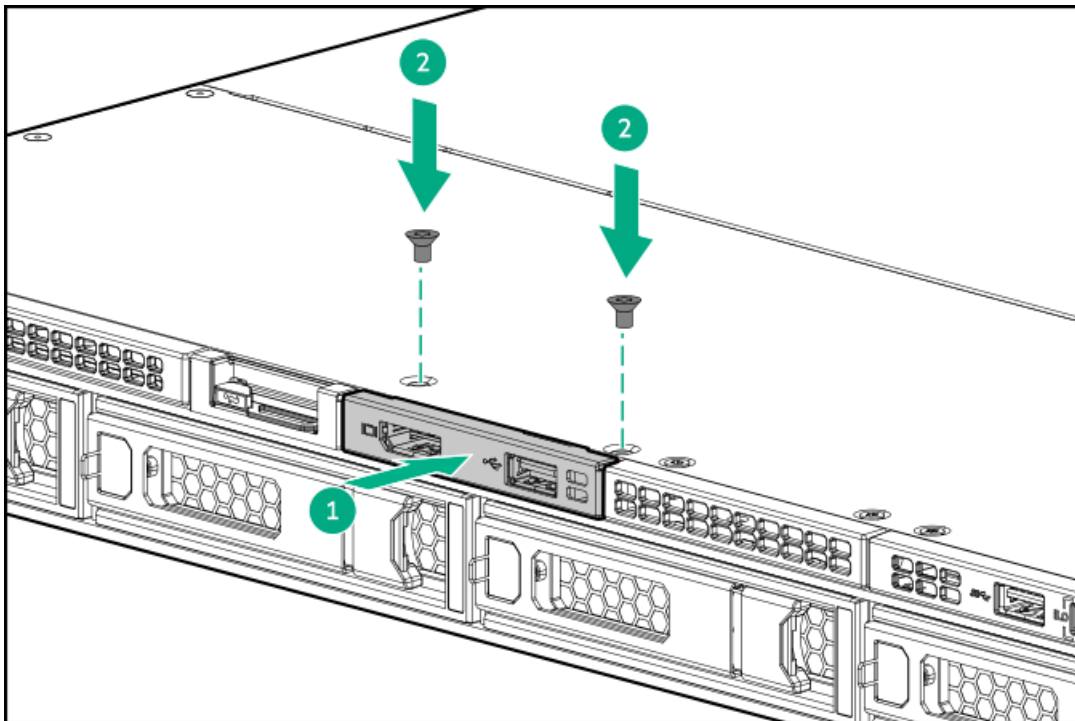
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。

4. トルクスT-10ドライバーを使用して、4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBブランクを取り外します。

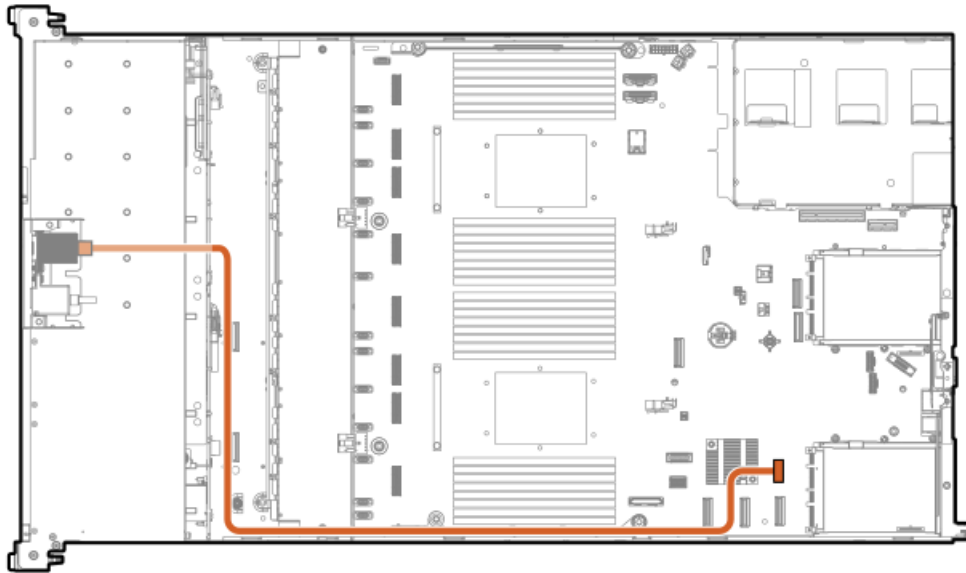


5. 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBモジュールを取り付けます。



6. アクセスポネルを取り外します。
7. ケーブルをシステムボードに接続します。





8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

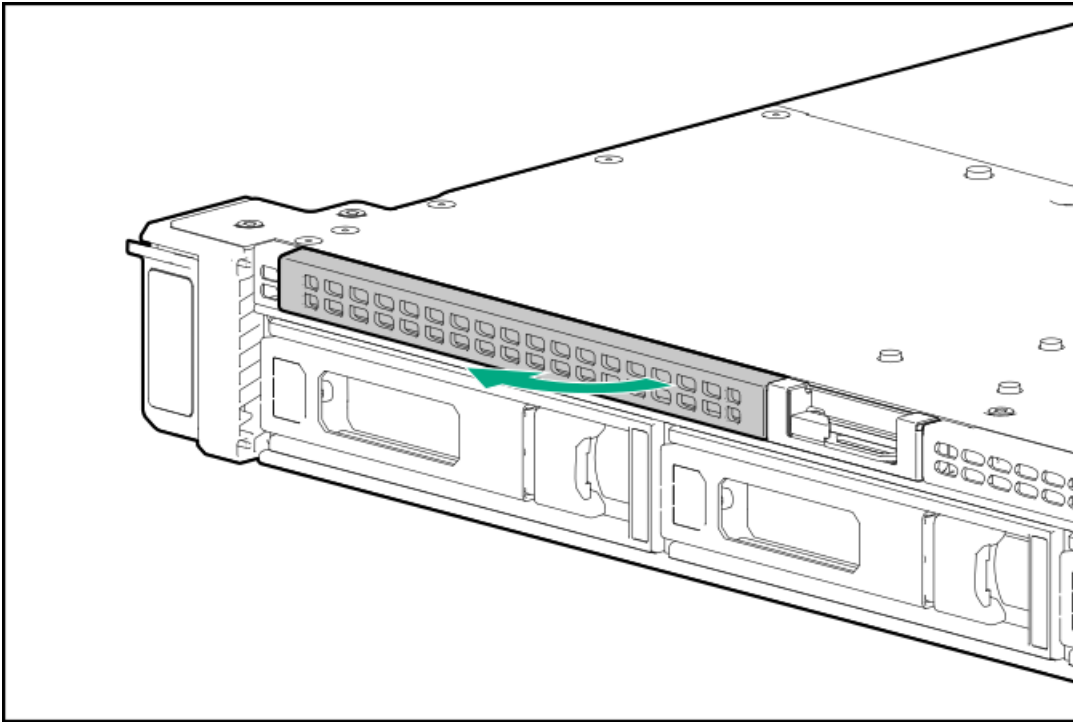
- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- LFF (3.5型) オプティカルケーブルオプションキット
- オプティカルドライブ

手順

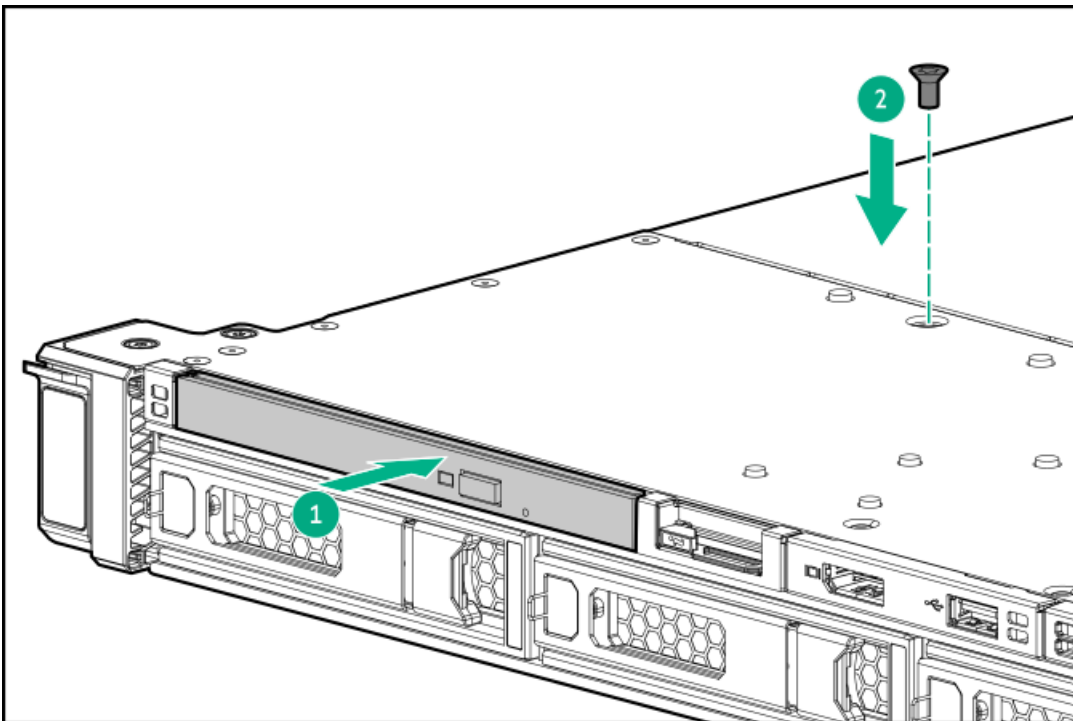
1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。

b. サーバーをラックから取り外します。

5. LFF (3.5型) オプティカルドライブベイブランクを取り外します。



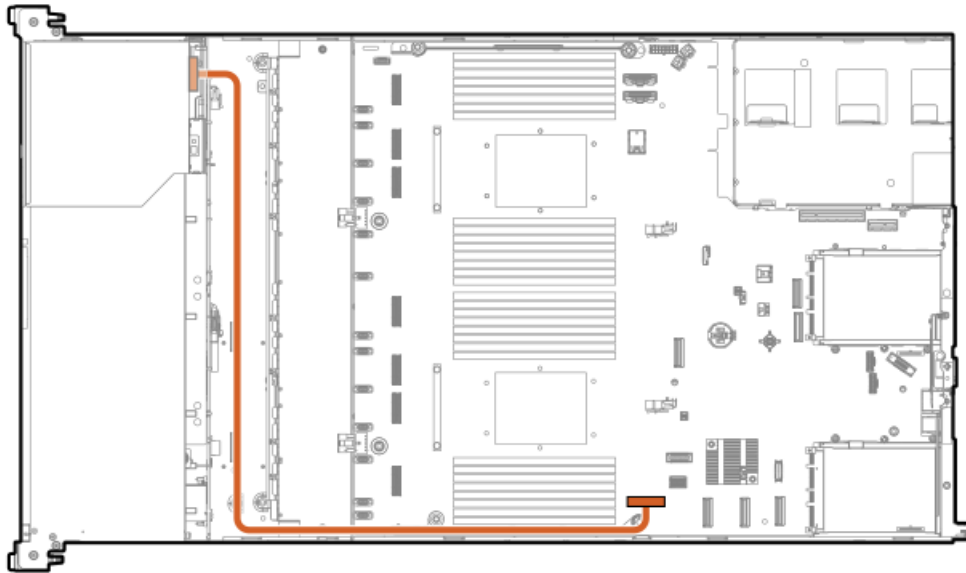
6. オプティカルドライブを取り付けます。



7. アクセスポネルを取り外します。

8. ケーブルをシステムボードに接続します。





9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源ソースに接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

OSブートデバイス

サブトピック

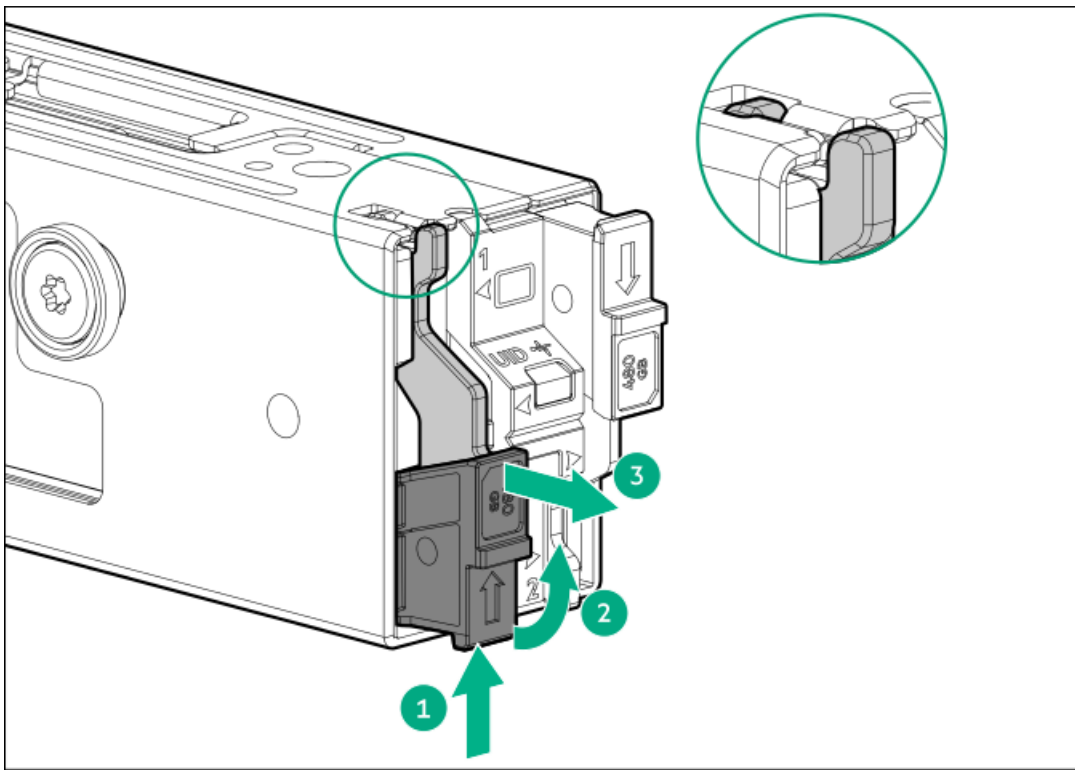
ブートデバイスドライブを取り付ける

HPE NS204i ブートデバイスを取り付ける

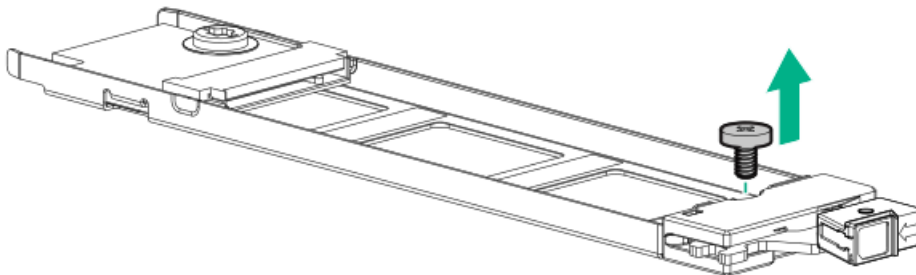
ブートデバイスドライブを取り付ける

手順

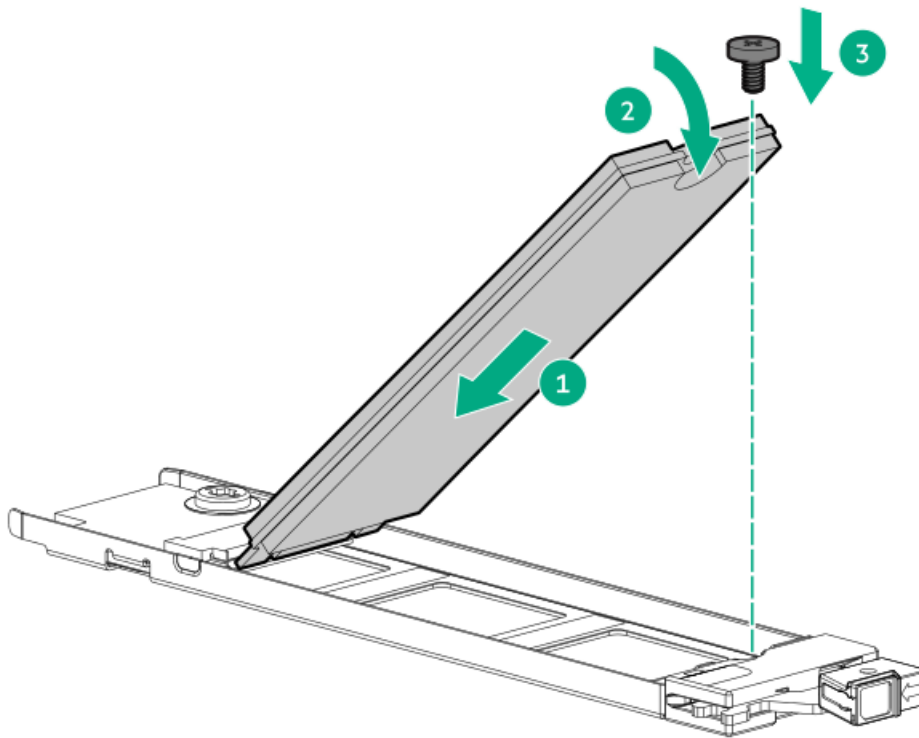
1. ボタンを押してキャリアを引き出します。



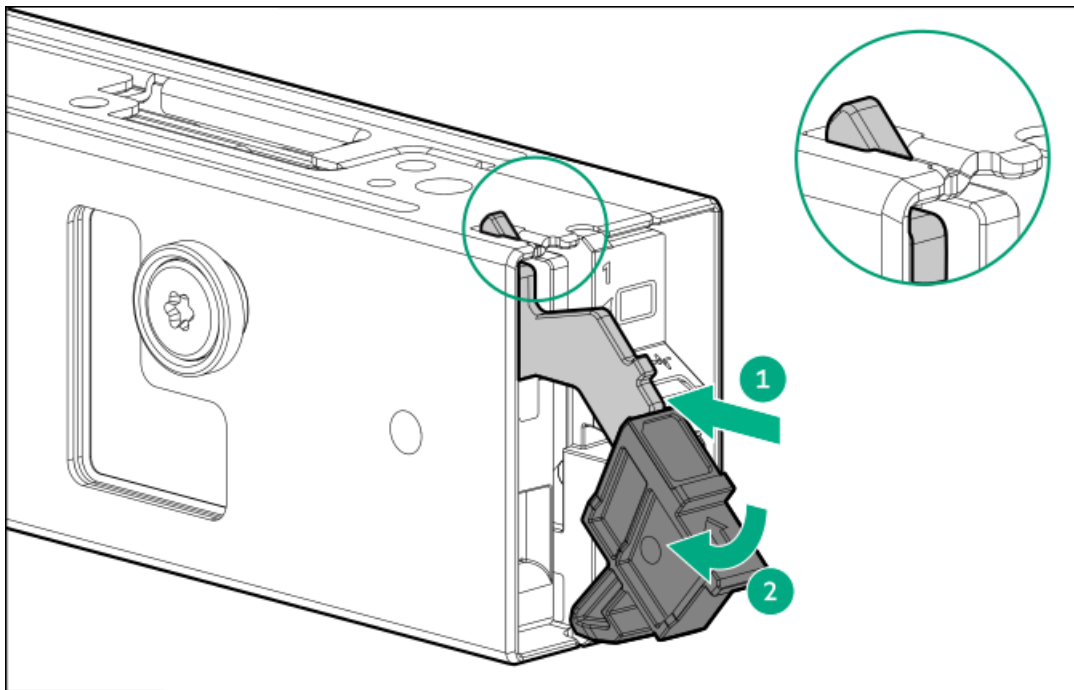
2. SSD取り付けネジを取り外します。



3. SSDを45度の角度でM.2スロットに挿入します（番号1）。
4. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます（番号2）。
5. SSD取り付けネジを取り付けます（番号3）。



6. 2つ目のM.2 SSDがキャリアアセンブリに取り付けられている場合、手順1と2を繰り返します。
7. キャリアをブートデバイスケース内にスライドさせ、ボタンを押します。ラッチが所定の位置にロックされると、カチッという音がします。ラッチが完全にかみ合っていることを確認します。



注記:

ドライブの取り外しについても、同じ手順に従ってください。

HPE NS204i ブートデバイスを取り付ける

前提条件

- 取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。
- この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

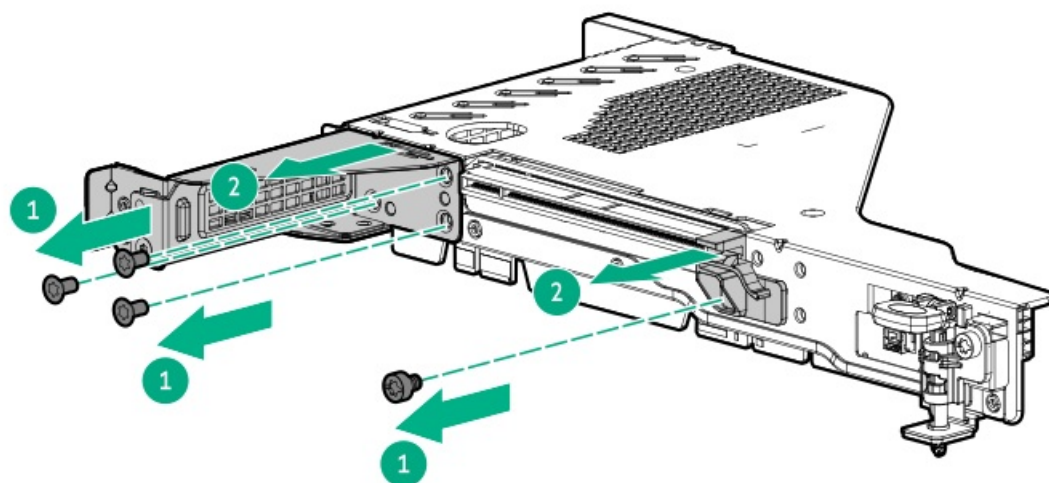
このタスクについて

以下の点に注意してください。

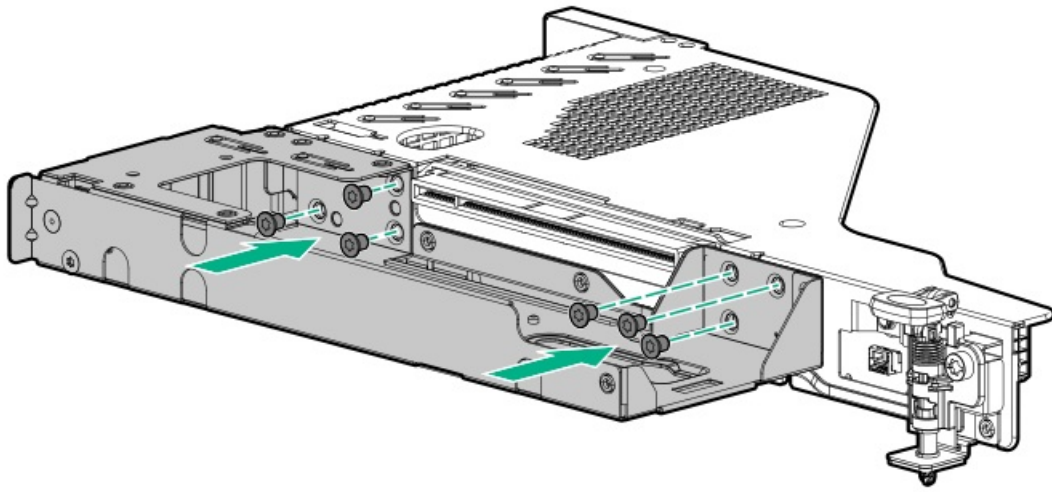
- HPE NS204i-u Gen11ホットプラグ対応ブートデバイスは、ホットプラグ対応2280 M.2 NVMe SSDを2台搭載したPCIe3 x4カスタムフォームファクターモジュールです。
- HPE NS204i-uブートデバイスは起動時にRAID1ボリュームを自動作成するため、構成は必要ありません。
- HPE NS204iブートデバイスコンポーネントを特定します。

手順

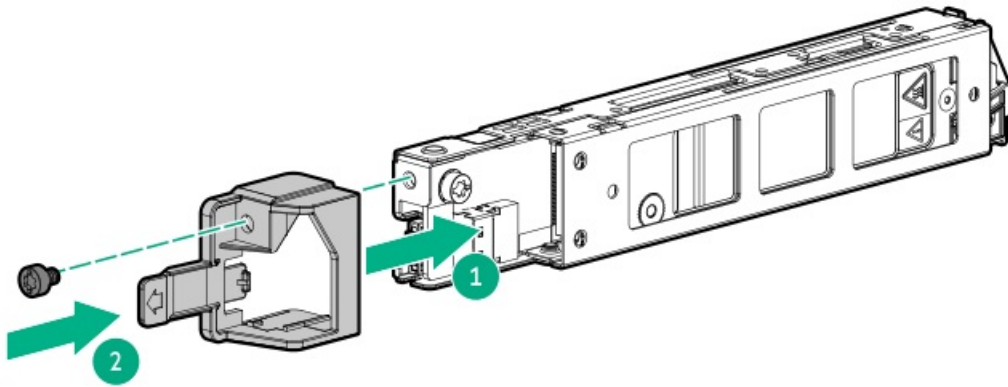
1. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. プライマリライザーケージを取り外します。
7. プライマリライザーケージからスロット2ブラケットを取り外します。



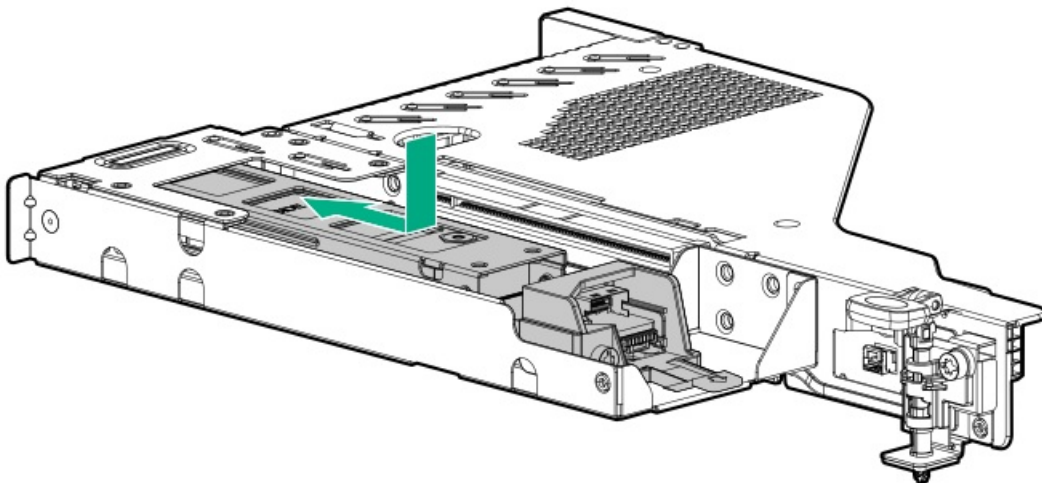
8. ブートデバイスケージを取り付けます。



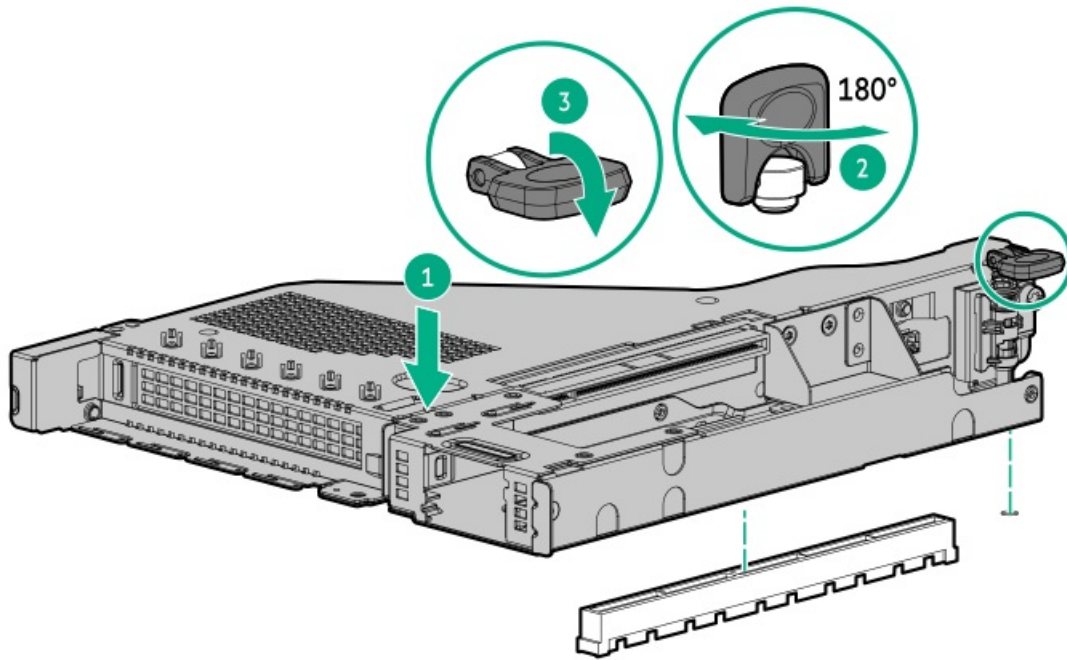
9. ブートデバイスドライブを取り付けます。
10. ブートデバイスを取り付けます。
 - 外部ブートデバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。
 - a. ラッチを取り付けます。



- b. デバイスをライザーケージに取り付けます。

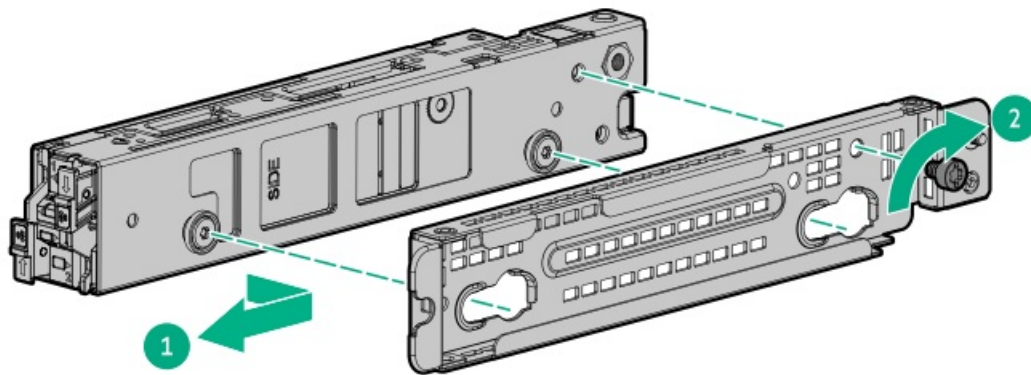


c. ライザーケージを取り付けます。



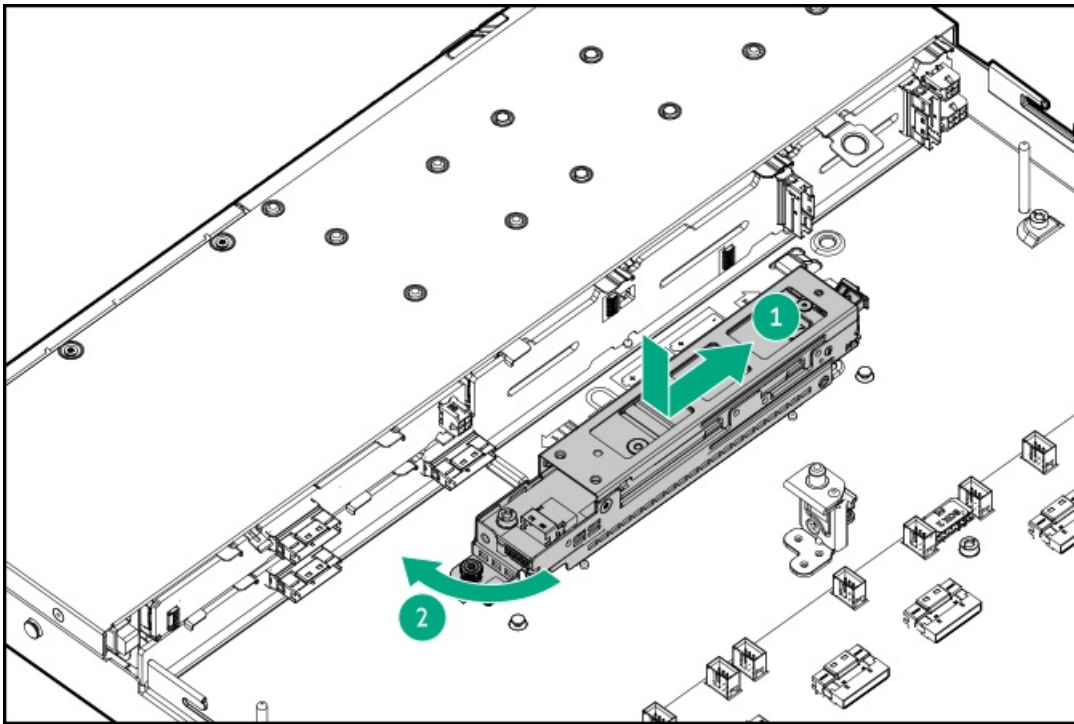
● 内部ブートデバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。

a. マウンティングブラケットを取り付けます。



b. ブートデバイスをサーバーに取り付けます。





11. HPE NS204i ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
16. サーバーの電源を入れます。
17. HPE NS204i ブートデバイス上のオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

電源装置オプション

サブトピック

冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け

冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。

ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

手順

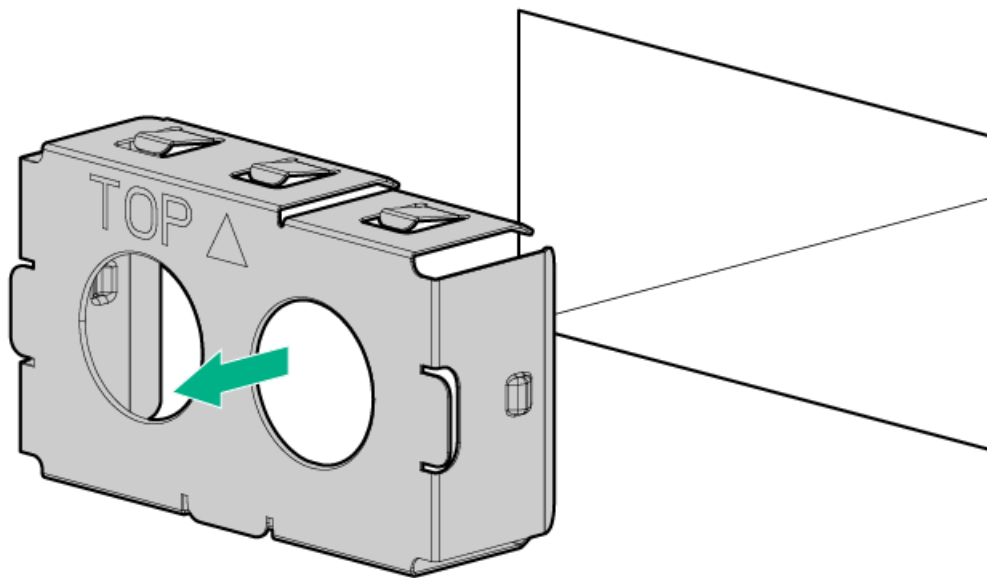
1. 次のアラートに注意してください。

△ 注意: サーバーに取り付ける電源装置の出力電力はすべて同じでなければなりません。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。電源装置の不一致が検出されると、システムが不安定になりシャットダウンする場合があります。

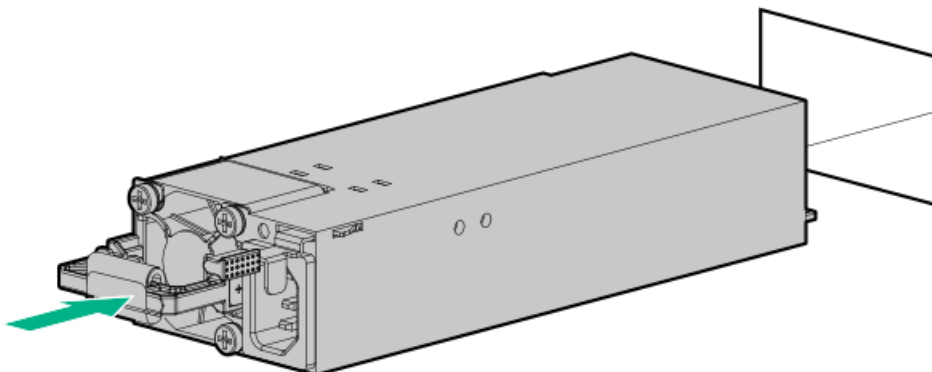
△ 注意: 不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

2. 製品のリアパネルにアクセスします。
3. ブランクを取り外します。

⚠ 警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置または電源装置ブランクが十分に冷めてから手を触れてください。



4. 電源装置を電源装置ベイに挿入して、カチッと音がしてはまるまで押し込みます。



5. 電源コードを電源装置に接続します。
6. 電源コードを配線します。電源コードとその他のケーブルを配線するときは、ベストプラクティスに従います。配線にはケーブルマネジメントアームが役立ちます。ケーブルマネジメントアームを入手するには、Hewlett Packard Enterprise製品販売店にお問い合わせください。
7. 電源コードをAC電源に接続します。

8. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

プロセッサとヒートシンクのオプション

サブトピック

プロセッサに関する注意事項

プロセッサを取り付ける

プロセッサに関する注意事項

-
- △ 注意:** プロセッサやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。
-
- △ 注意:** サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ部品番号のプロセッサを使用してください。
-
- △ 注意:** プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れると、システムボードやプロセッサの交換が必要になる場合があります。
-
- ⓘ 重要:** プロセッサソケット1には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット1にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。
-
- ⓘ 重要:** 以前より高速のプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システムROMをアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) にアクセスしてください。
-

プロセッサを取り付ける

前提条件

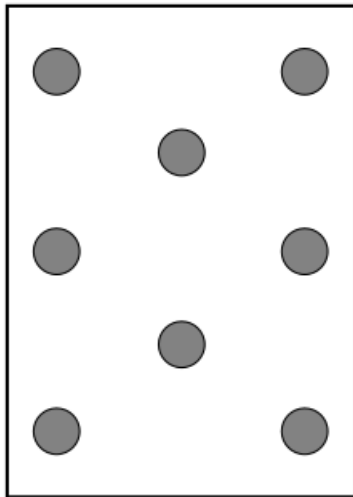
- T-30トルクスドライバー
- サーマルグリース

このタスクについて

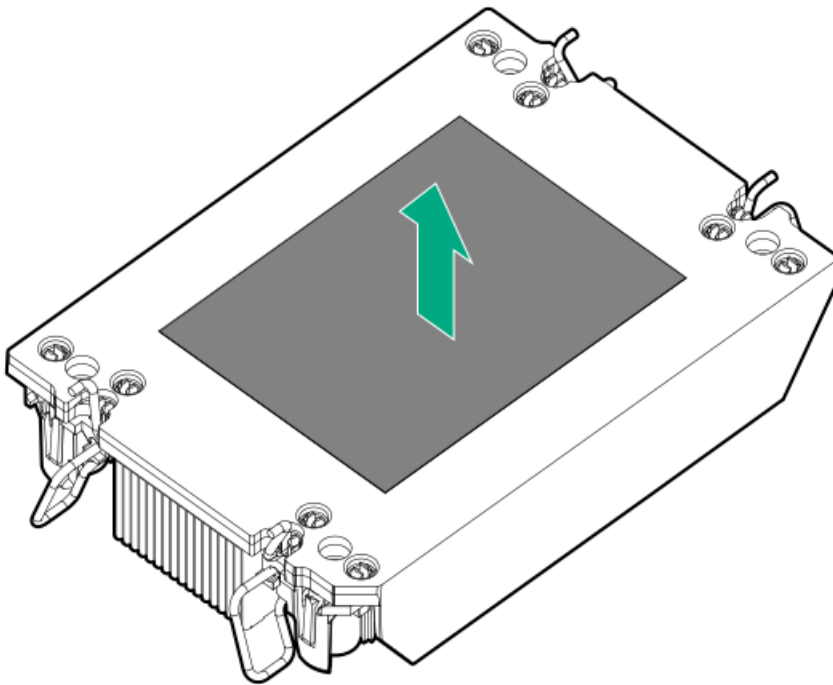
-
- △ 注意:** サーバーのオーバーヒートを防止するために、必ず、各プロセッサソケットにプロセッサソケットカバーとプロセッサブランクまたはプロセッサとヒートシンクを取り付けてください。
-

手順

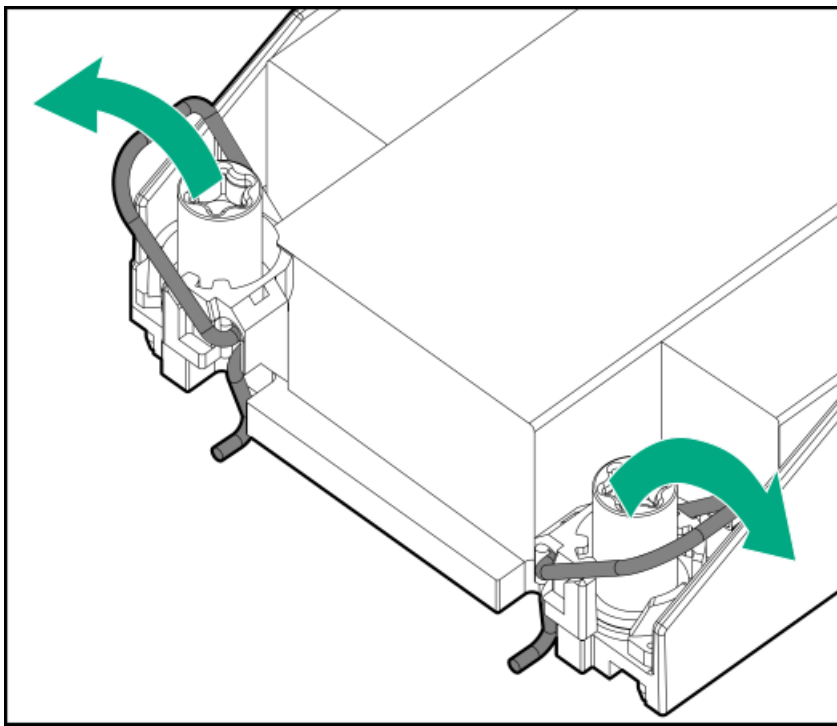
1. 同じヒートシンクを使用している場合は、プロセッサの上部にサーマルグリースシリンジの内容物すべてを塗ります。次の図に示すパターンに従ってください。



2. 新しいヒートシンクを使用する場合は、サーマルインターフェイス材料から保護フィルムを取り外します。

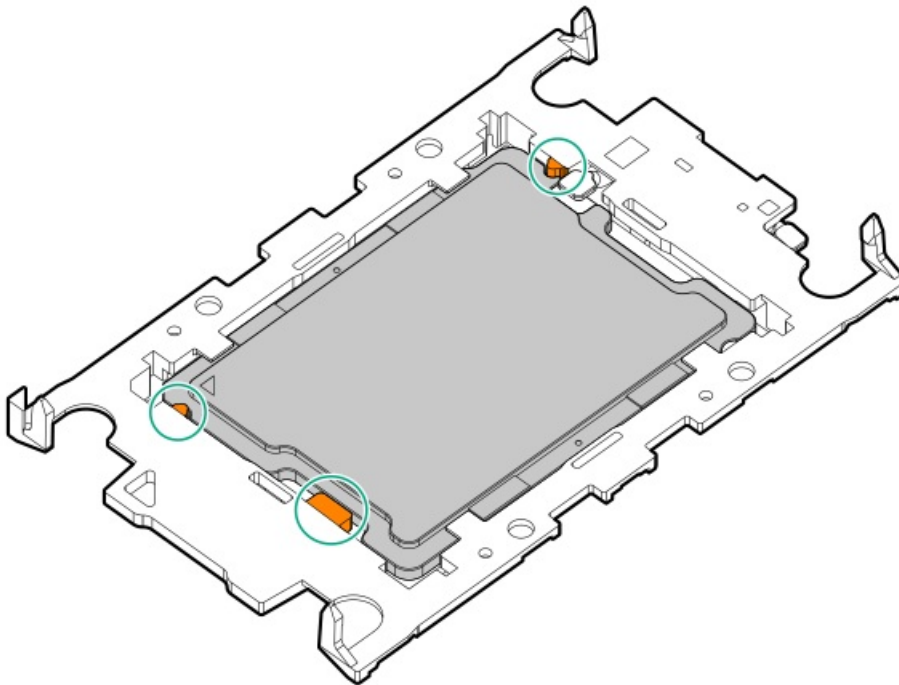


3. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。

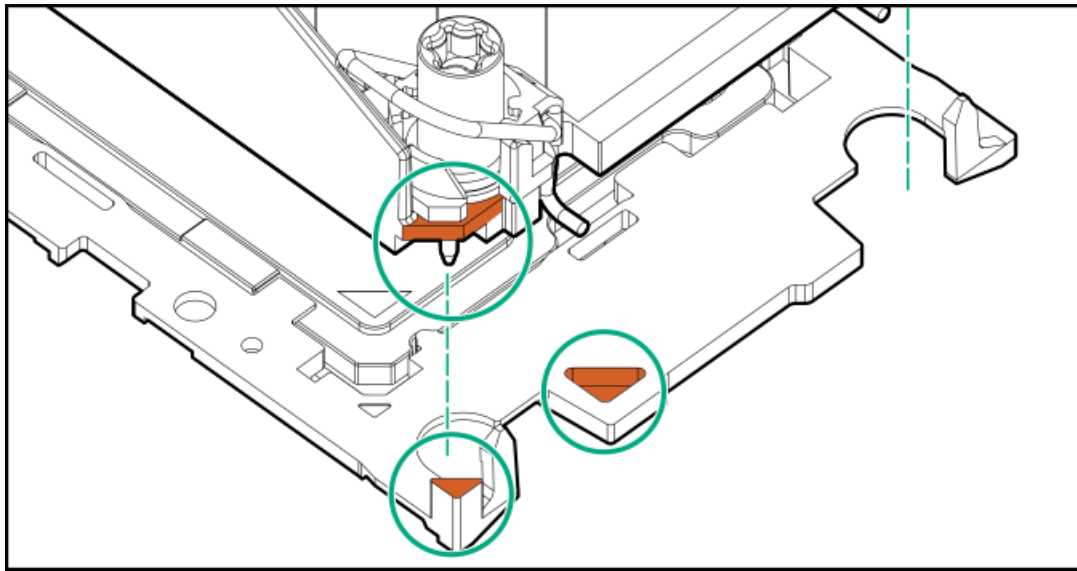


4. プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

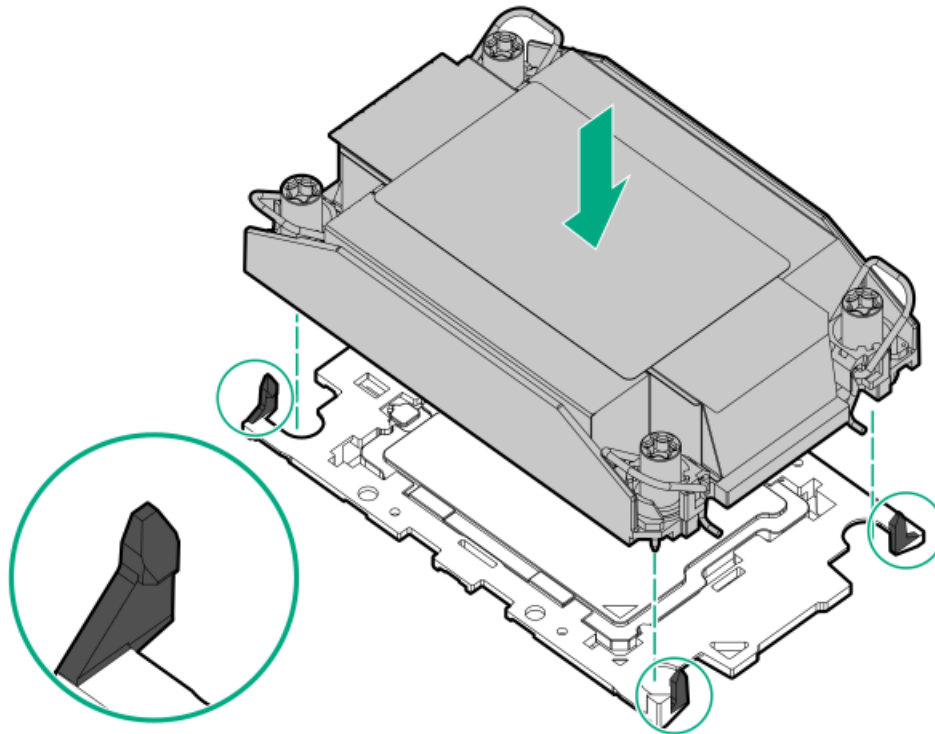
次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。



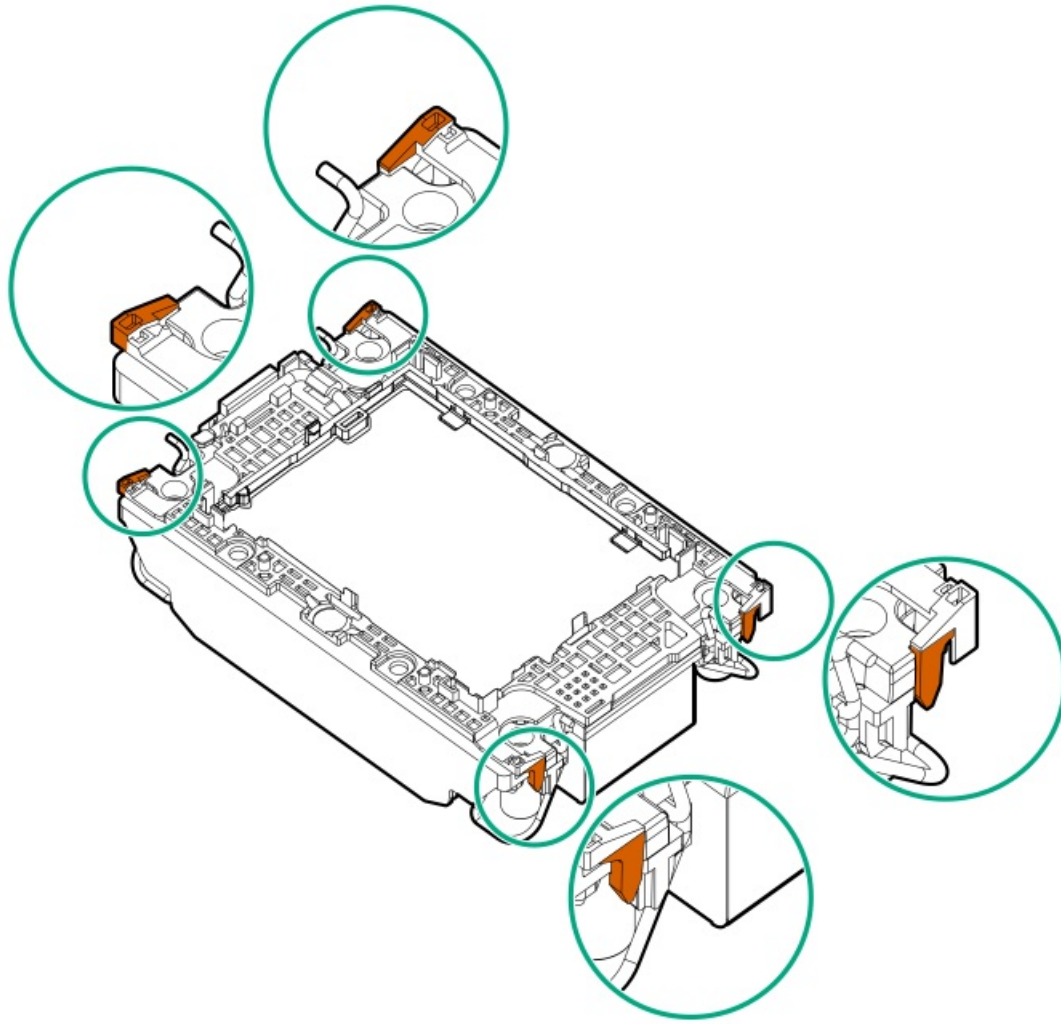
5. ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。
 - a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。



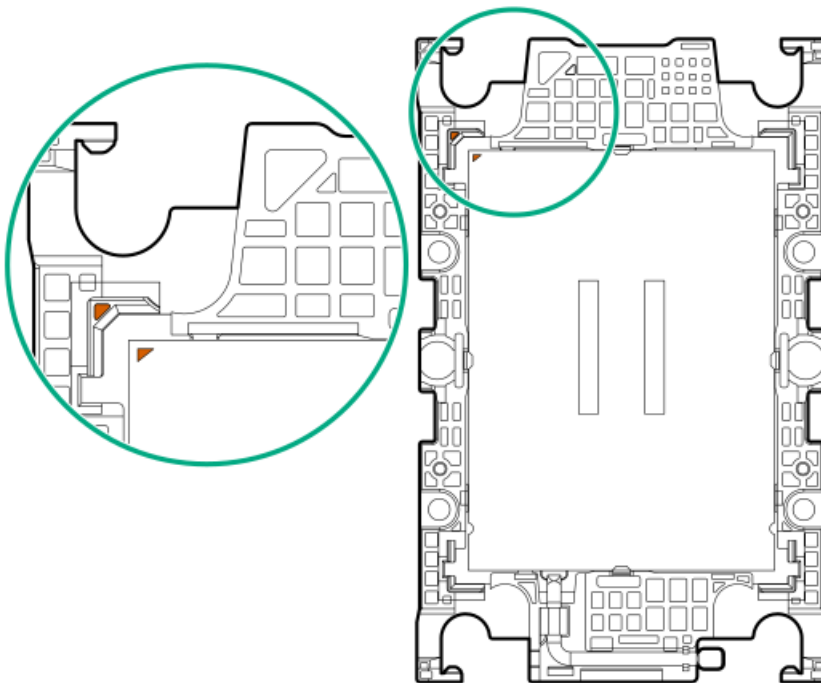
- b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。



6. 次の確認手順を実行します。
- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。

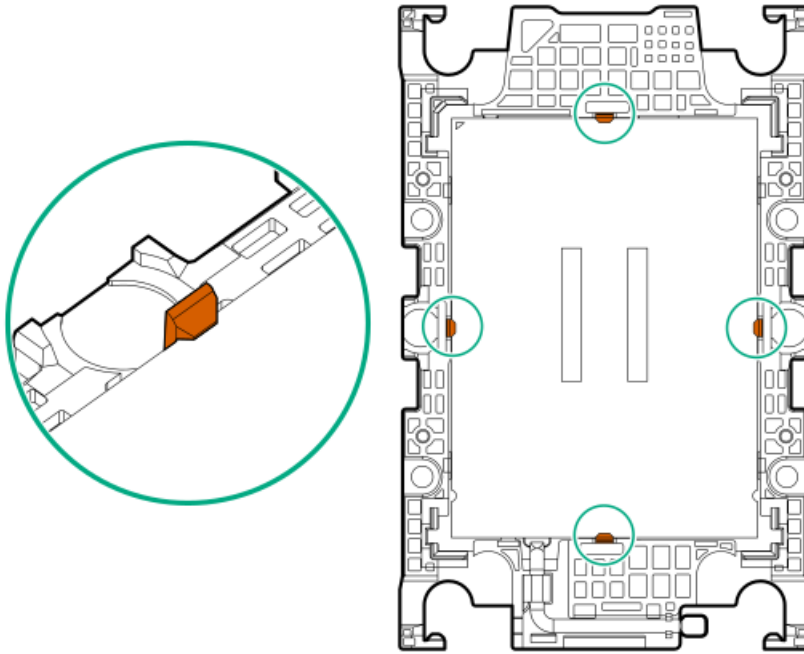


b. プロセッサーとプロセッサーキャリアのピンインジケターが揃っていることを確認します。

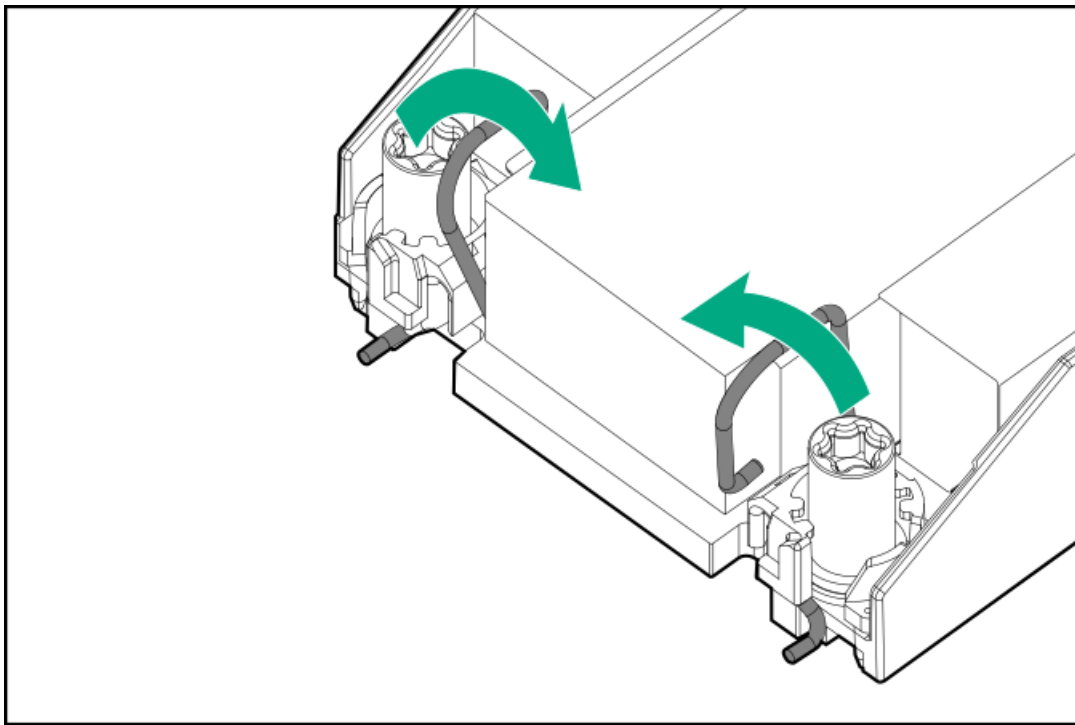


c. プロセッサーがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。





7. 傾き防止ワイヤーをロック解除位置に設定します。



8. **△ 注意:**

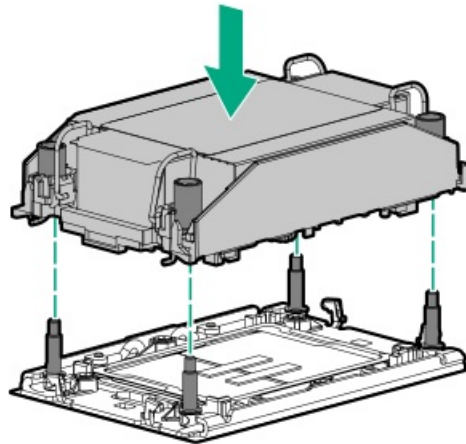
機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

プロセッサヒートシンクモジュールを取り付けます。

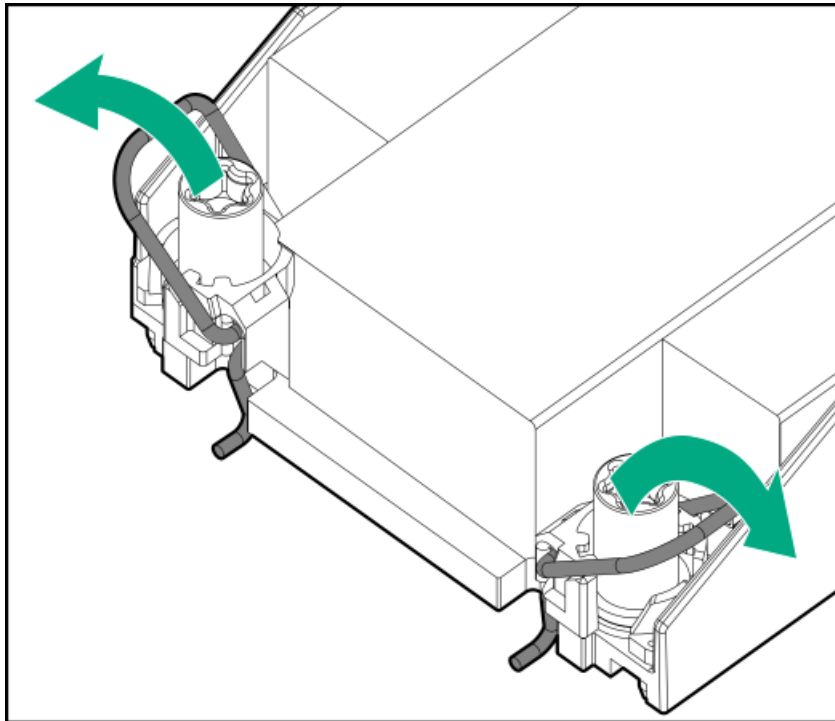
- a. トルクレンチを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク0.9 N-m (8 in-lb) に設定します。
- b. ヒートシンクラベルのサーバーの前面のテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。

- c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

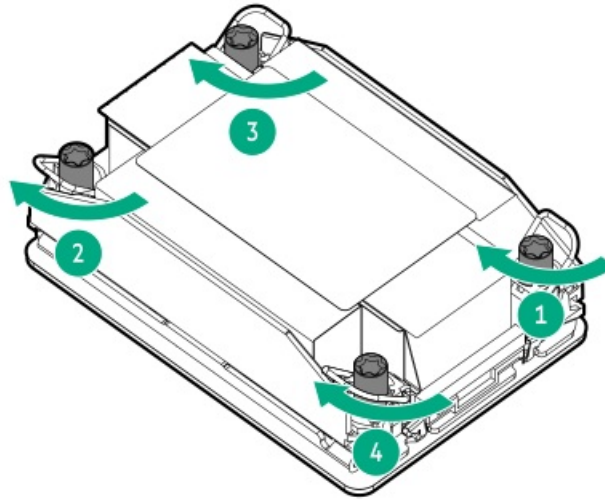
モジュールを一方向にのみ取り付けができるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



- d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



- e. T-30トルクスドライバーを使用して、対角線上にある1組のヒートシンクネジを締めてから（番号1～2）、もう1組のヒートシンクネジを締めます（番号3～4）。



9. エアバッフルとその他の取り外したハードウェアコンポーネントを取り付けます。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーがエンクロージャーまたはラックから取り外された場合は、ここで再び取り付けます。
12. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ラックマウントオプション

クイックデプロイ、工具不要のHPEラックレールオプションを使用して、サーバーを標準4ポストサーバーに取り付けます。レール設計では、[さまざまなマウントインターフェイス](#)のサーバーへの取り付けをサポートしています。

ケーブル管理のために、ラックレールキットには次のオプションのいずれかまたは両方が含まれている場合があります。

- [ラックレールの面ファスナーストラップ](#)
- [ケーブルマネジメントアーム](#)

サブトピック

[ラックマウントインターフェイス](#)

[レール識別マーカ](#)

[ラックレールの取り付け](#)

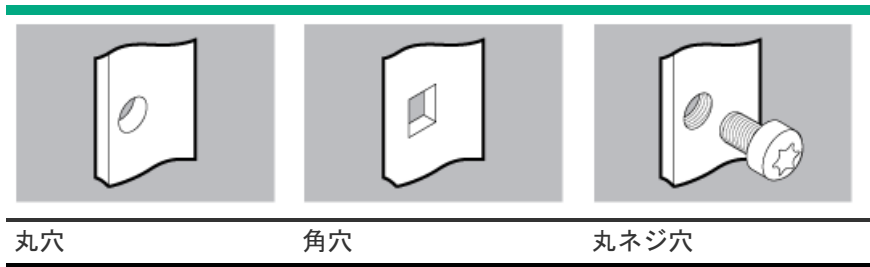
[サーバーをラックに取り付ける](#)

[ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け](#)

[ケーブルマネジメントアームの取り付け](#)

ラックマウントインターフェイス

サーバーレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

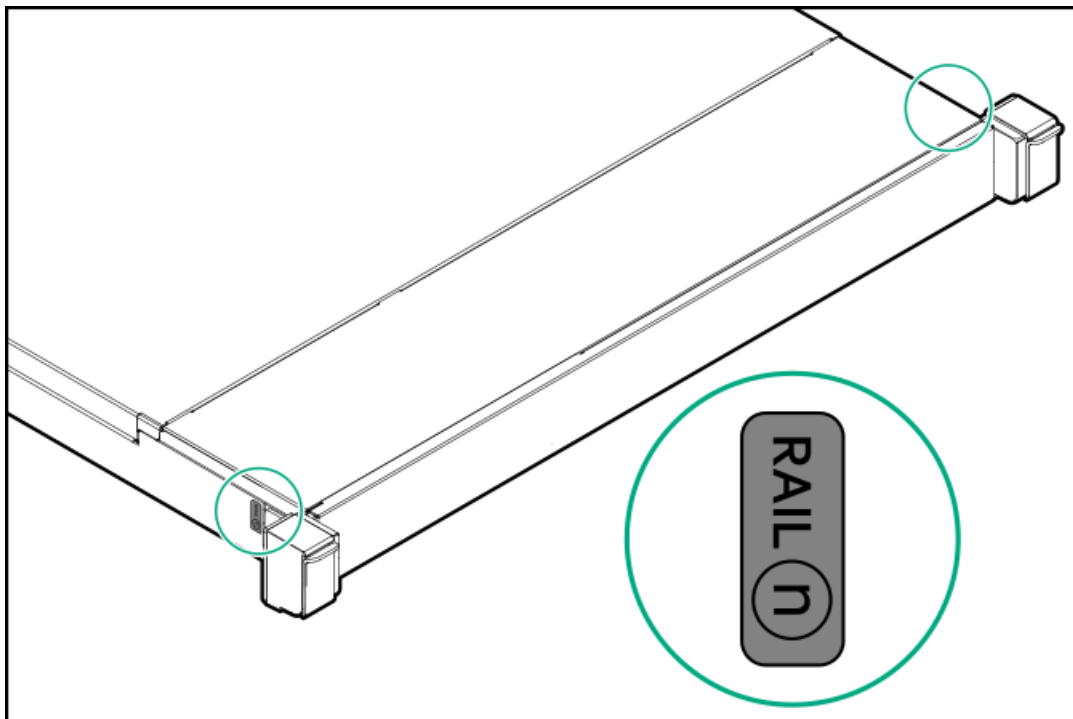
レール識別マーカ

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

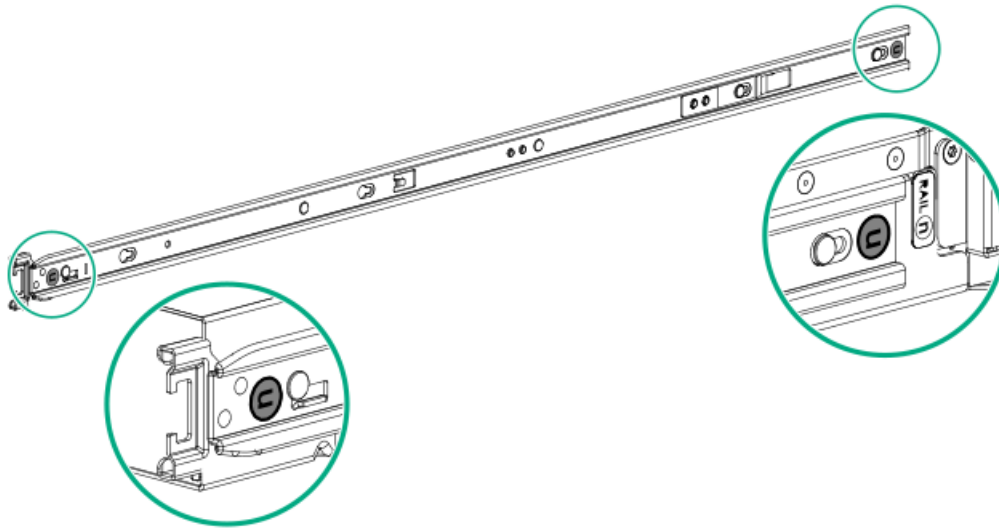
- フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

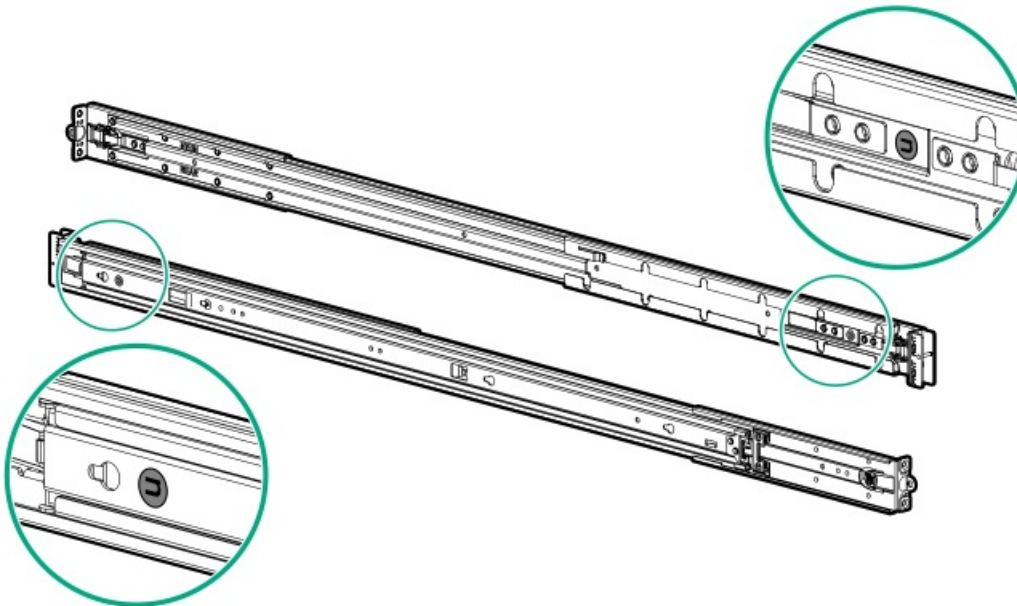
- シャーシのレール番号ラベル
レール#3と#5



- フリクションラックレールのインナーレールにあるレール識別子スタンプ



- フリクションラックレールのマウンティングレールにあるレール識別子スタンプ



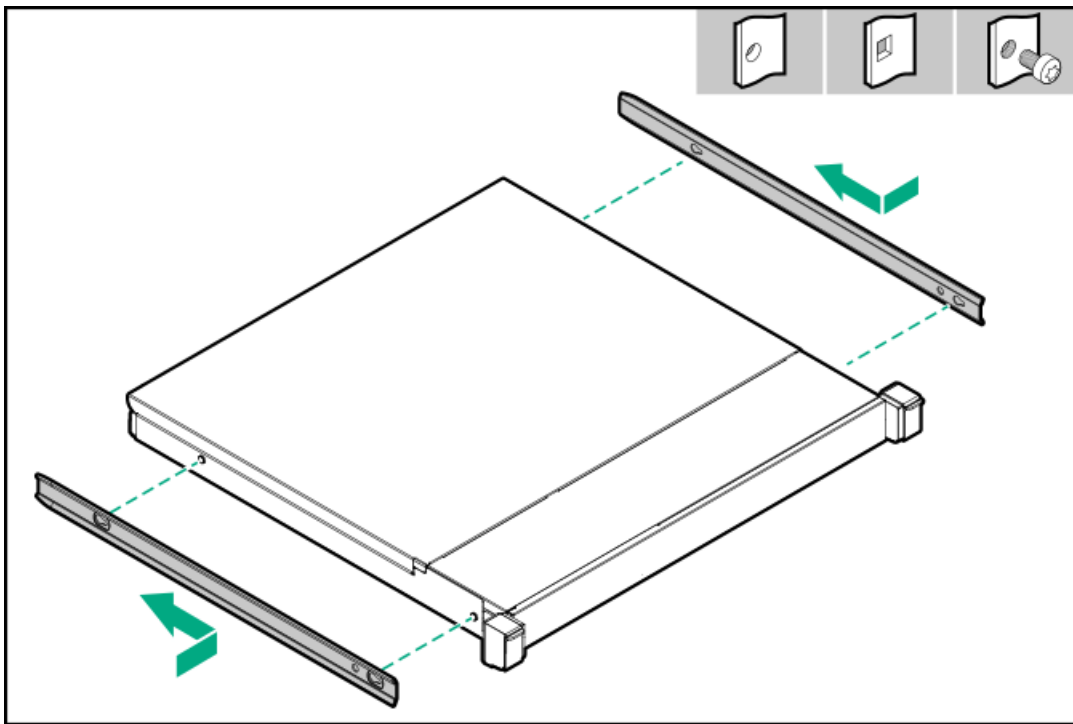
ラックレールの取り付け

前提条件

- レールオプションがサーバー構成と互換性があることを確認してください。
- サーバーを丸ネジ穴ラックに取り付ける場合は、小型のマイナスドライバーを用意してください。

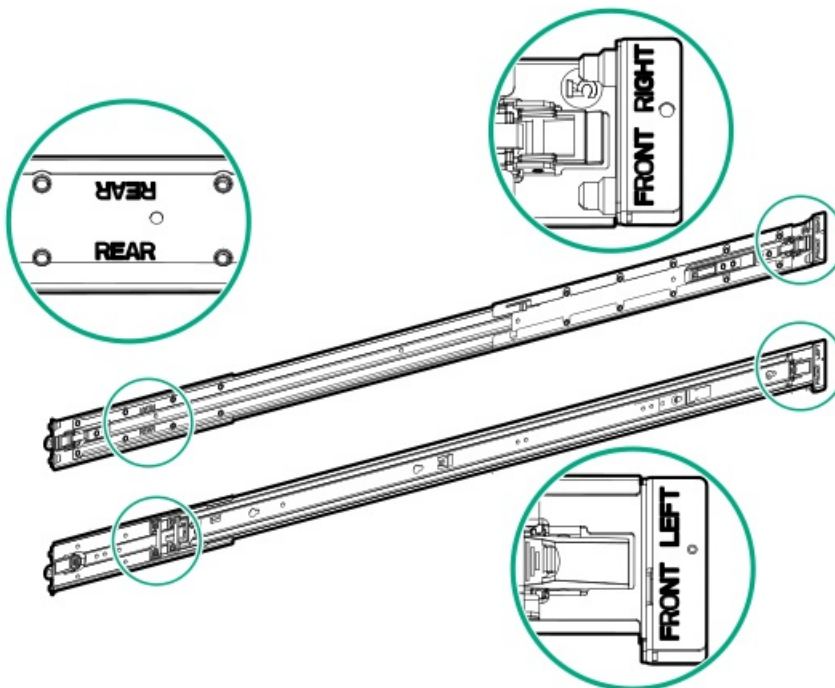
手順

1. サーバーにサーバーレールを取り付けます。



2. ラックレールを特定します。

- レールの前端には、FRONT LEFTまたはFRONT RIGHTとマークされています。
- レールのもう一方の端には、REARとマークされています。

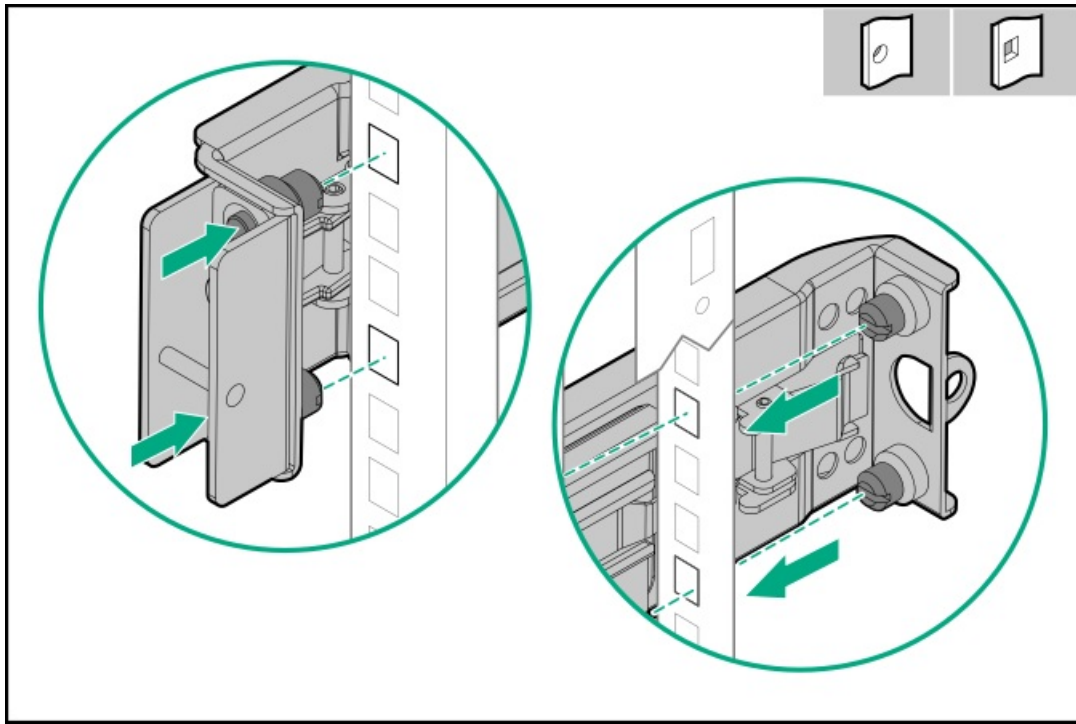


3. ラックレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。

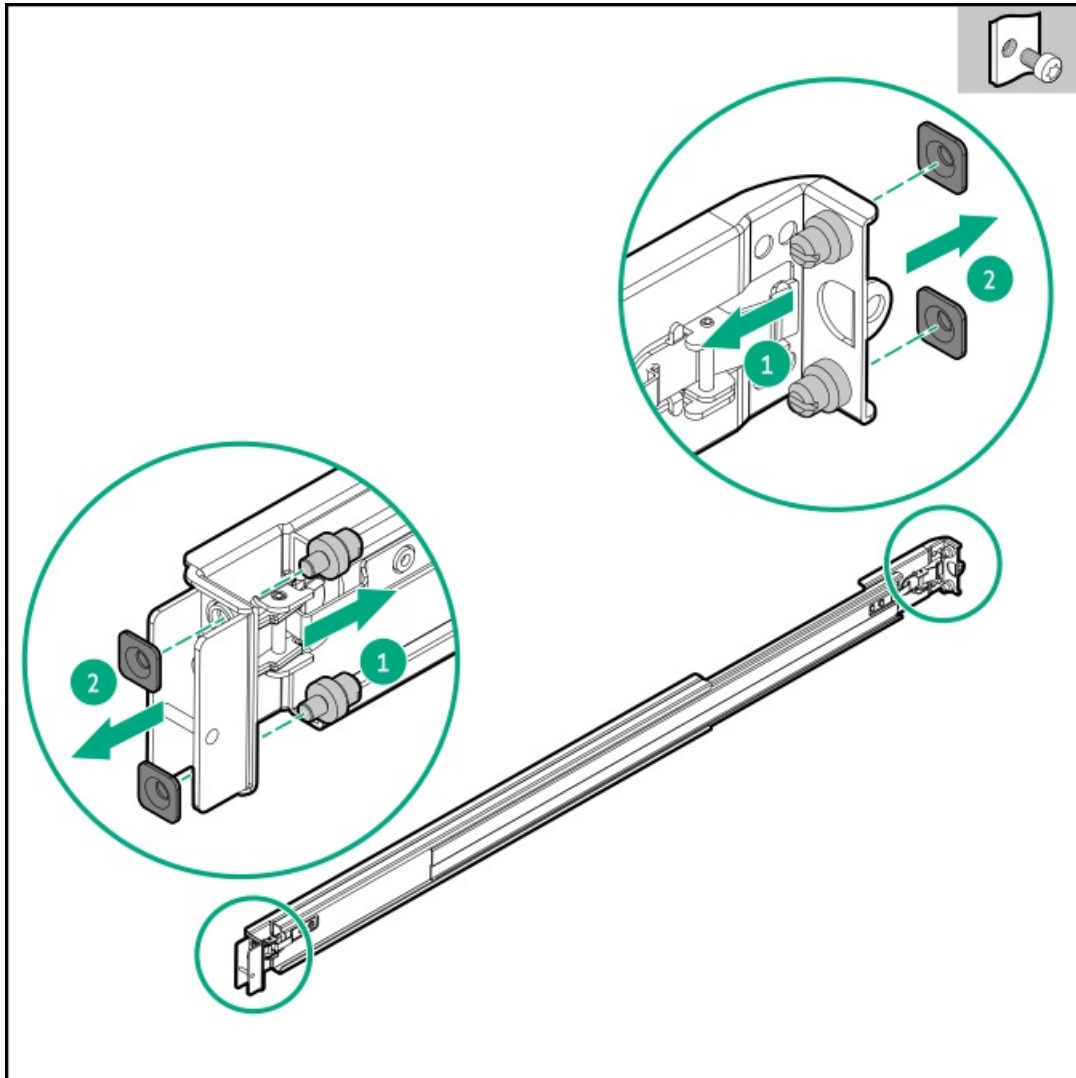
4. ラックレールを取り付けます。

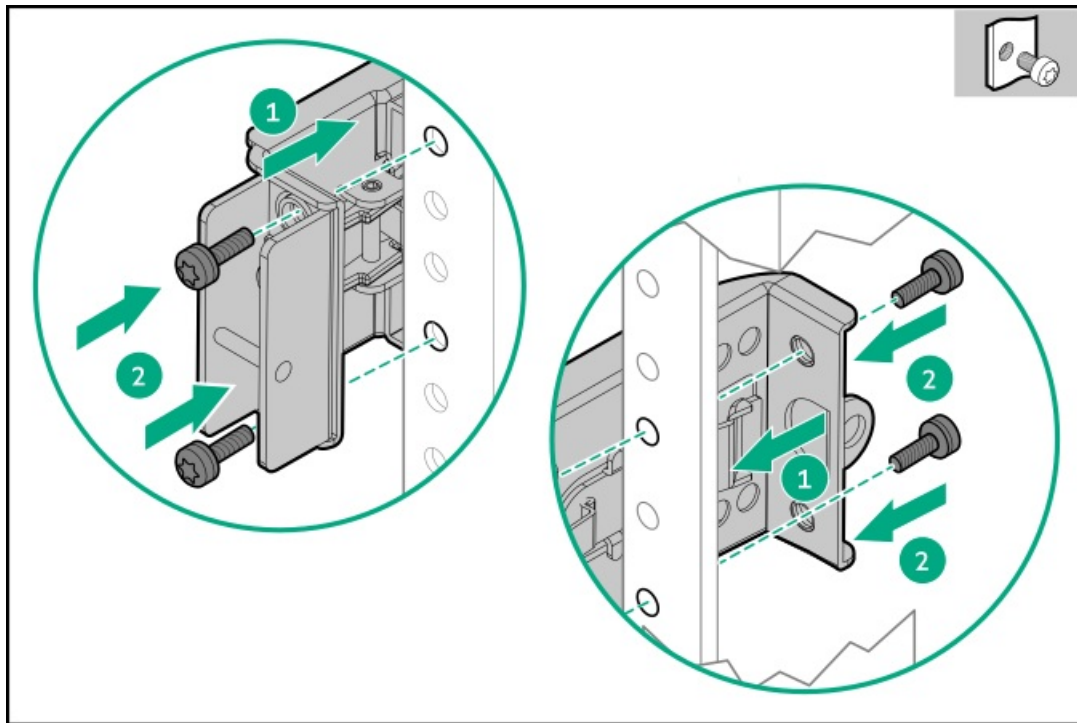
- 丸穴または角穴ラックの場合：





- 丸ネジ穴ラックの場合 :





5. サーバーをラックに取り付けます。

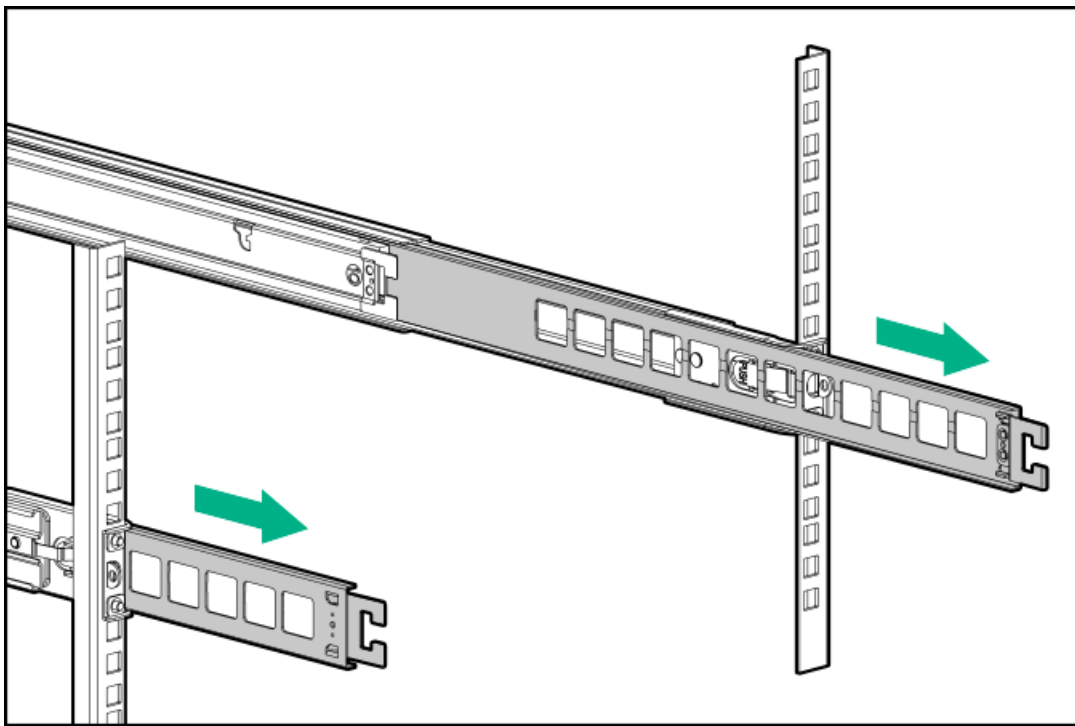
サーバーをラックに取り付ける

前提条件

- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
 - [空間および通気要件](#)
- T-25トルクスドライバー

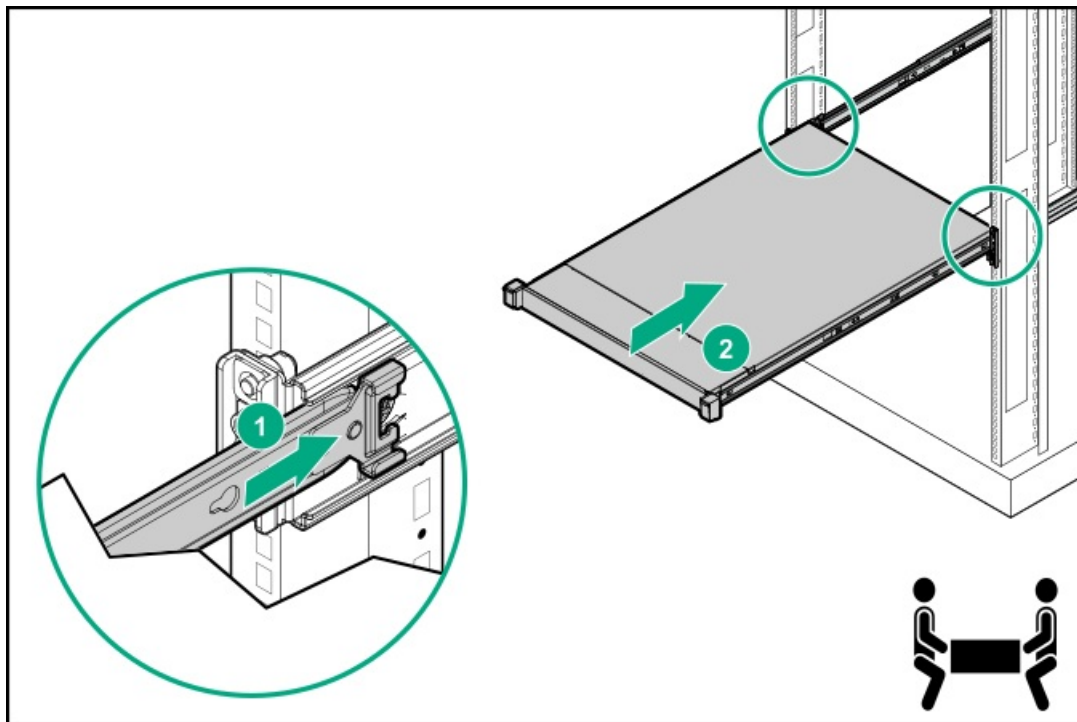
手順

1. スライドレールをマウンティングレールから、内部のストッパーにぶつかって所定の位置にロックされるまで引き伸ばします。



2. サーバーをラックに取り付けます。

- a. インナーレールをスライドレールに挿入します（番号1）。
- b. シャーシヤーがラックポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせて、ラックに押し込みます（番号2）。

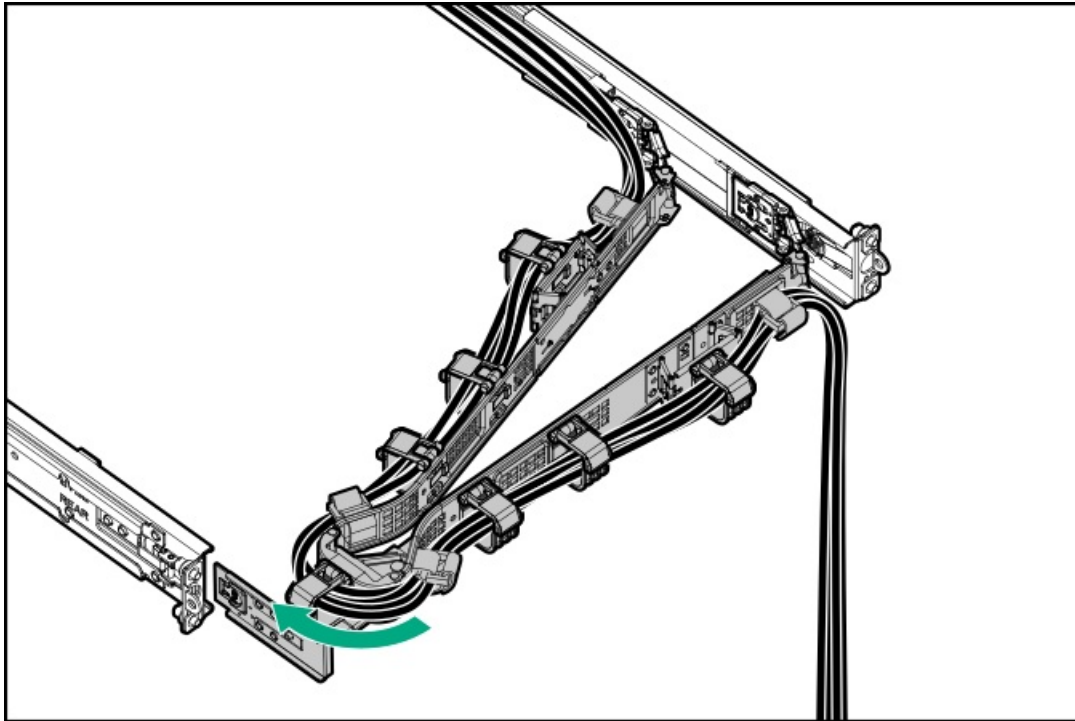


3. シャーシヤーを開き（番号1）、輸送用ネジを締めます（番号2）。

4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
5. 電源コードを接続します。



- a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源ソースに接続します。
6. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを閉じます。



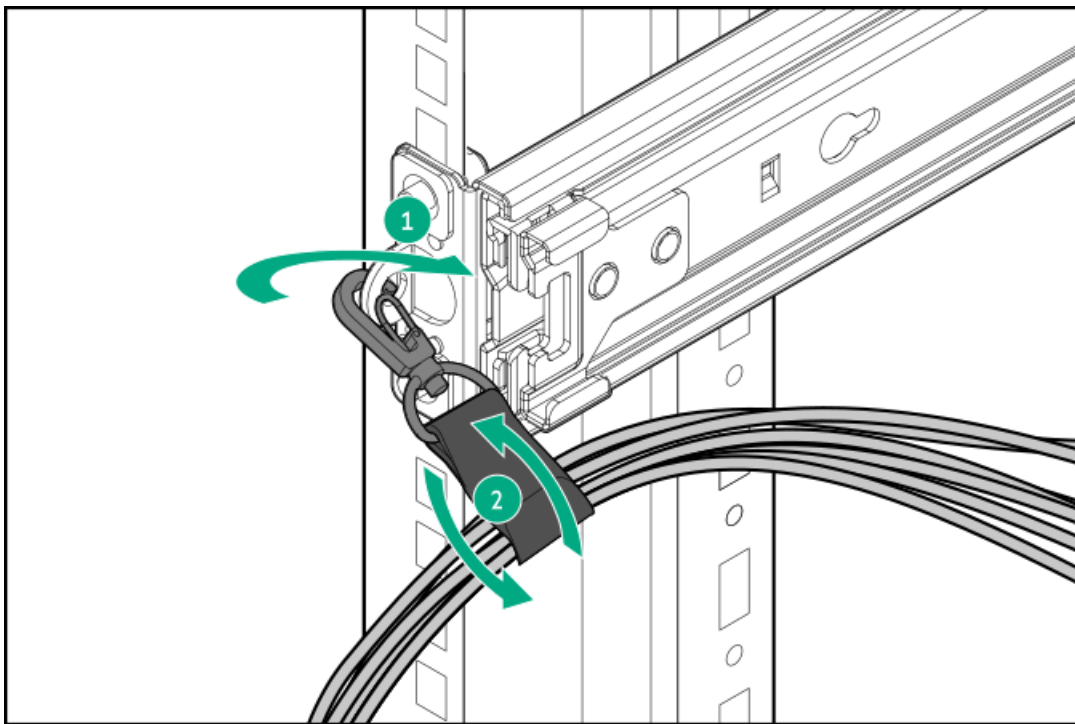
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

ラックマウント型サーバーにラック内保守性を必要としない場合は、CMAの代わりにラックレールの面ファスナーストラップを使用して、リアパネルのケーブルを管理します。面ファスナーストラップは、左側または右側のラックマウンティングレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

1. ストラップカラビナをラックマウンティングレールに取り付けます。
2. リアパネルの電源コードと周辺ケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



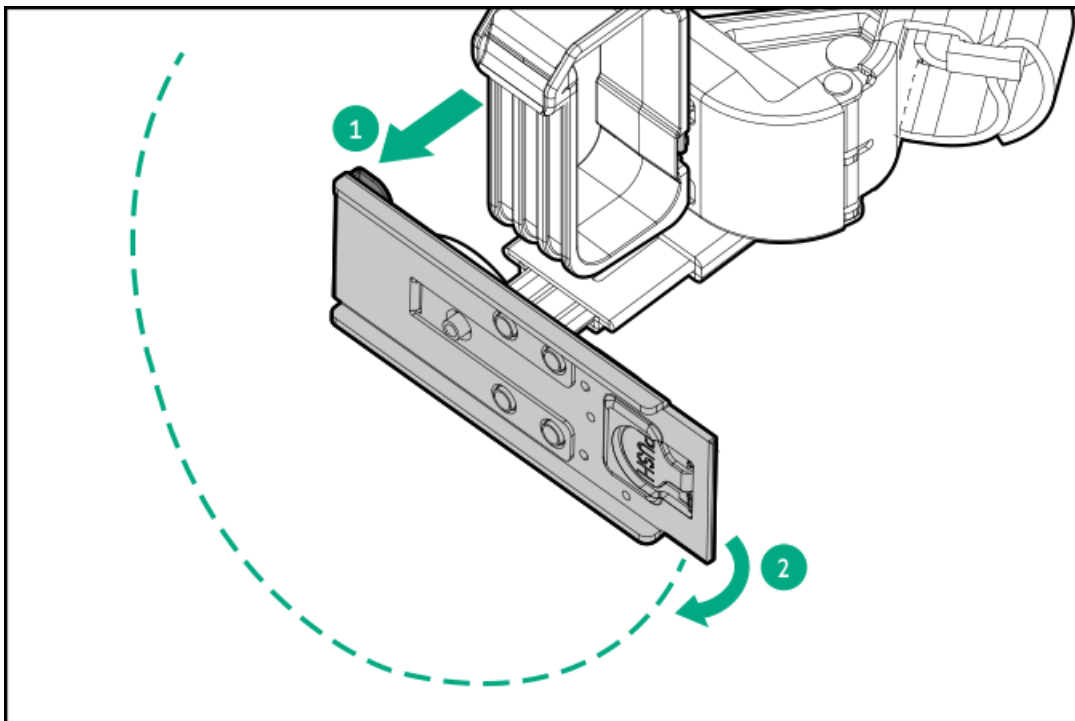
ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

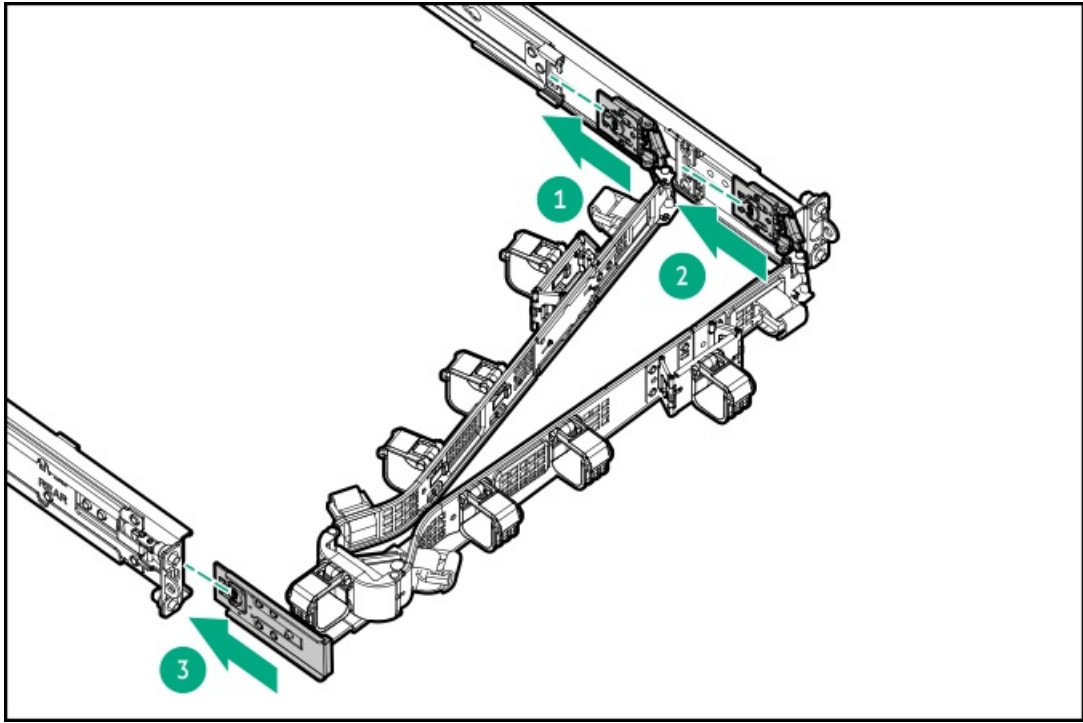
この手順を実行する前にラック警告および注意事項を確認します。

手順

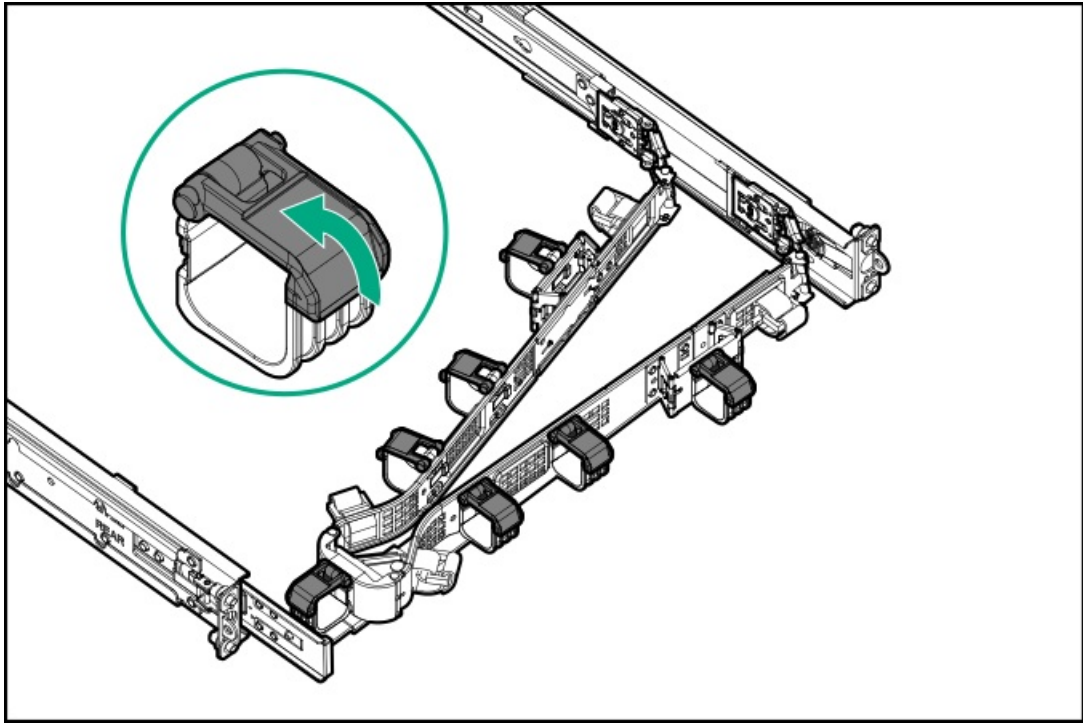
1. すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。
2. (オプション) ブラケットを回転させます。




3. CMAを取り付けます。

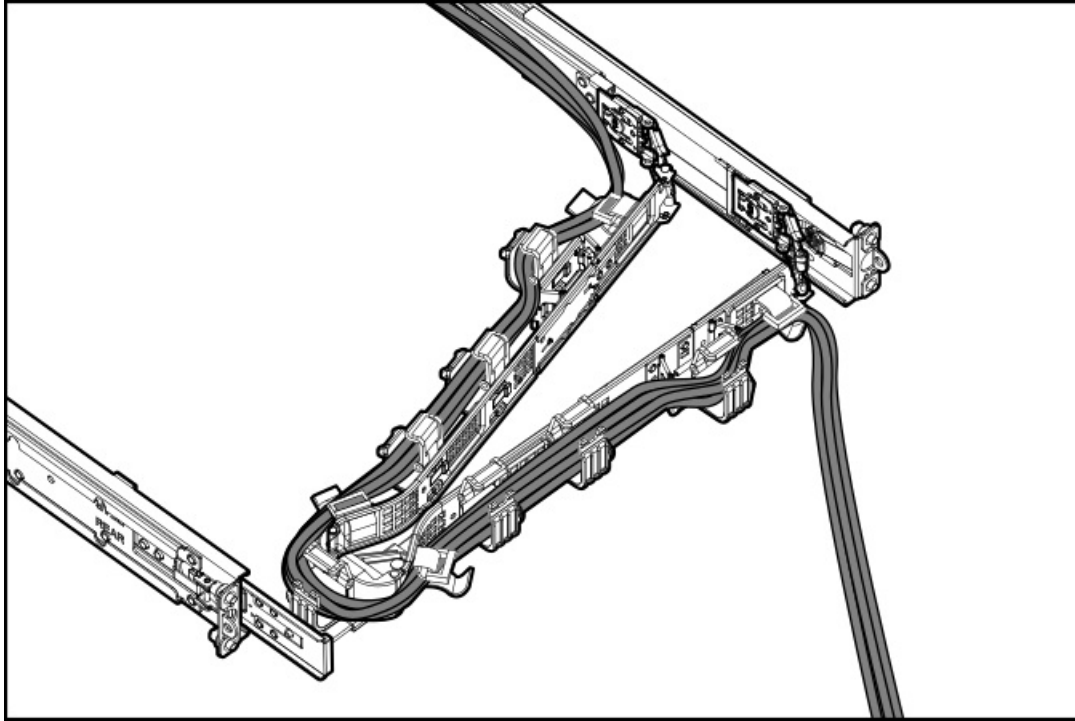


4. ケーブルクランプを開きます。

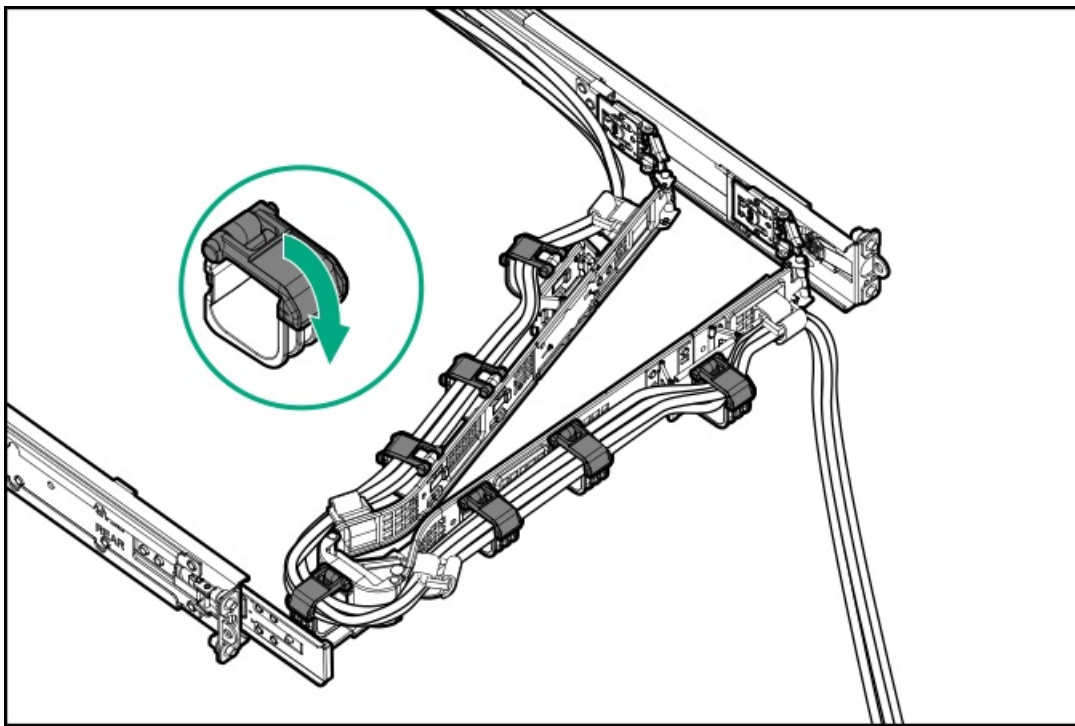


5.  **注意:** CMAに固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。
- リアパネルとCMAの間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをサーバーから引き出す際に、CMAを完全に引き出せるようにします。
 - ただし、CMA内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
 - ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをサーバーから引き出すか戻すときに、サーバーに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。

周辺ケーブルと電源コードをケーブルクランプやストラップに通します。



6. ケーブルクランプを閉じます。



ライザーおよびライザーケージオプション

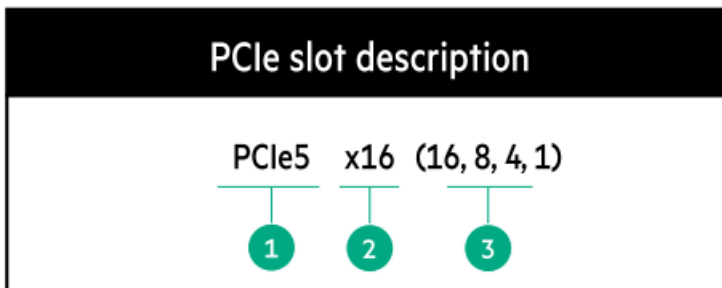
サブトピック

[PCIe5スロットの説明](#)

[プライマリPCIライザーケージオプション](#)

[セカンダリPCIライザーオプション](#)

PCIe5スロットの説明



番号	説明	定義
1	PCI Expressのバージョン	<p>PCIeの各バージョンは、プロセッサと周辺機器の間の特定のデータ転送速度に対応しています。一般に、バージョンをアップデートすると、転送速度は向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PCIe 1. x • PCIe 2. x • PCIe 3. x • PCIe 4. x • PCIe 5. x <p>PCIeテクノロジーは、現在も開発が進められています。最新情報については、PCI SIGのWebサイトを参照してください。</p>
2	物理コネクタのリンク幅	<p>PCIeデバイスは、インターコネクタまたはリンクと呼ばれる論理接続を介して通信します。物理レベルでは、リンクは1つまたは複数のレーンで構成されます。レーンの数には、xというプレフィックスが付いており、通常の使用ではx16が最大サイズになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • x1 • x2 • x4 • x8 • x16
3	ネゴシエーション可能なリンク幅	これらの番号は、スロットでサポートされる最大リンク帯域幅に対応します。

プライマリPCIライザーケースオプション

標準プライマリライザーは、以下をサポートします。

- スロット1 - 1x PCIe 5.0 x16 FHHL
- スロット2 - 1x PCIe 5.0 x16 LP

サブトピック

[スロット1への拡張ボードの取り付け](#)

[スロット2への拡張ボードの取り付け](#)

[プライマリライザーケースにGPUを取り付ける](#)

スロット1への拡張ボードの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

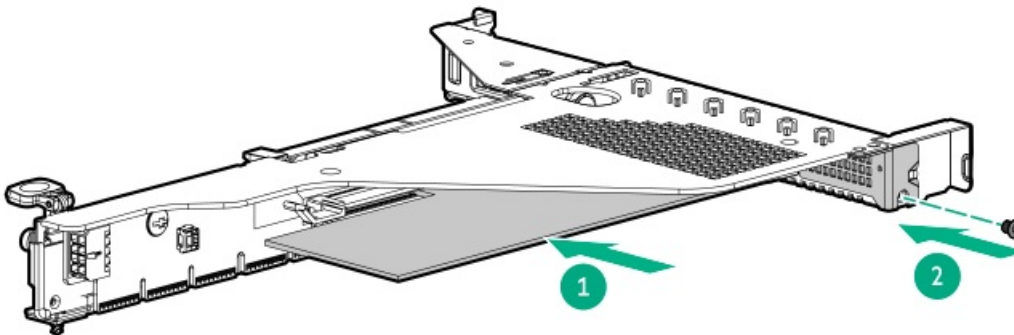
手順

1. 次のアラートに注意してください。

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. プライマリPCIライザーケージを取り外します。
8. 拡張ボードを取り付けます。



9. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
10. プライマリPCIライザーケージを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

スロット2への拡張ボードの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

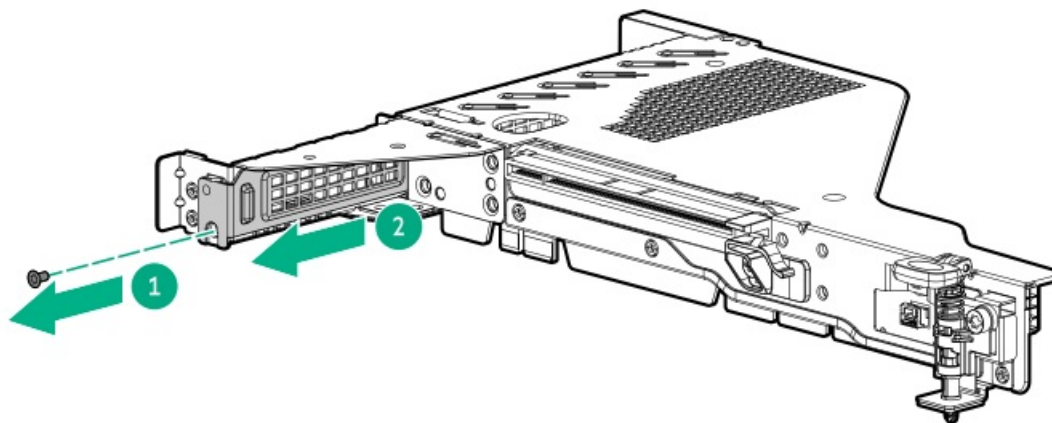
手順

1. 次のアラートに注意してください。

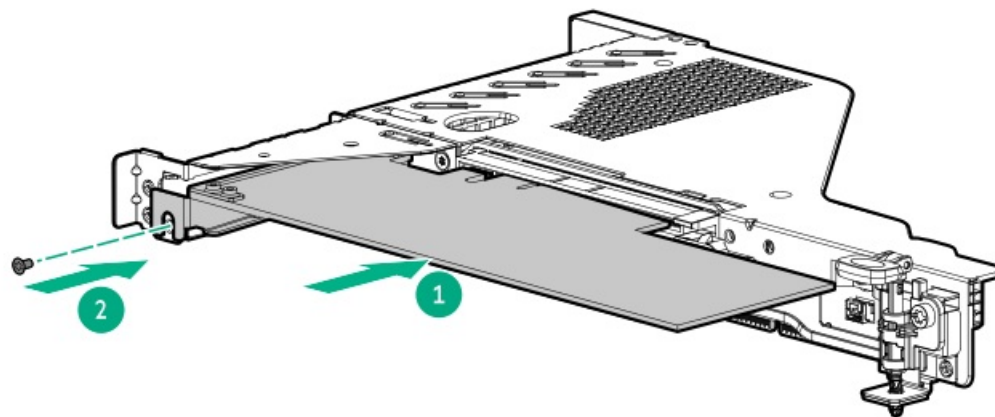
警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切る.
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. ラックからサーバーを引き出す.
 - b. ラックからサーバーを取り外す.
6. アクセスパネルを取り外す.
7. プライマリPCIeライザーケージを取り外す.
8. 拡張スロットブランクを取り外します。



9. T-10トルクスドライバーを使用して、拡張ボードを取り付けます。



10. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
11. プライマリPCIeライザーケージを取り付ける。
12. アクセスパネルを取り付ける。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
16. サーバーの電源を入れる。

プライマリライザーケージにGPUを取り付ける

前提条件

このオプションには、標準プライマリPCIライザーケージが必要です。

このオプションを取り付ける前に、電源装置がこのオプションの取り付けをサポートすることを確認します。

また、ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

手順

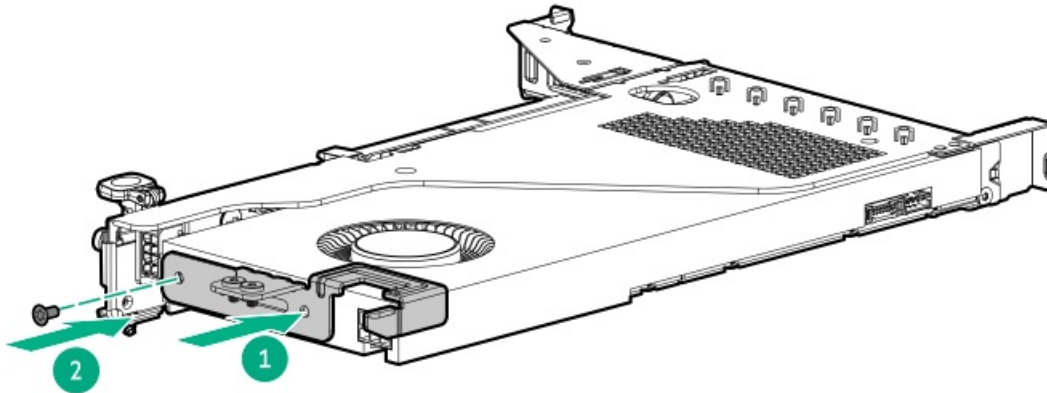
1. 次のアラートに注意してください。

⚠ 警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

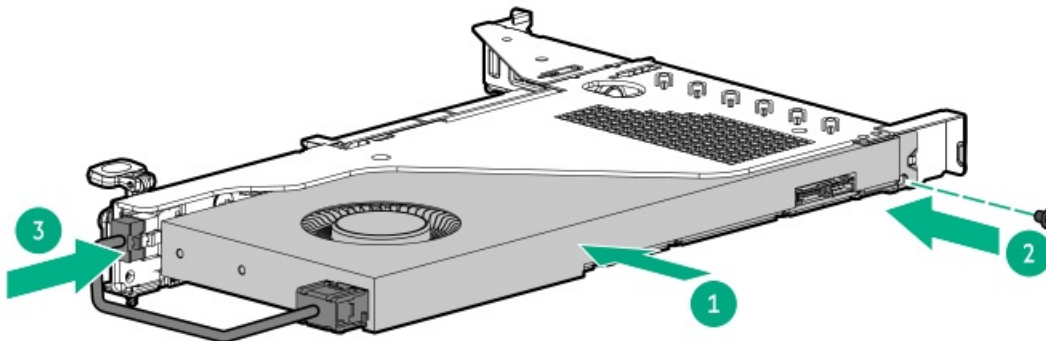
⚠ 注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。

- b. サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. プライマリPCIライザーケースを取り外します。
8. GPUブラケットを取り付けます。



9. GPUをライザーケースに取り付けます。
75 W以上を必要とするGPUを取り付ける場合は、電源ケーブルをプライマリライザー電源コネクターに接続します。



10. カードにリアサポートが必要な場合は、GPUサポートブラケットを取り付けます。
11. プライマリPCIライザーケースを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

セカンダリPCIライザーオプション

プライマリPCIライザーケースは、以下のオプションをサポートします。

- x16フルハイトライザーキット

- x16ロープロファイルライザーキット

サブトピック

[セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け](#)

[セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け](#)

[セカンダリライザーケースへの拡張ボードの取り付け](#)

セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け

前提条件

このオプションでは、デュアルプロセッサ構成が必要です。


このオプションを取り付ける前に、ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。


このタスクについて

このライザーケースが取り付けられている場合、追加のロープロファイルスロットが提供され、ハーフレングス/ハーフハイトの拡張ボードがサポートされます。

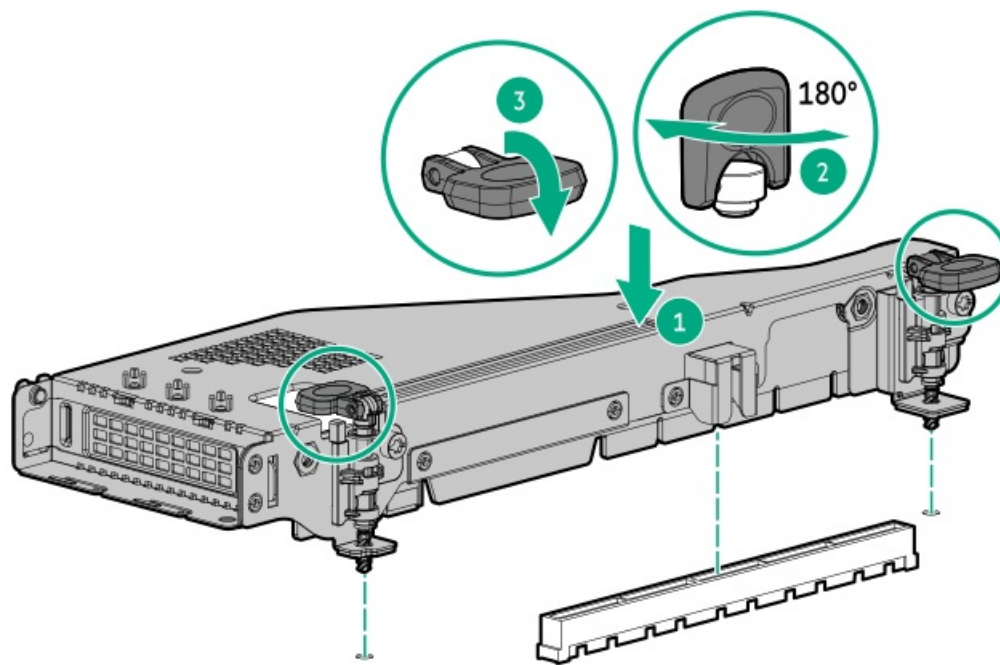
手順

1. 次のアラートに注意してください。

 **警告:** 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

 **注意:** 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. [サーバーの電源を切ります](#)。
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. [サーバーをラックから引き出します](#)。
 - b. [サーバーをラックから取り外します](#)。
6. [アクセスパネルを取り外します](#)。
7. セカンダリライザーケースを取り付けます。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け

前提条件

このオプションでは、デュアルプロセッサ構成が必要です。

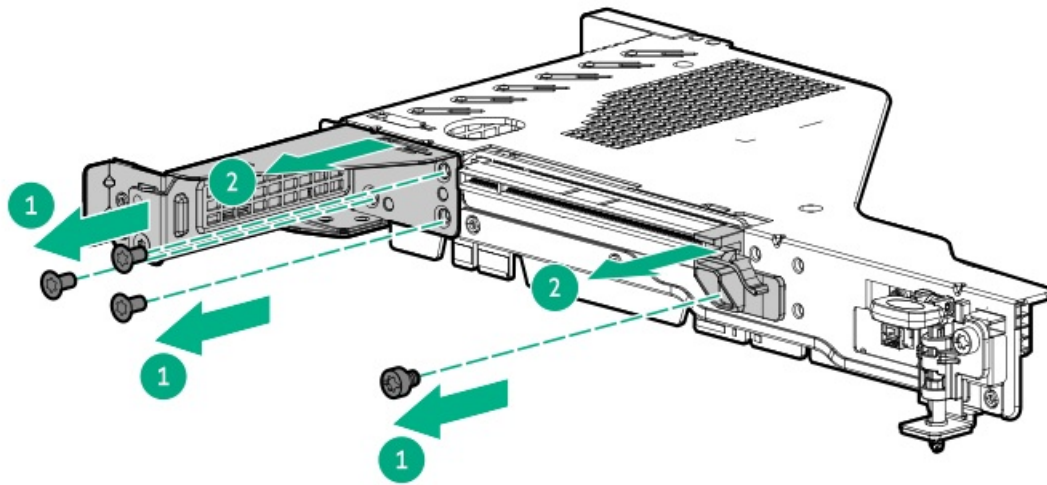
このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- 取り付ける拡張ボードまたはコントローラー
- T-10トルクスドライバー
- T-15トルクスドライバー

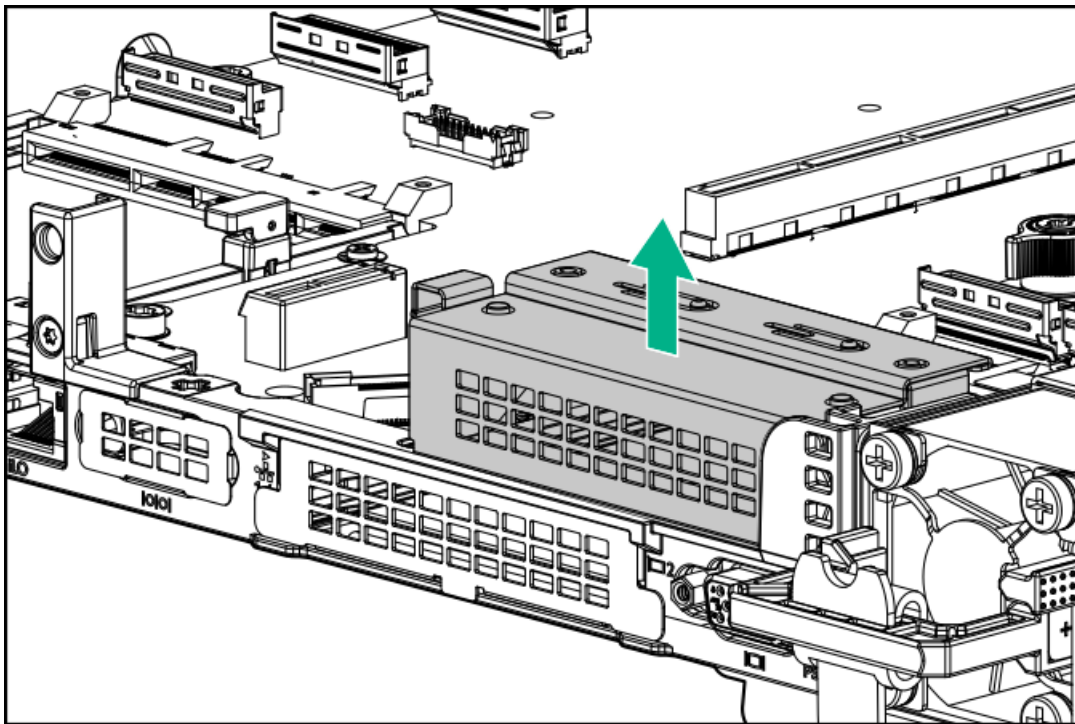
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。

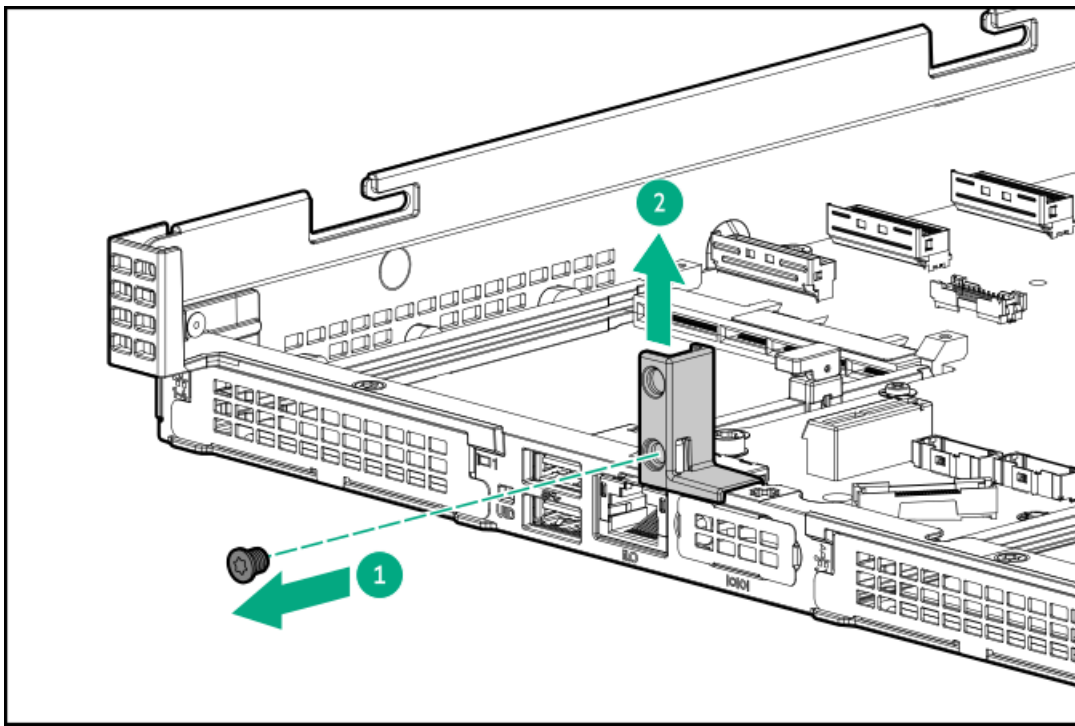
- b. サーバーをラックから取り外します。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. プライマリPCIライザーケースを取り外します。
- 6. T-10トルクスドライバーを使用して、プライマリライザーケースからスロット2ブラケットを取り外します。



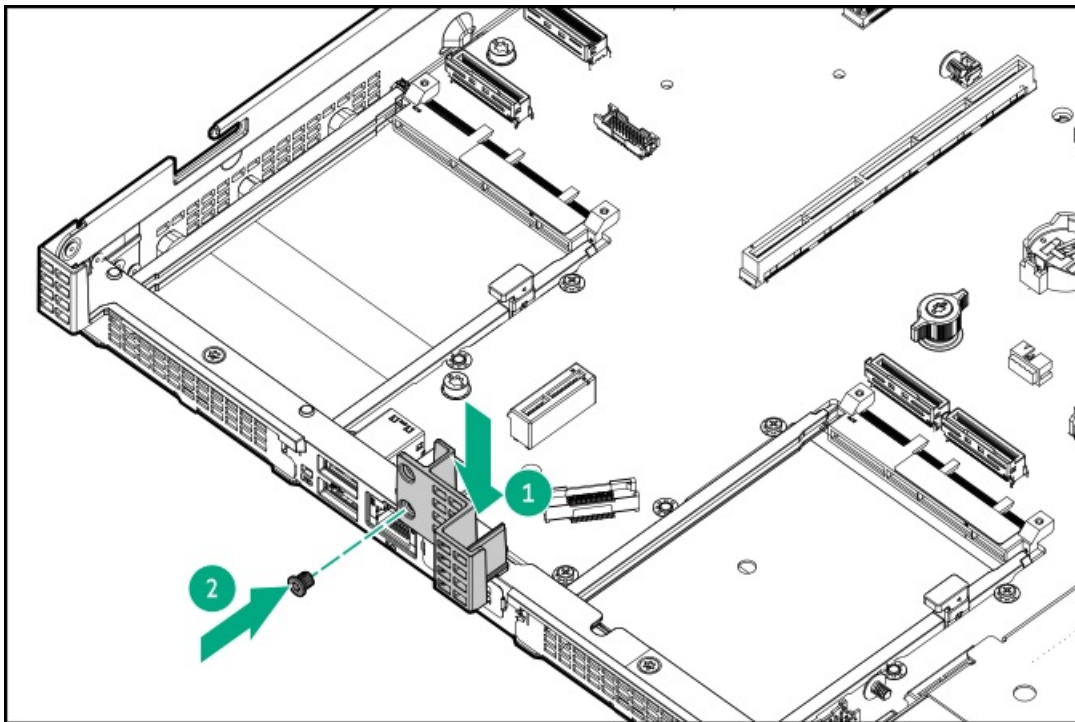
- 7. セカンダリライザーブラックを取り外します。



- 8. T-15トルクスドライバーを使用して、リアライザーサポートブラケットを取り外します。

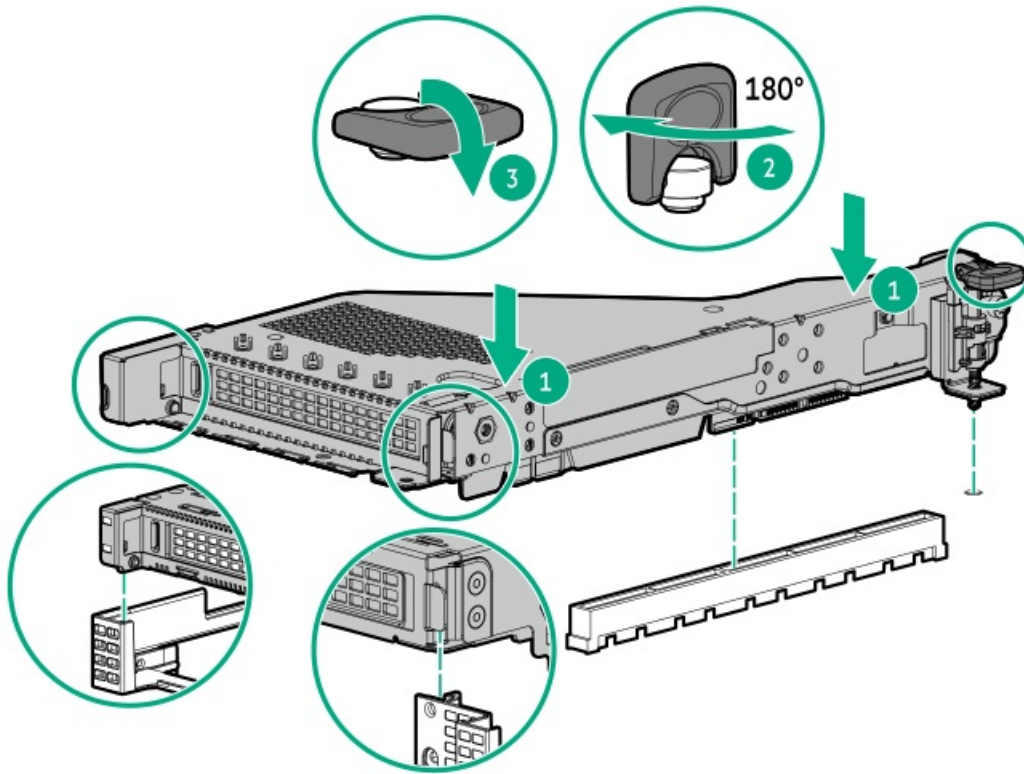


9. フルハイトライザーサポートブラケットを取り付けます。

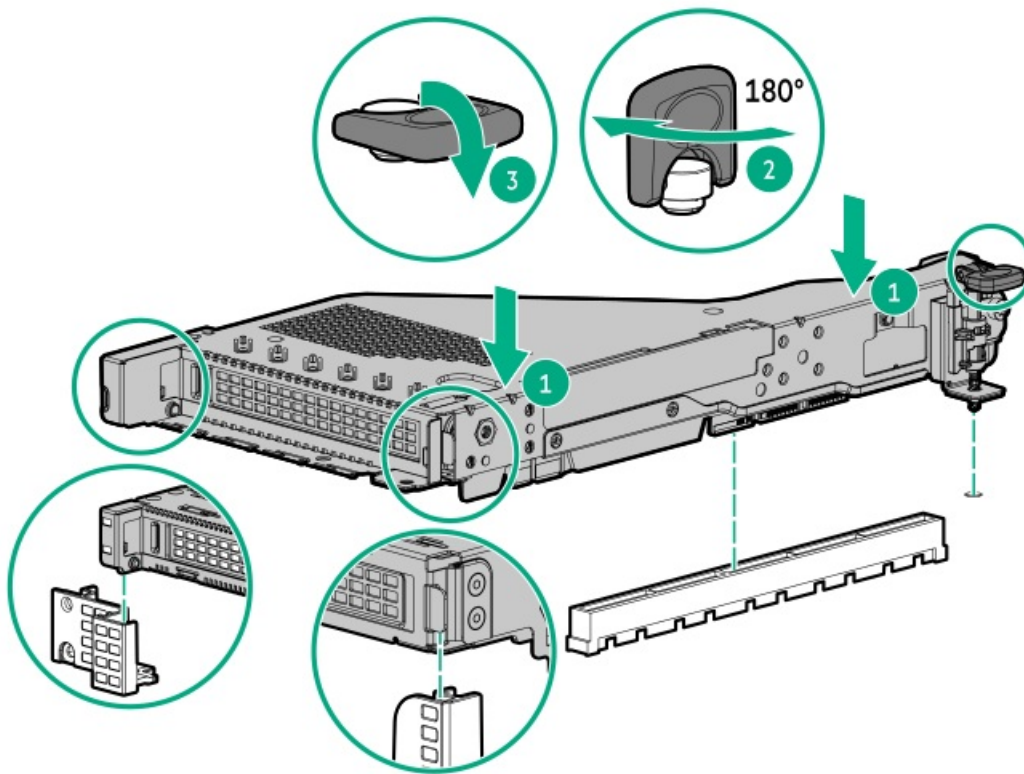


10. ライザーケージを取り付けます。
プライマリ





セカンダリ



11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。

15. サーバーの電源を入れます。

セカンダリライザーケーシングへの拡張ボードの取り付け


前提条件


このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

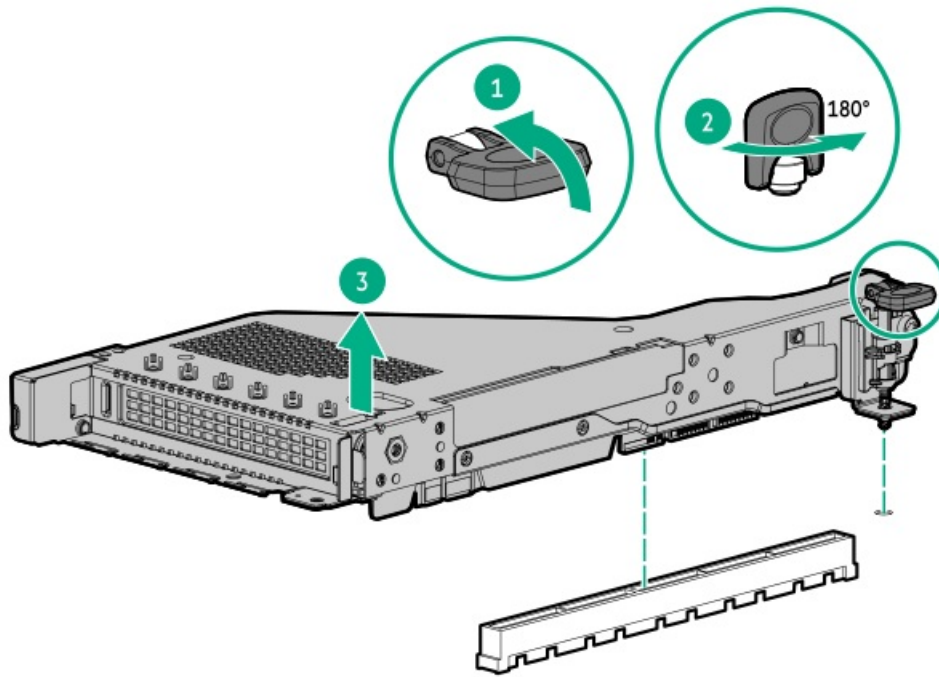
手順

1. 次のアラートに注意してください。

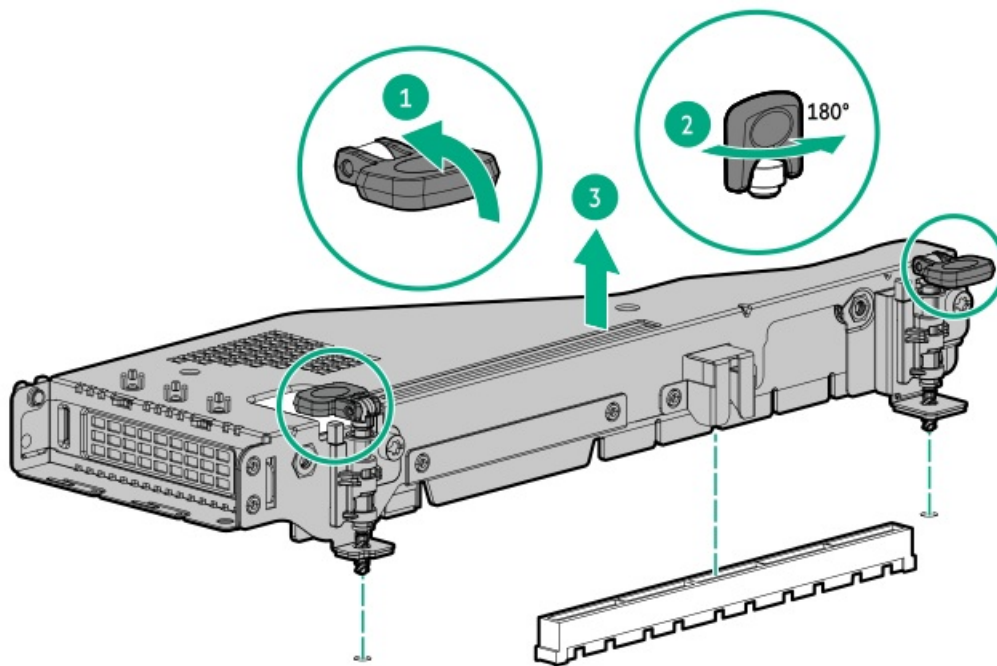
 **警告:** 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

 **注意:** 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. セカンダリライザーを取り外します。
 - セカンダリフルハイト



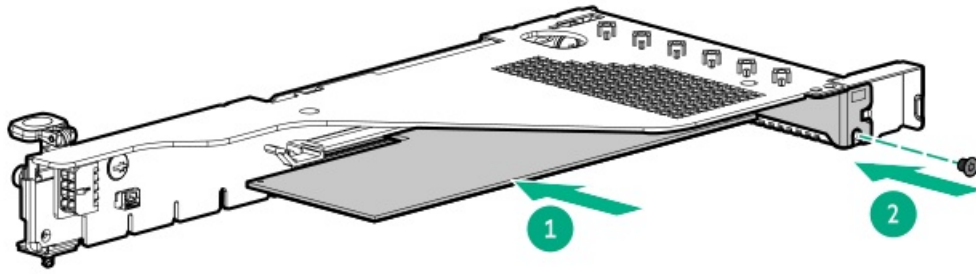
- セカンダリロープロファイル



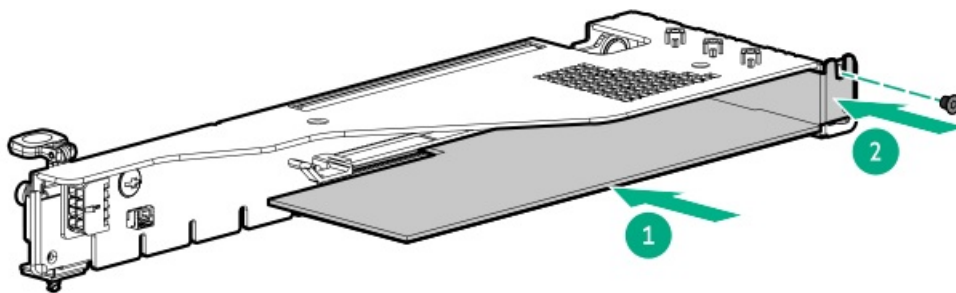
8. 拡張ボードを取り付けます。

- セカンダリフルハイト
 - a. ブランクを取り外します。
 - b. T-10トルクスドライバーを使用して、コントローラーを取り付けます。





- セカンダリハーフハイト：
 - a. ブランクを取り外します。
 - b. T-10トルクスドライバーを使用して、コントローラーを取り付けます。



9. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

セキュリティ

サブトピック

ベゼルの取り付け

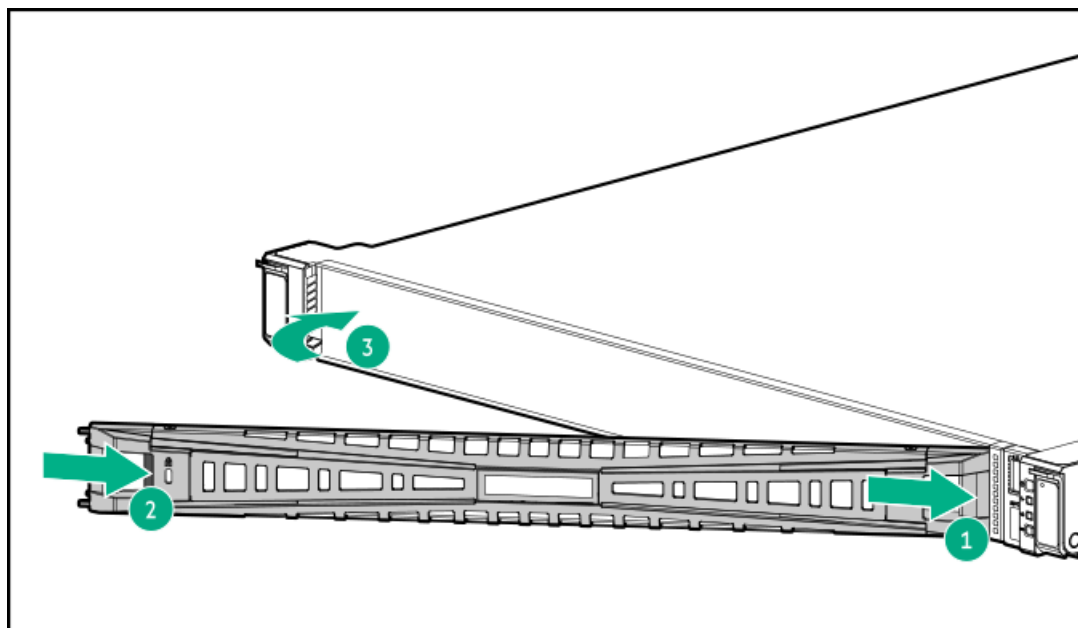
シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン

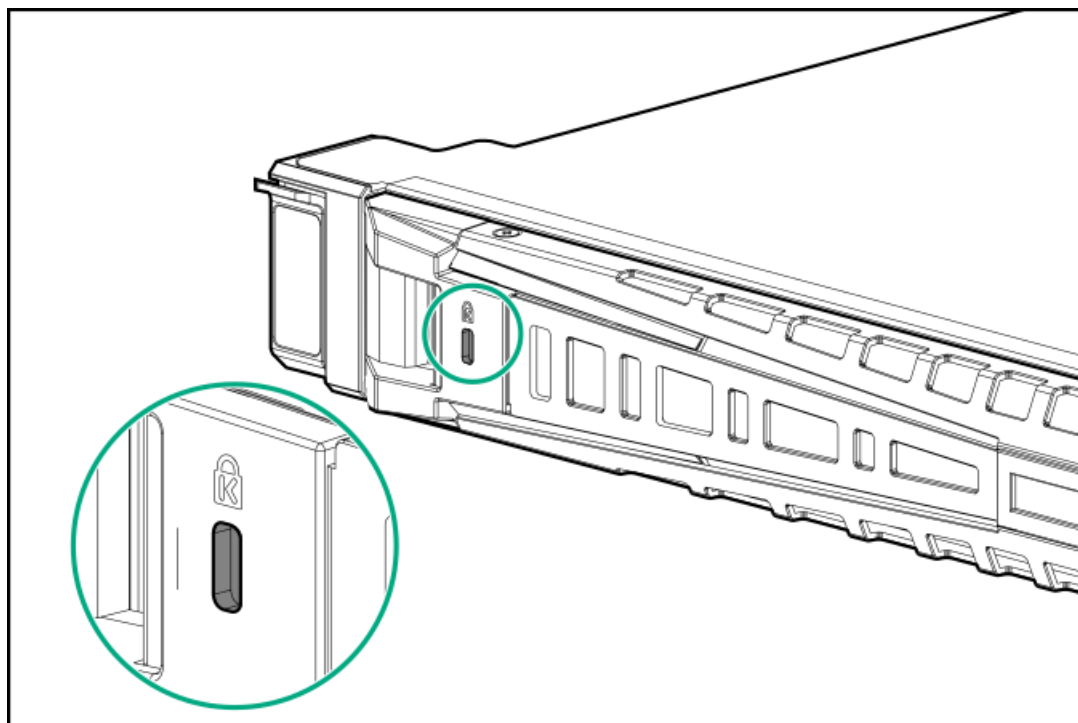
ベゼルの取り付け

手順

1. ベゼルを取り付けます。



2. Kensingtonセキュリティロックを使用してベゼルをロックします。



シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け

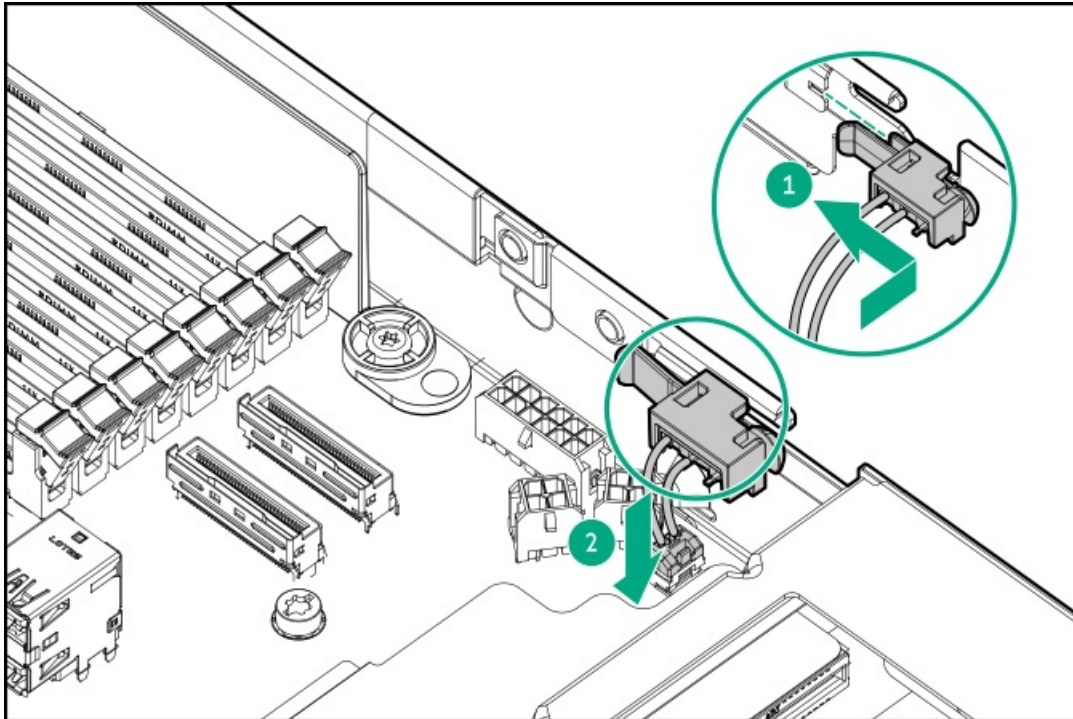
前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。

2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. シャーシ侵入検知スイッチを電源装置ベイの後ろに取り付けます。



6. アクセスパネルを取り付けます。
7. サーバーをラックに取り付けます。
8. 各電源コードをサーバーに接続します。
9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
10. サーバーの電源を入れます。

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン

△ 注意:

- 必ず、このセクションに記載されているTPMのガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- サーバーの変更やOSでのTPMのサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPMを使用しているOSですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア（システムボードやドライブなど）の交換、TPMのOS設定の変更が含まれます。
- OSのインストール後にTPMモードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。

Hewlett Packard Enterpriseの特別な注意事項: このシステムでTPM機能を有効にする前に、TPMの用途が関連する地域の法律、規定および政策に準拠することを保証し、該当する場合、承認または免許を取得しなければなりません。

慧与特别提醒: 在您启用系统中的TPM功能前, 请务必确认您对TPM的使用遵守当地相关法律、法规及政策, 并已事先获得所需的一切批准及许可(如适用), 因您未获得相应的操作/使用许可而导致的违规问题, 皆由您自行承担全部责任, 与慧与无涉。

- 内蔵TPMが有効にされている場合、Trusted Platform ModuleはTPM 2.0モードで動作します。
- TPMを構成するには、UEFIシステムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Moduleオプションを選択します。詳しくは、UEFIユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/UEFIgen11-UG-en>

- Microsoft Windows BitLockerドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性がBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- HPEは、TPMの不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

ケーブル接続

サブトピック

[ケーブル接続のガイドライン](#)

[ケーブル配線図](#)

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。

- 一部の図では、A、B、Cなどのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクター近くのラベルに対応しています。
- この章で使用するケーブル配線図のケーブルの色は、説明目的でのみ使用されます。
- サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- PCAコンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート

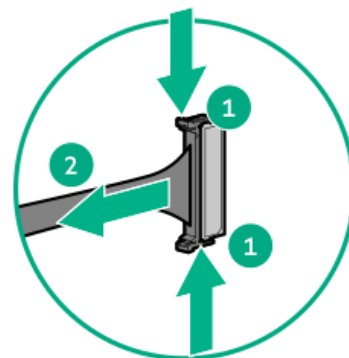
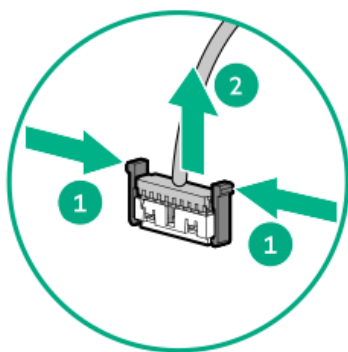
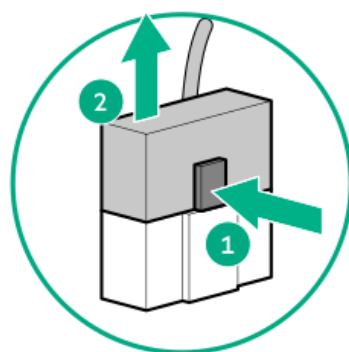
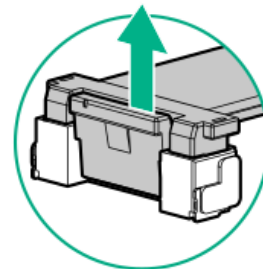
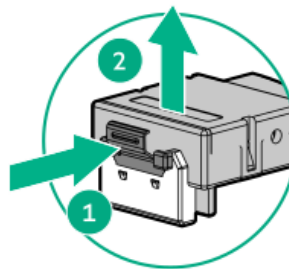
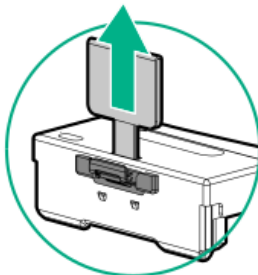
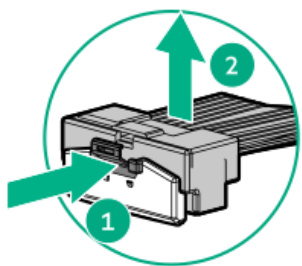
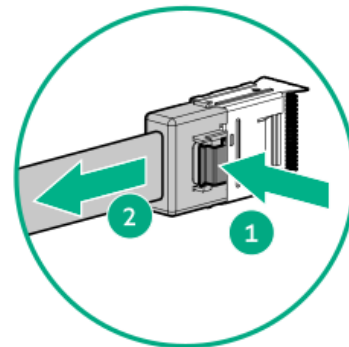
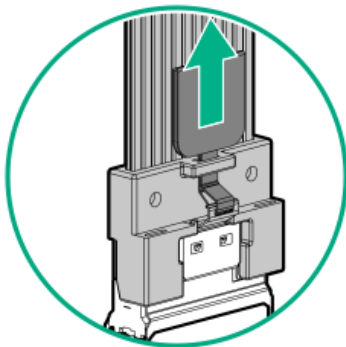
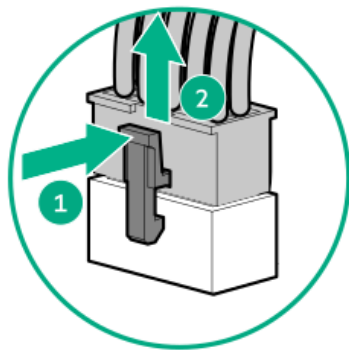
- ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
- 拡張ボードのポート（コントローラー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード）
- 各ケーブルコネクタ付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

ケーブルの接続時

- ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- コンポーネントの損傷や信号干渉を防ぐため、すべてのケーブルが正しい配線位置にあることを確認した後で新しいコンポーネントを取り付け、ハードウェアの取り付け/保守後にサーバーを閉じてください。

ケーブルを取り外す場合

- ケーブルコネクタの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



- 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようにラベルを付けて保管してください。

ケーブル配線図

次の注意事項に従ってください。

- コンポーネントをケーブル接続する前に、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。
- ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

表 1. SFF (2.5型) ケーブル

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続	P43732-001
	P45610-001
	P43730-001
	P43733-001
	P43731-001
	P45612-001
	P45613-001
	P45614-001
	P45615-001
	P45616-001
	P45617-001
	P48960-001
	P48963-001
	P48964-001
	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
P43738-001	
P45607-001	
P45611-001	
P45608-001	
P48961-001	
P48962-001	
OCP帯域幅アップグレードのケーブル接続	P43734-001
	P43734-001
	P43735-001
	P43736-001

表 2. LFF (3.5型) ケーブル

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続	P43728-001
	P48958-001
	P48970-001

表 3. NS204iケーブル

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
NS204i-uブートデバイスのケーブル接続	P54087-001
	P54092-001
	P54088-001
	P48956-001

表 4. 電源ケーブル

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
電源ケーブルの接続	P43726-001
	P43729-001
	869667-001
右イヤー電源スイッチケーブル	P43727-001
Smartストレージバッテリーのケーブル接続	P45618-001

表 5. I/Oケーブル

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
LFF (3.5型) ディスプレイケーブル	P45619-001
SFF (2.5型) ディスプレイケーブル	P45620-001
シリアルケーブル	P45623-001
侵入検知ケーブル	P47751-001
Systems Insight Displayケーブル	P48971-001
LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブケーブル	P45621-001
SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブケーブル	P45622-001

サブトピック

[8 SFF \(2.5型\) ドライブバックプレーンのケーブル接続](#)

[2 SFF \(2.5型\) ドライブバックプレーンのケーブル接続](#)

[4 LFF \(3.5型\) ドライブバックプレーンのケーブル接続](#)

[NS204i-uのケーブル接続](#)

[OCPアダプター帯域幅アップグレードのケーブル接続](#)

[電源ケーブルの接続](#)

[I/Oケーブル接続](#)

[Systems Insight Displayのケーブル接続](#)

[侵入検知スイッチのケーブル接続](#)

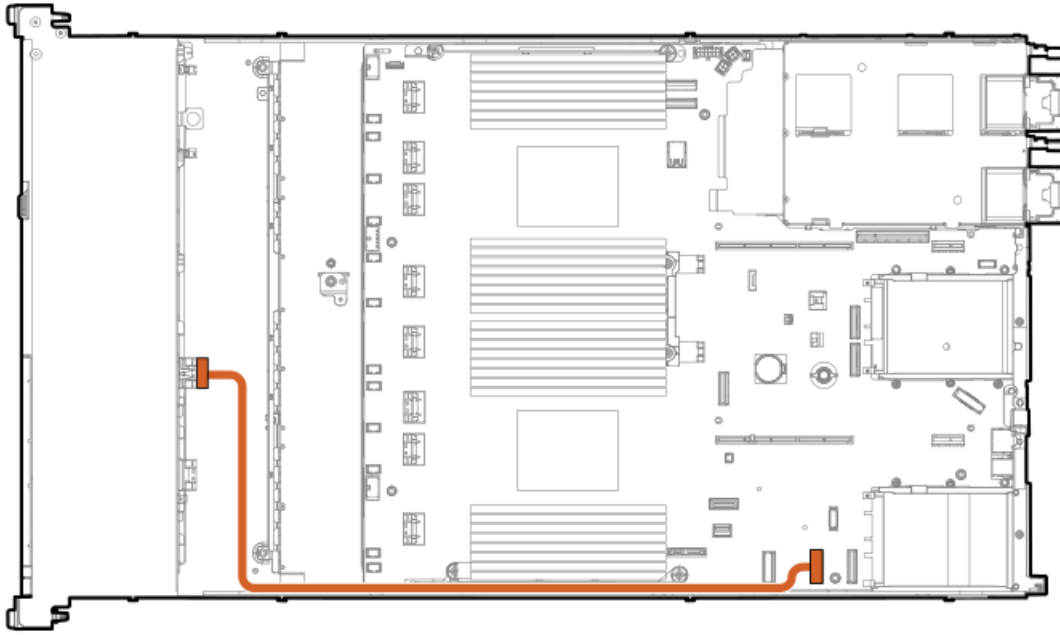
[シリアルポートのケーブル接続](#)

[Smartストレージバッテリー/キャパシターのケーブル接続](#)

[bby_086](#)

8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続

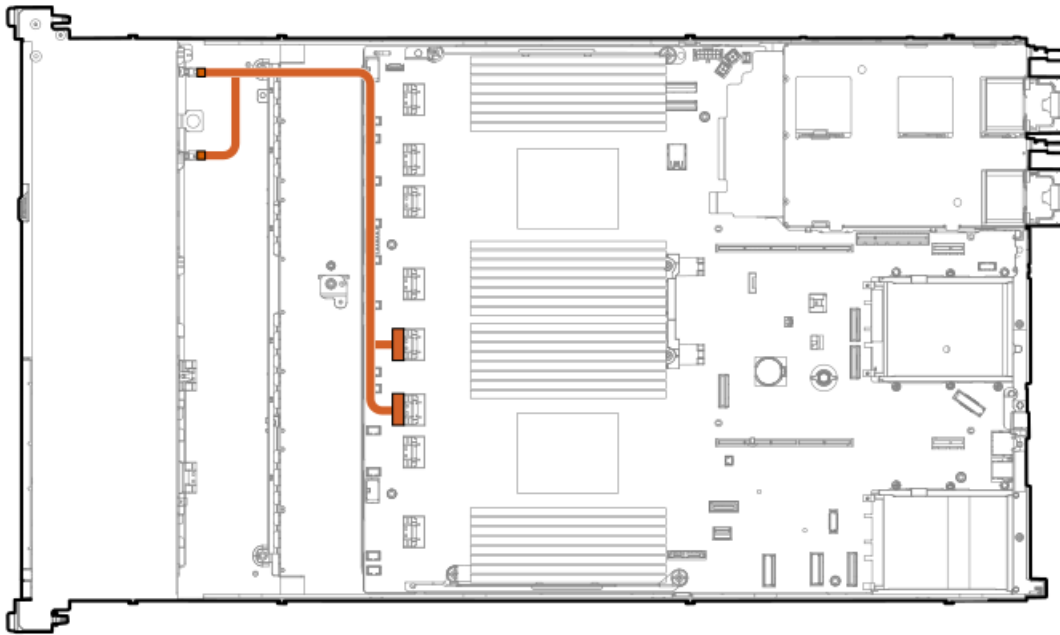
8 SFF (2.5型) ボックス1: システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43732-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P48895-B21

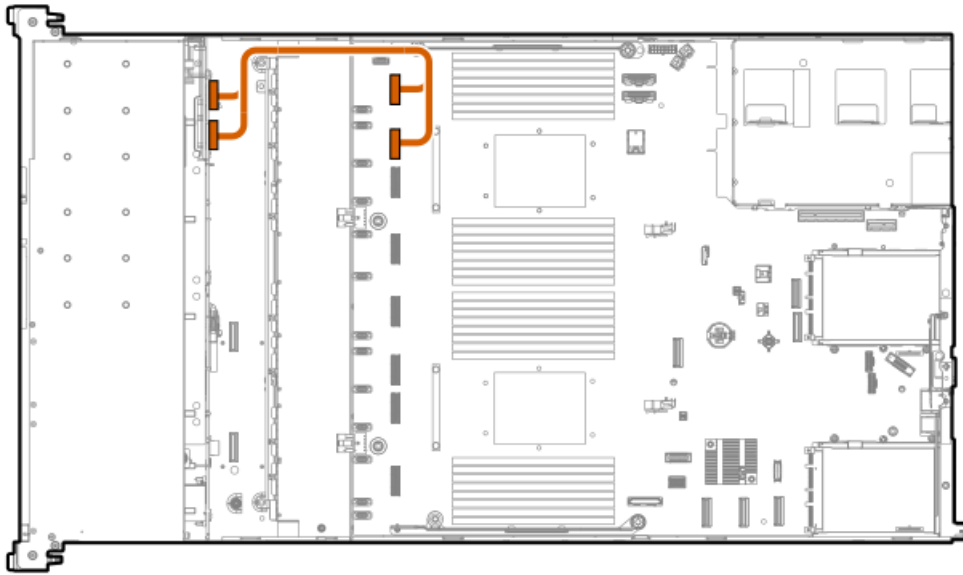
8 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード (アンバランス、CPU1)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43730-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット : P48897-B21

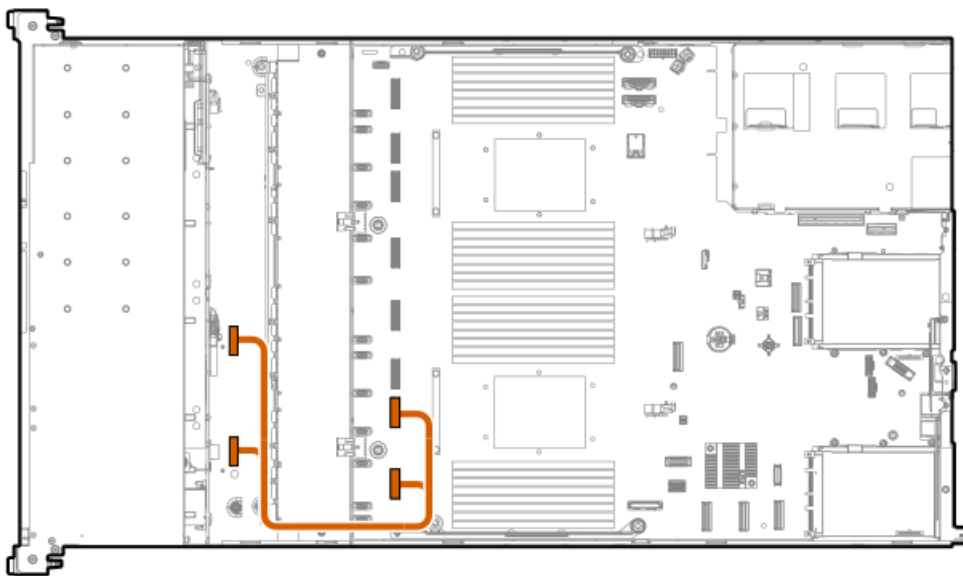
8 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード (バランス、GPU1/GPU2)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43733-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット : P48896-B21

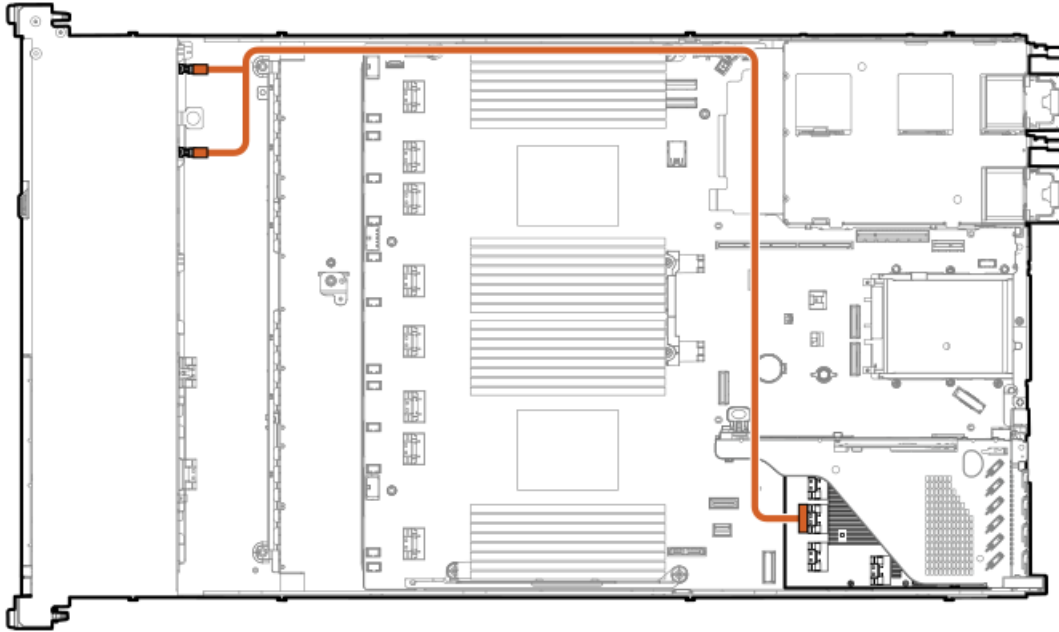
8 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43731-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット : P48896-B21

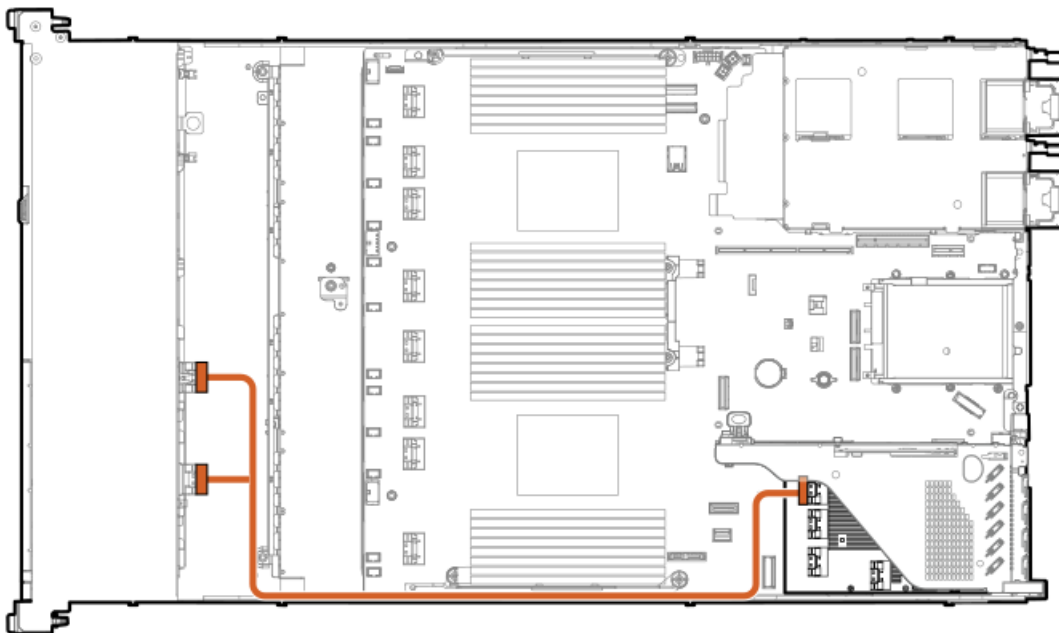
8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45616-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P48909-B21

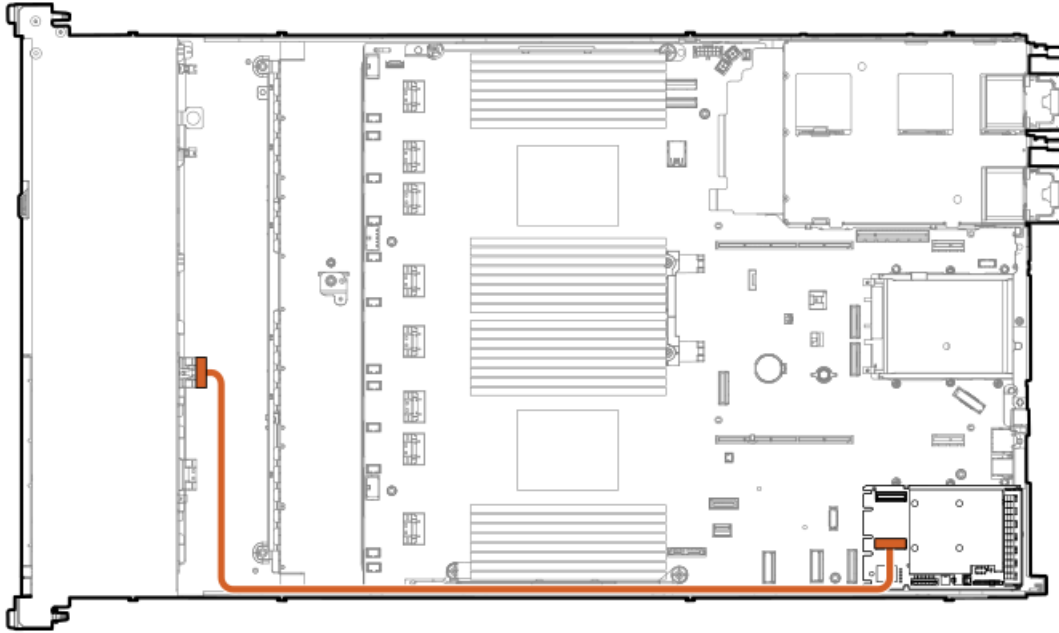
8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45617-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48909-B21

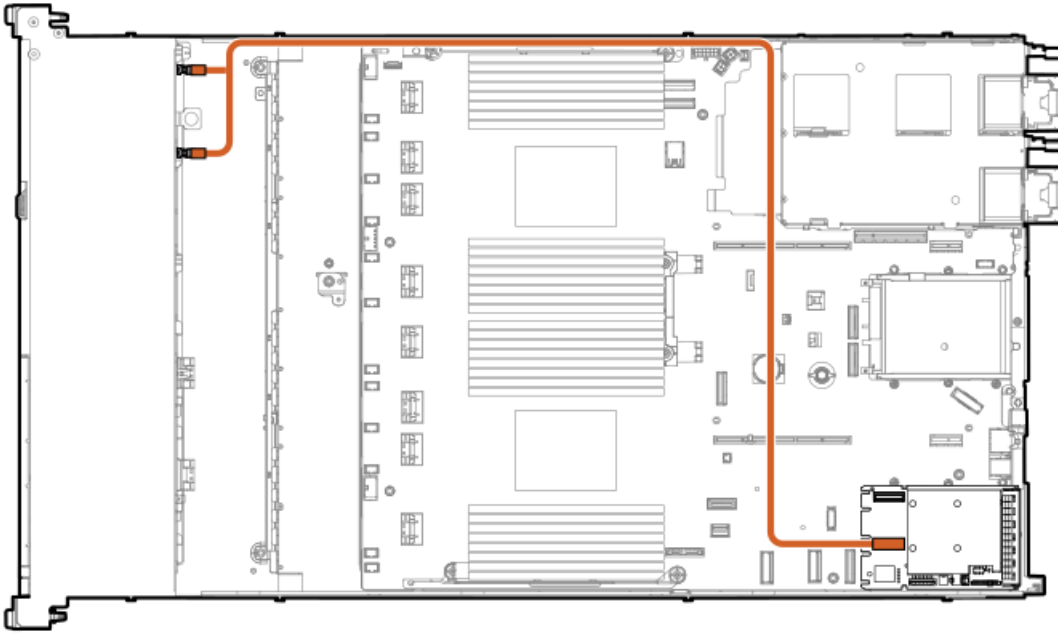
8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48960-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P52416-B21

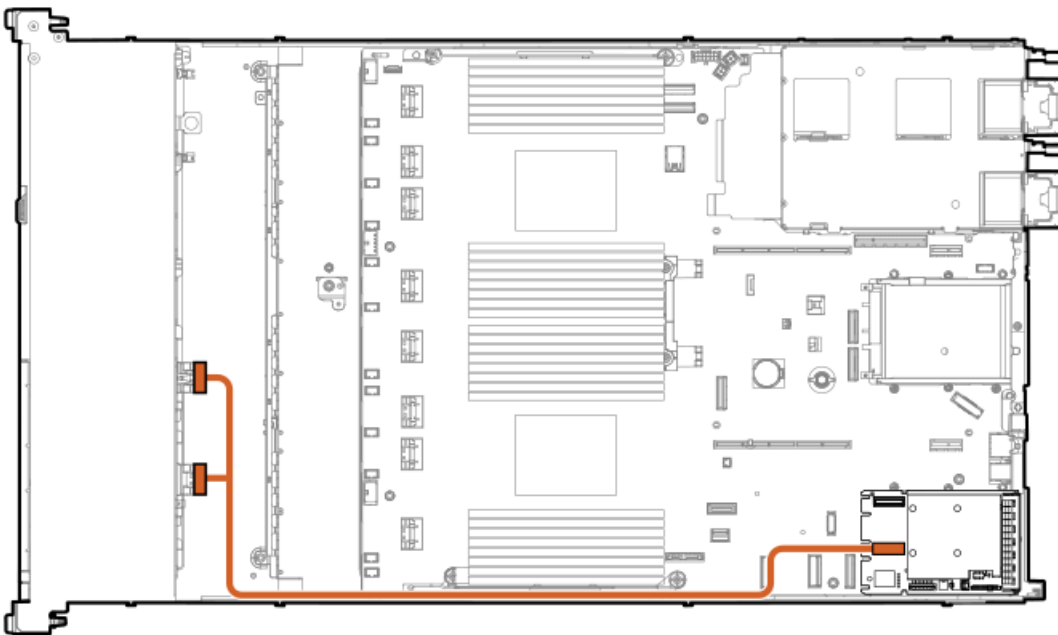
8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48963-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P52416-B21

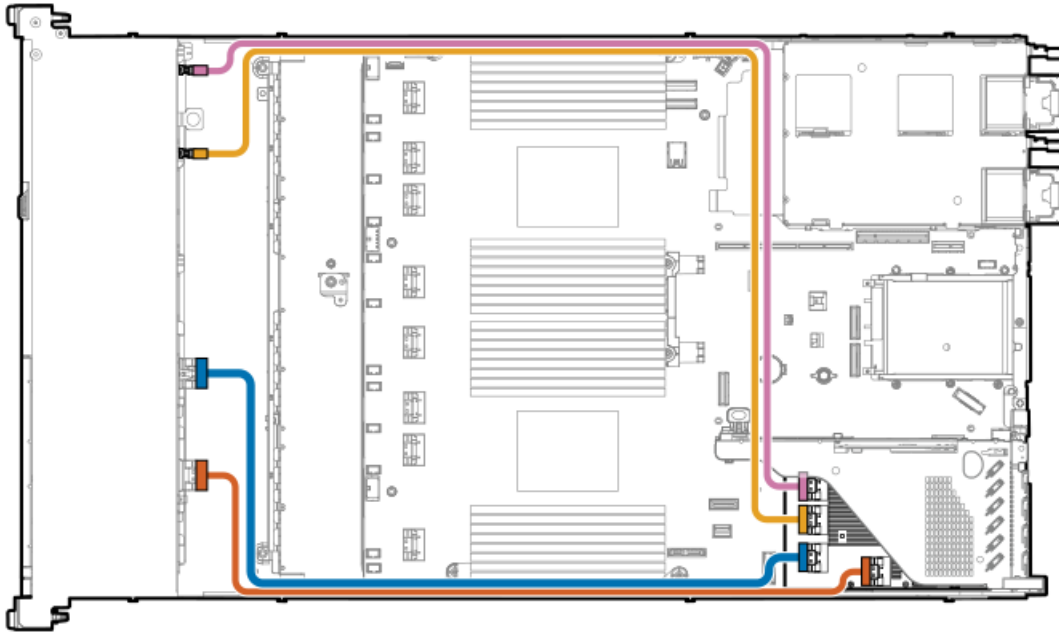
8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48964-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P52416-B21

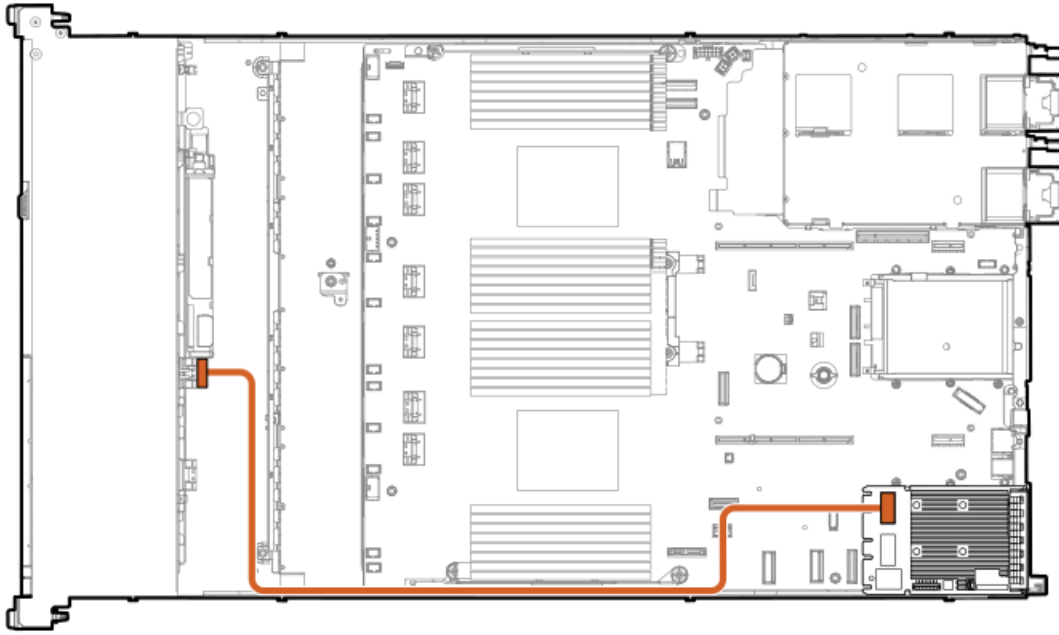
8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45612-001 ¹	ピンク色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
P45613-001	黄色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
P45614-001	青色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
P45615-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48909-B21

8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプpコントローラー

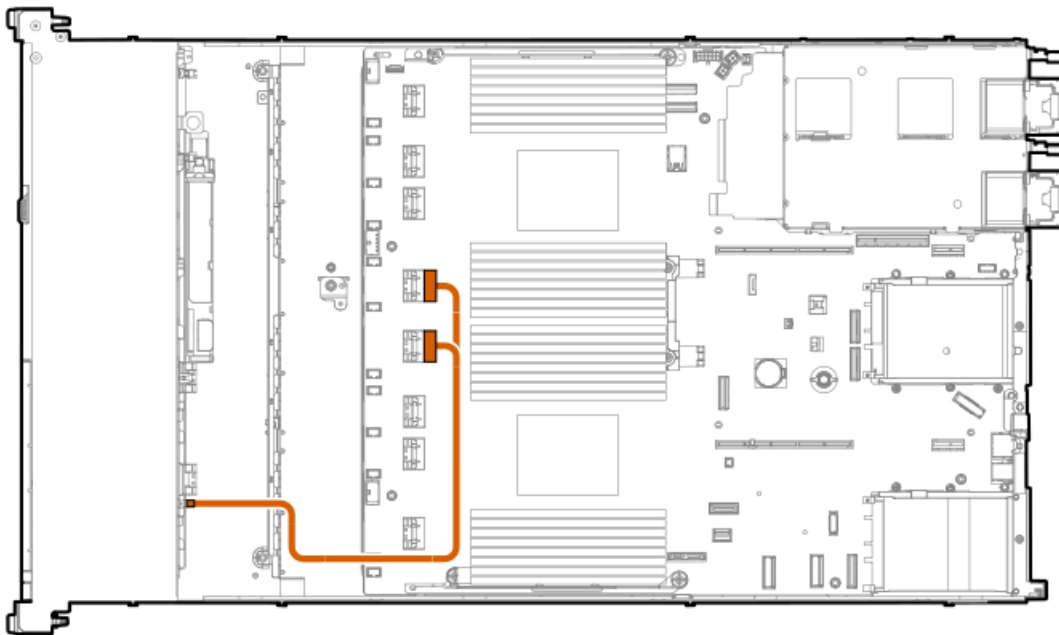


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45610-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48909-B21

2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続

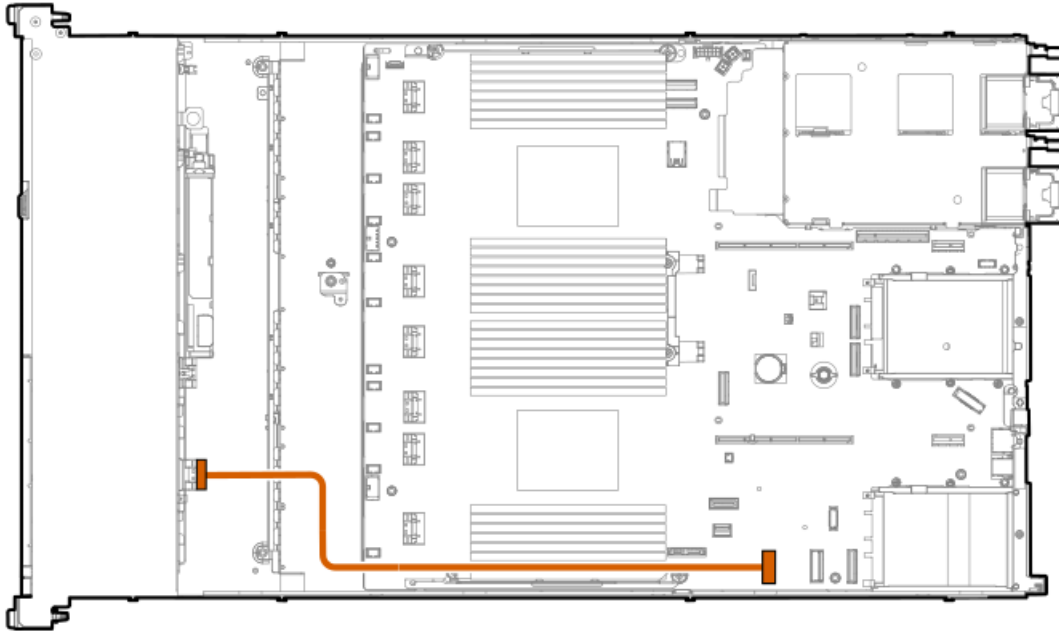
2 SFF (2.5型) サイドバイサイド : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43737-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプレーン	システムボードSlimSASポート

¹ オプションキット : P48899-B21

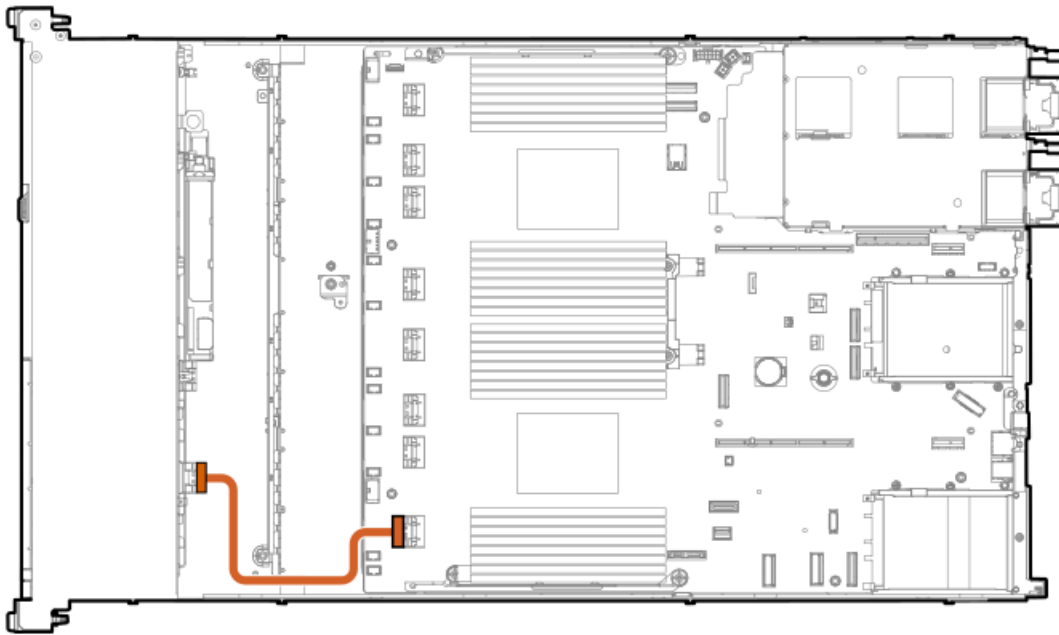
2 SFF (2.5型) サイドバイサイド : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43738-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプレーン	システムボードSlimSASポート1

¹ オプションキット : P48899-B21

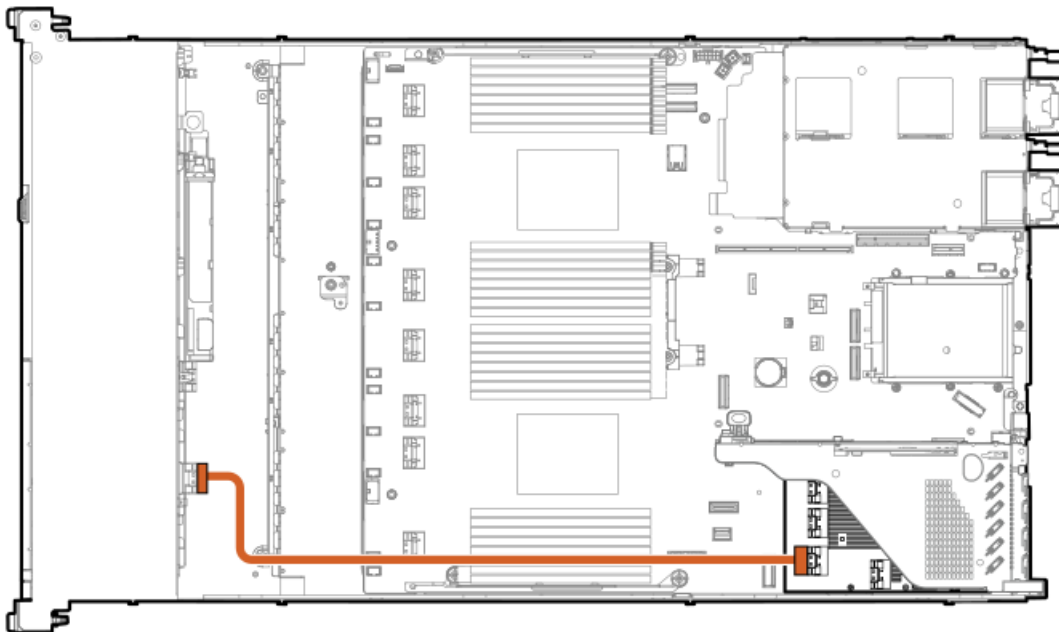
2 SFF (2.5型) サイドバイサイド : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45607-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックアップレーン	システムボードSlimSASポート

¹ オプションキット : P48899-B21

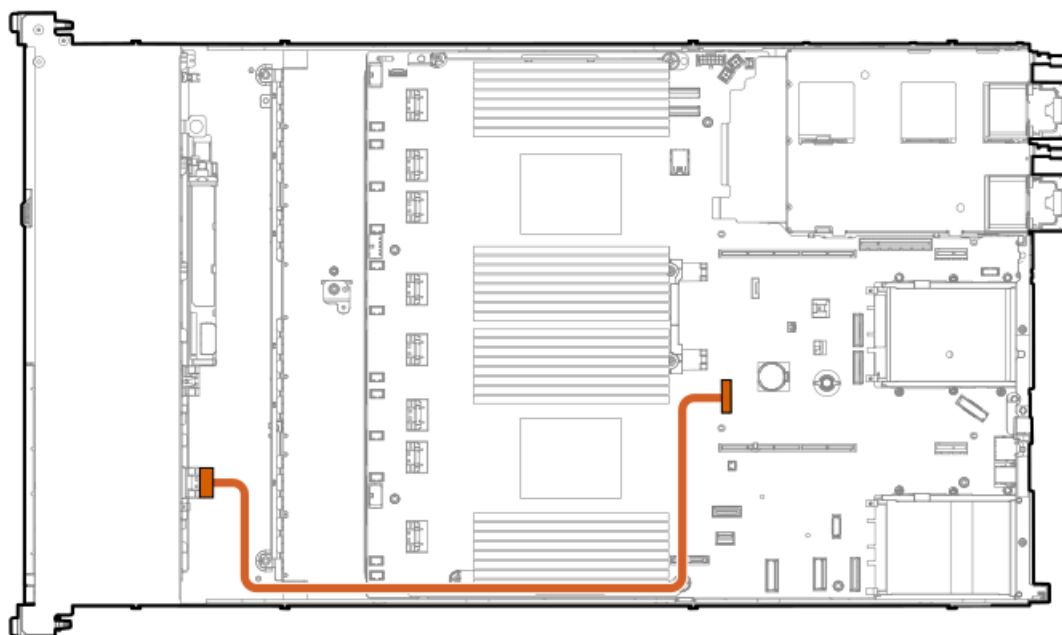
2 SFF (2.5型) サイドバイサイド : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45611-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックアップレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48910-B21

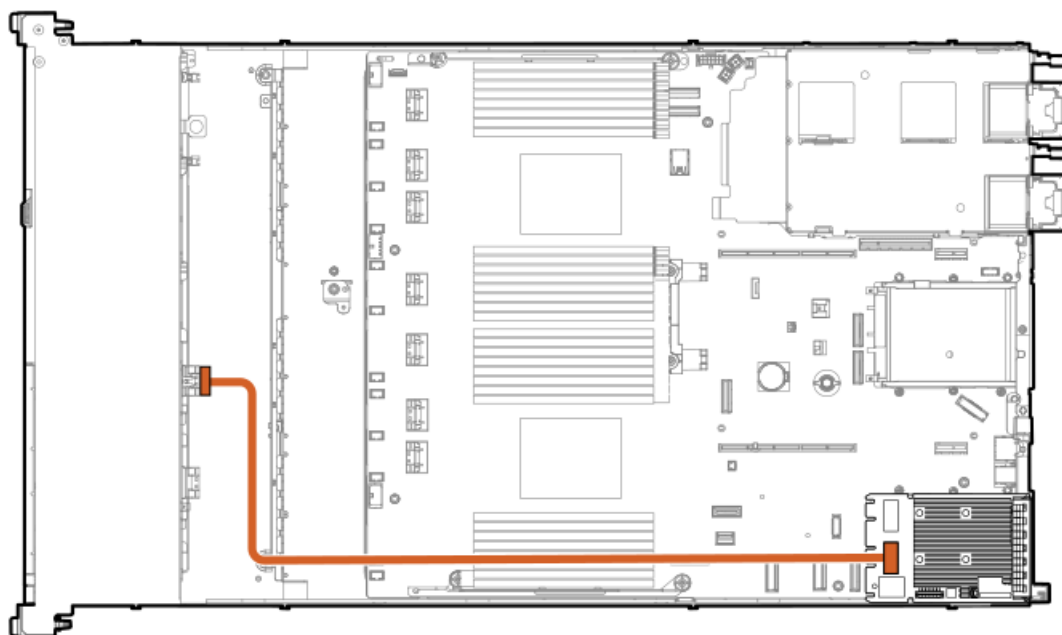
2 SFF (2.5型) サイドバイサイド : 背面MCIOポート



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45608-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックアップ レーン	CPU1 MCIOポート1

¹ オプションキット : P48899-B21

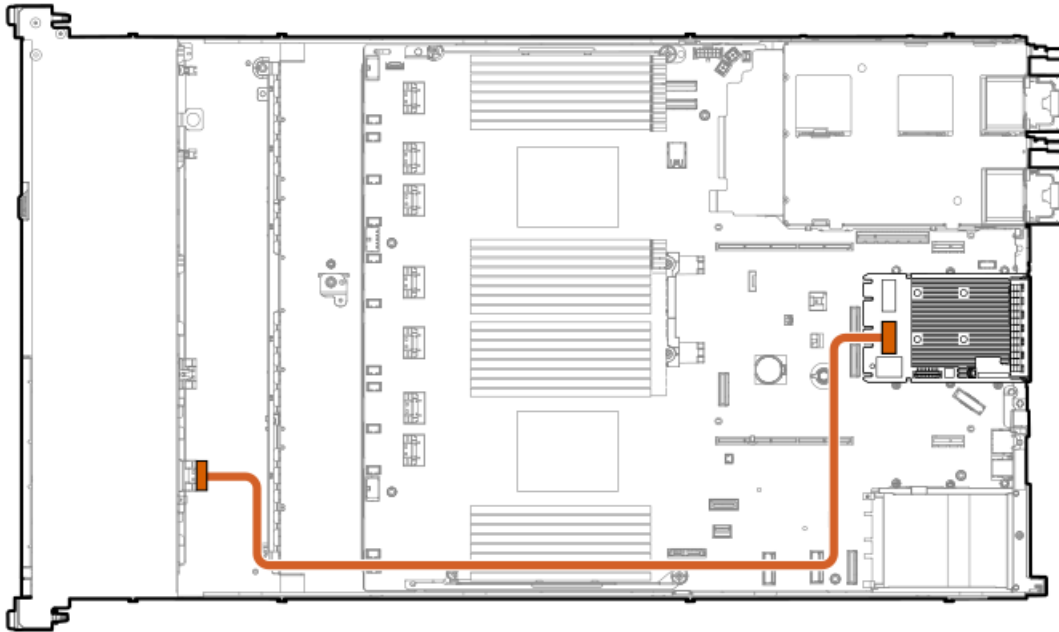
2 SFF (2.5型) サイドバイサイド : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48962-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックアップ レーン	OCPスロット14、ポート1

1 オプションキット : P48910-B21

2 SFF (2.5型) サイドバイサイド : セカンダリタイプoコントローラー

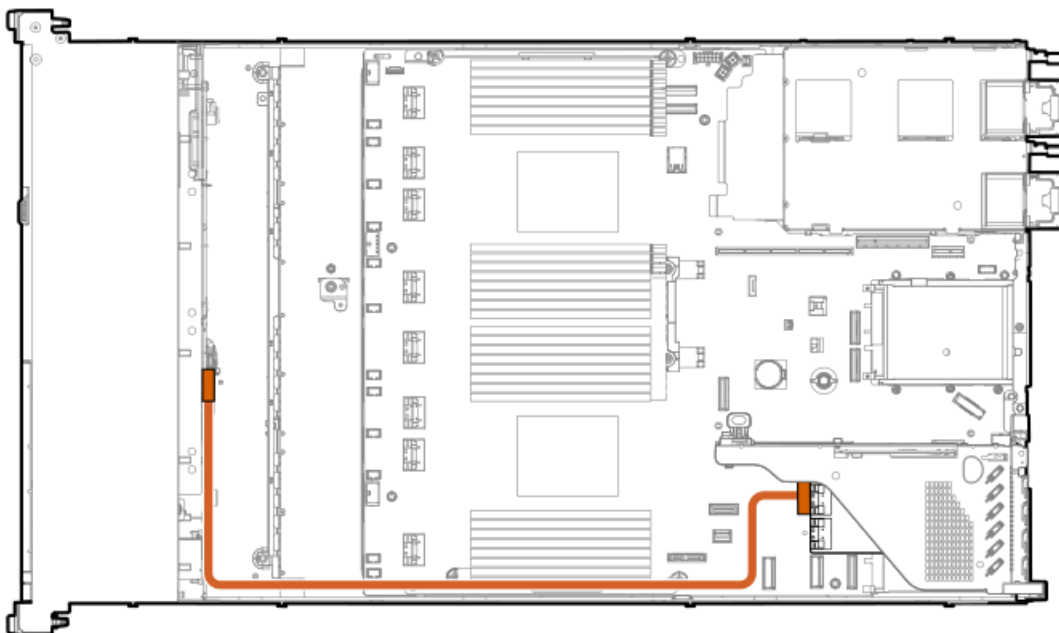


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48961-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックアップ	OCPスロット15、ポート1レーン

1 オプションキット : P48910-B21

4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続

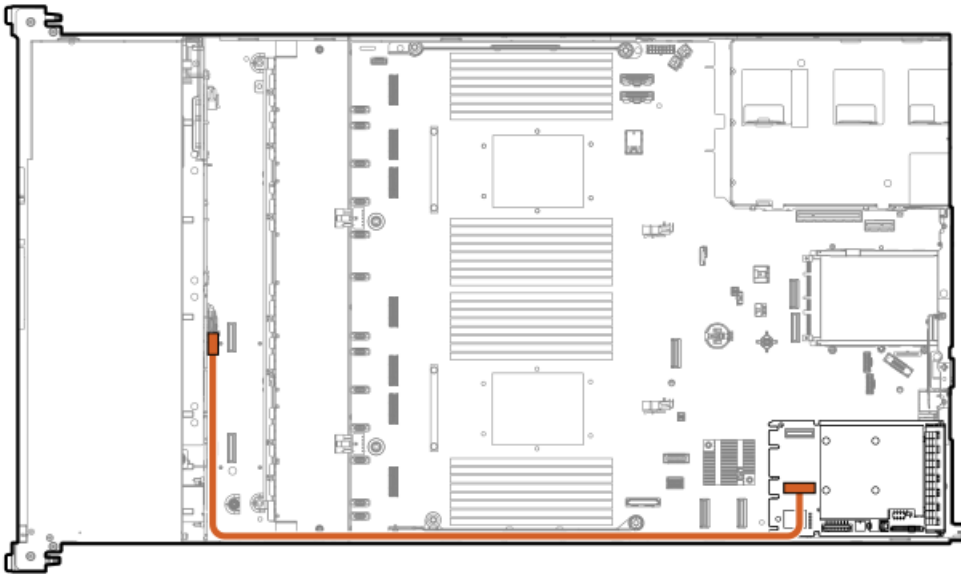
4 LFF (3.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48970-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラーポート1

¹ オプションキット : P48913-B21

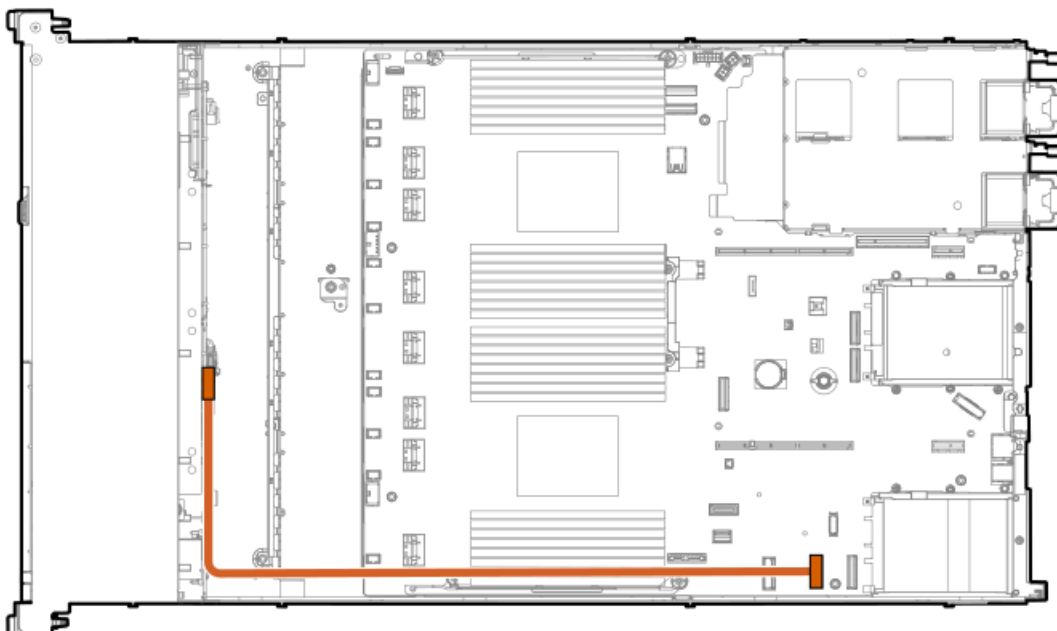
4 LFF (3.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48958-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラーポート1

¹ オプションキット : P48913-B21

4 LFF (3.5型) ボックス1 : システムボード

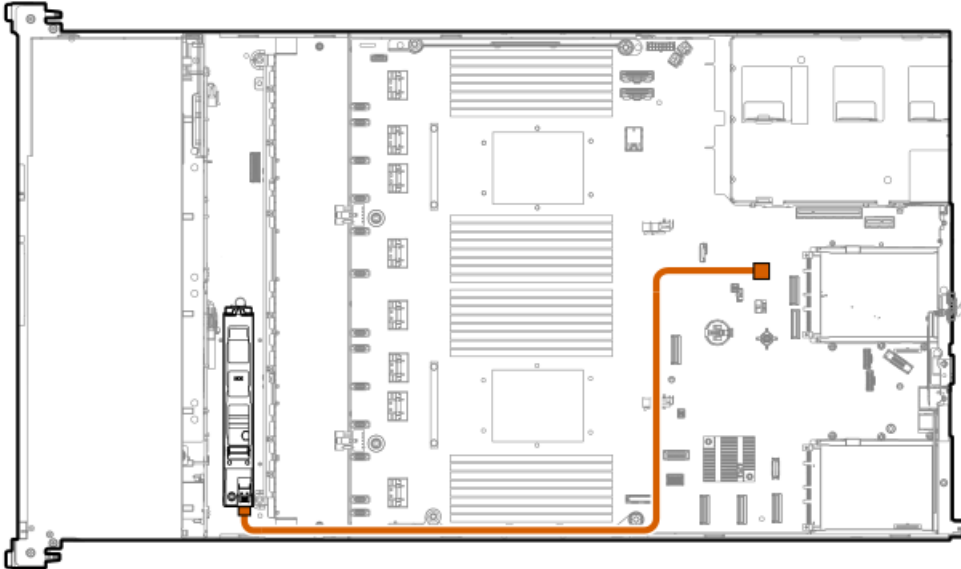


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43728-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P51897-B21

NS204i-uのケーブル接続

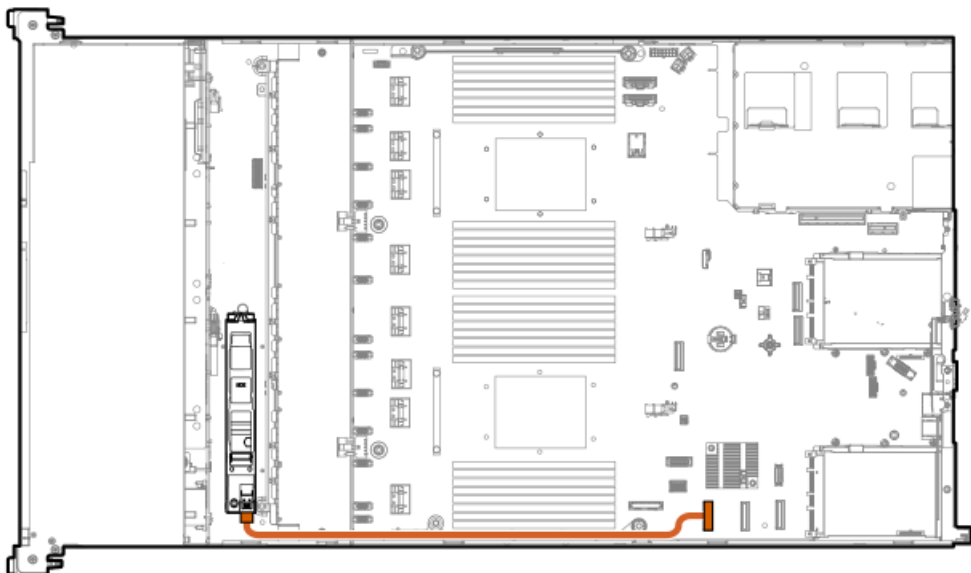
内部NS204i-u電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001 ¹	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

¹ オプションキット : P48920-B21

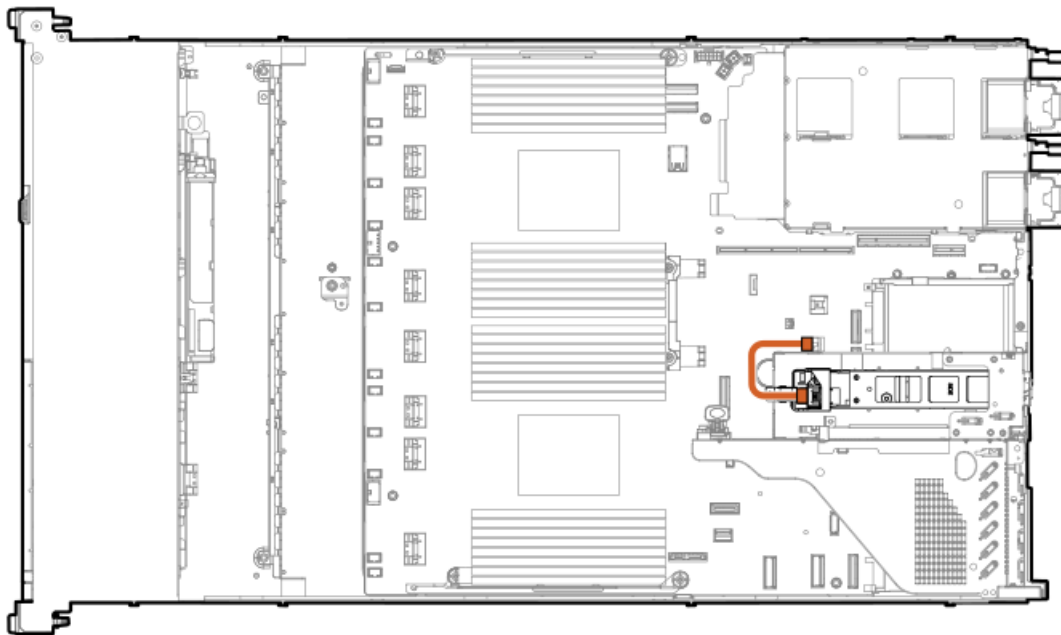
内部NS204i-uデータ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54092-001 ¹	オレンジ色	NS204 i-uブートデバイス	システムボード

¹ オプションキット : P48920-B21

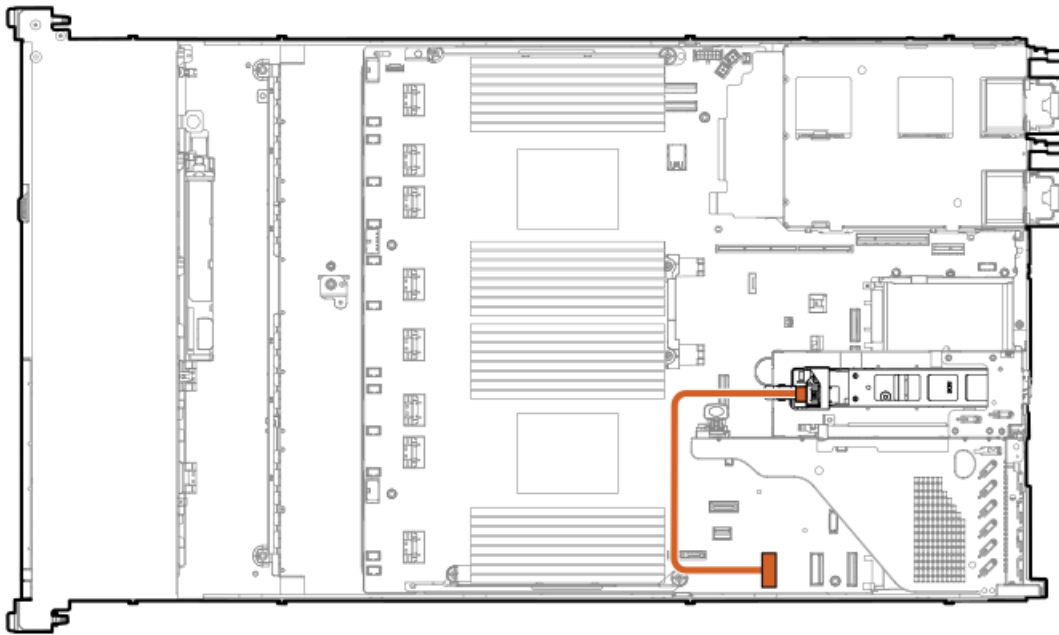
ライザーケージNS204 i-u電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54088-001 ¹	オレンジ色	NS204 i-uブートデバイス	システムボード

¹ オプションキット : P54702-B21

ライザーケージNS204 i-uデータ

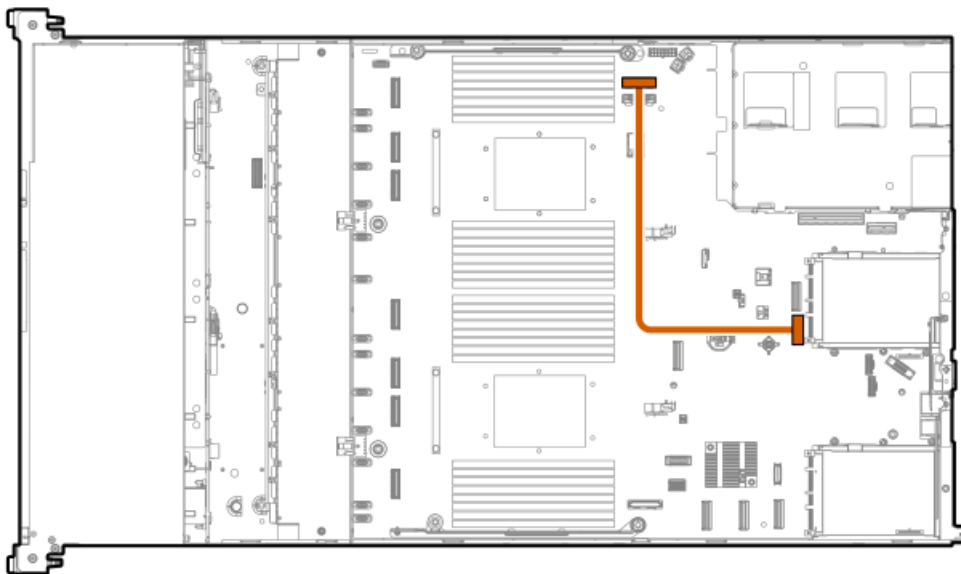


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54087-001 ¹	オレンジ色	NS204 i-uブートデバイス	システムボード

¹ オプションキット : P54702-B21

OCPアダプター帯域幅アップグレードのケーブル接続

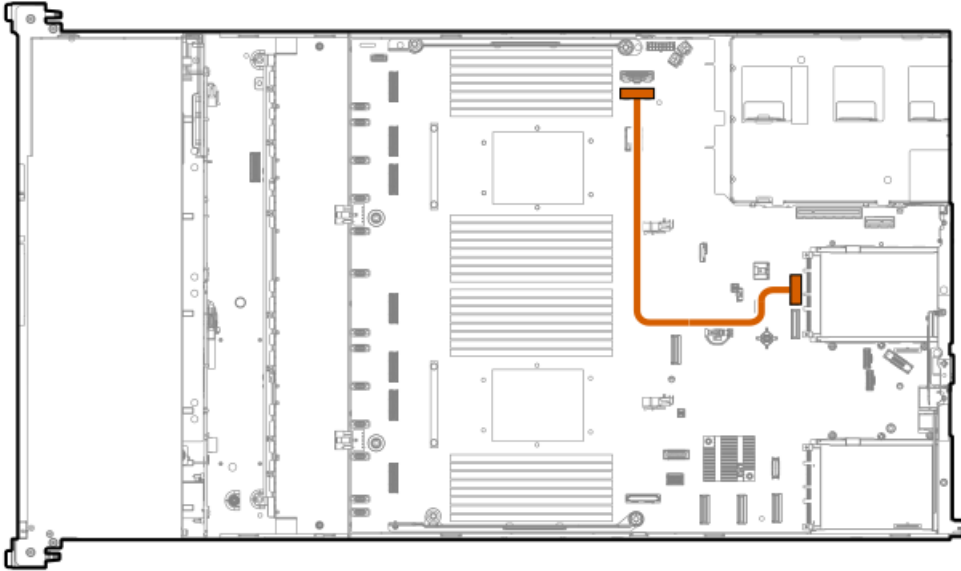
OCPスロット15、ポート2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43734-001 ¹	オレンジ色	OCPスロット15、ポート2	ソケット2 MCIOコネクター2

1 オプションキット : P52417-B21

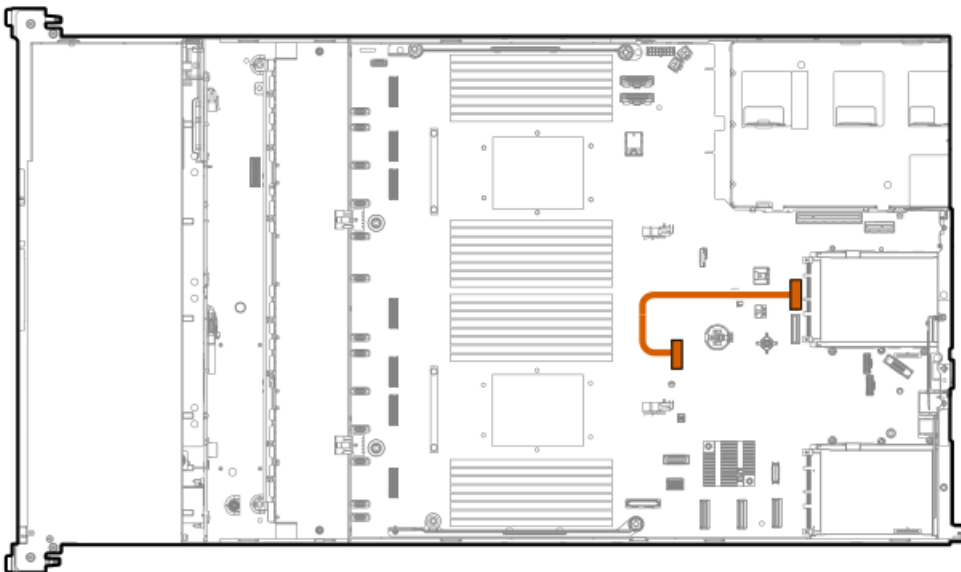
OCPスロット15、ポート1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43734-001 ¹	オレンジ色	OCPスロット15、ポート1	ソケット2 MCIOコネクター1

1 オプションキット : P52417-B21

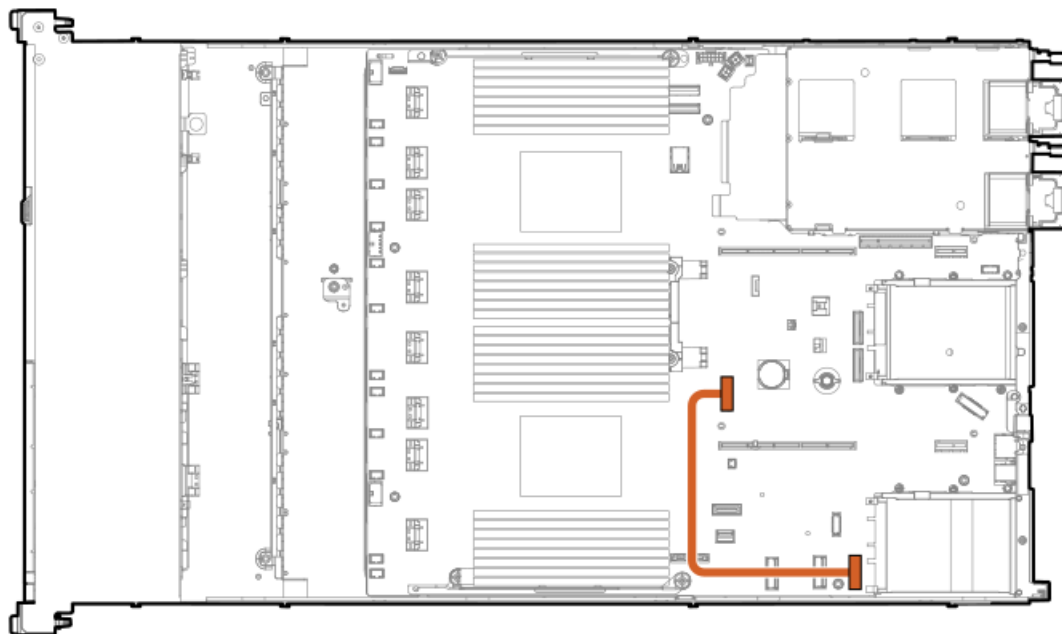
OCPスロット15、ポート1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43735-001 ¹	オレンジ色	OCPスロット15、ポート1	ソケット1 MCIOポート1

1 オプションキット : P52417-B21

OCPスロット14、ポート2



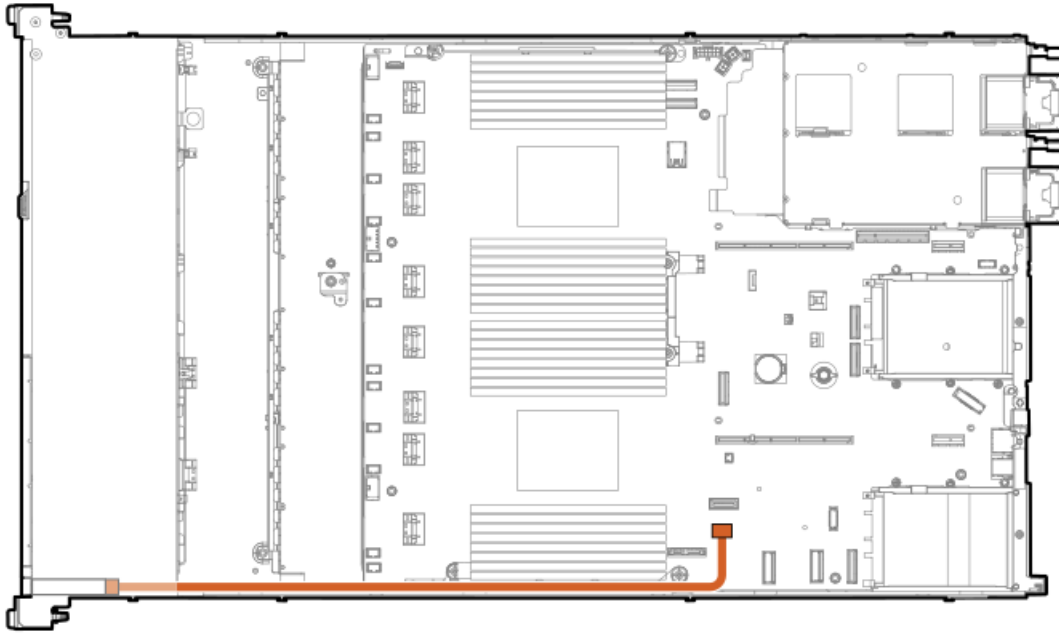
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43736-001 ¹	オレンジ色	OCPスロット14、ポート2	ソケット1 MCIOポート1

1 オプションキット : P52417-B21

電源ケーブルの接続

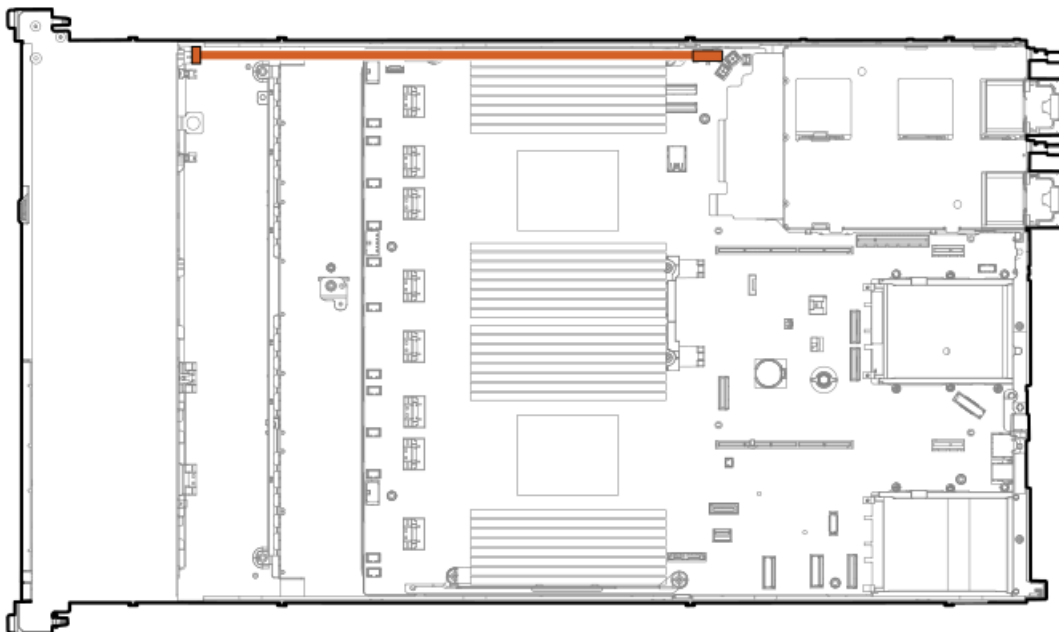
電源スイッチ





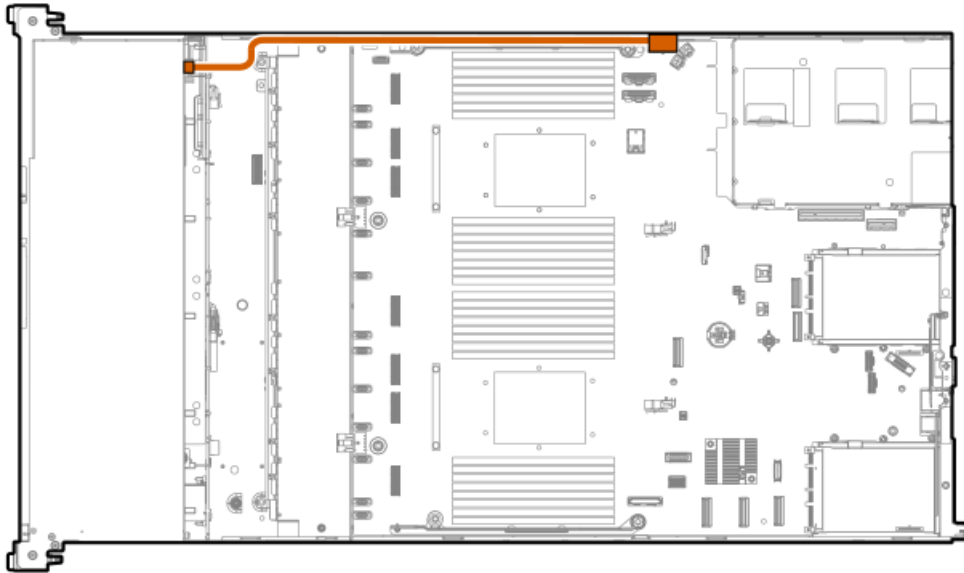
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43727-001	オレンジ色	電源スイッチ	システムボード

4 LFF (3.5型) バックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43726-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) バックプレーン電源	システムボード

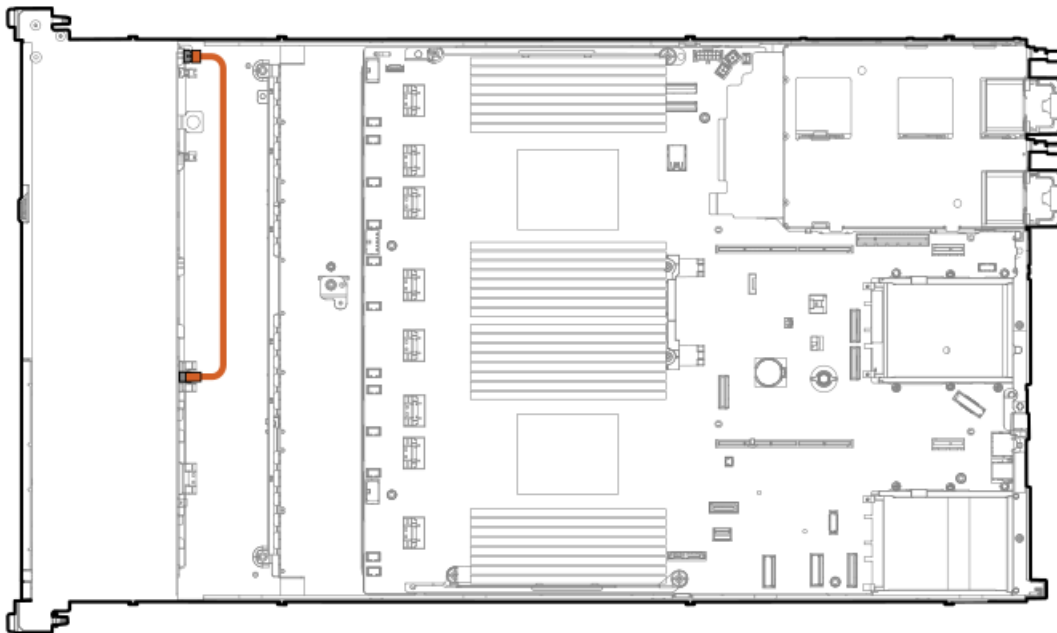
8 SFF (2.5型) バックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43729-001 ¹	オレンジ色	8 SFF (2.5型) バックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P48895-B21

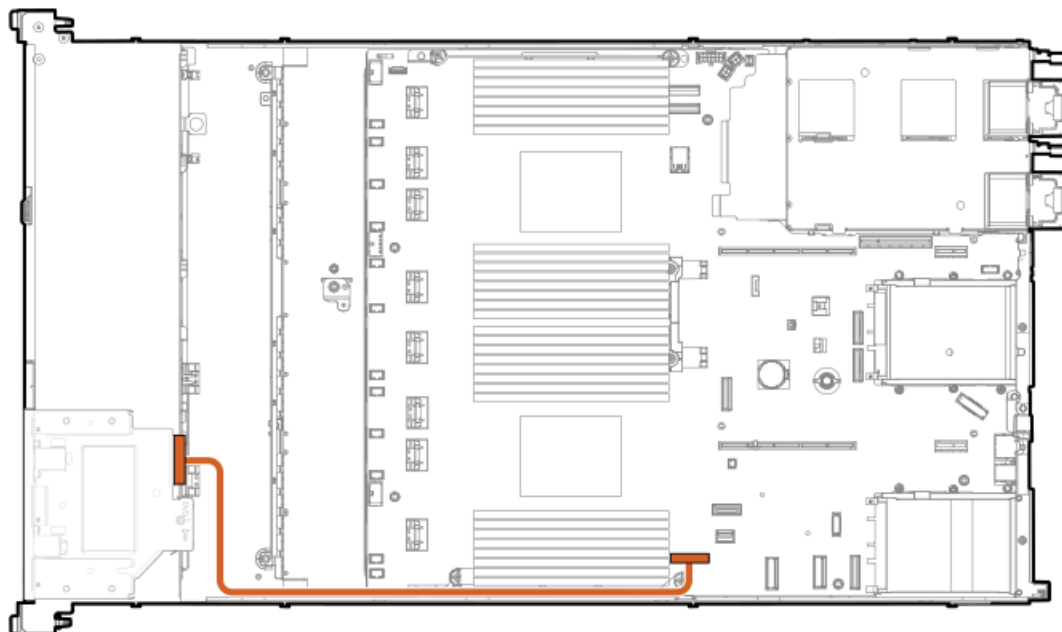
2 SFF (2.5型) バックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
869667-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプレーン	8 SFF (2.5型) バックプレーン

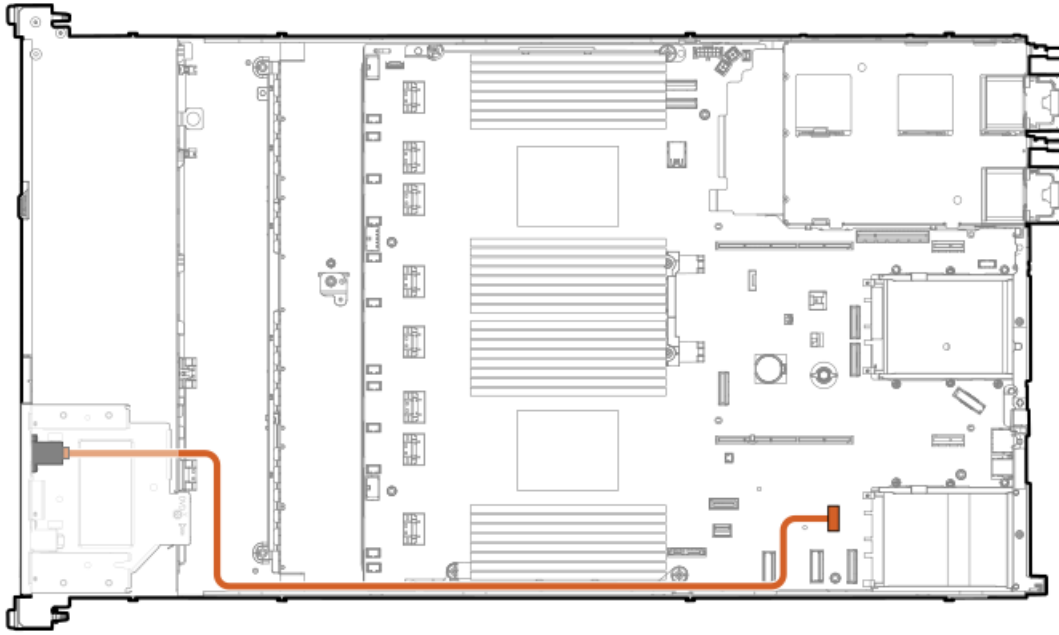
I/Oケーブル接続

SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45622-001 ¹	オレンジ色	SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブ	システムボード

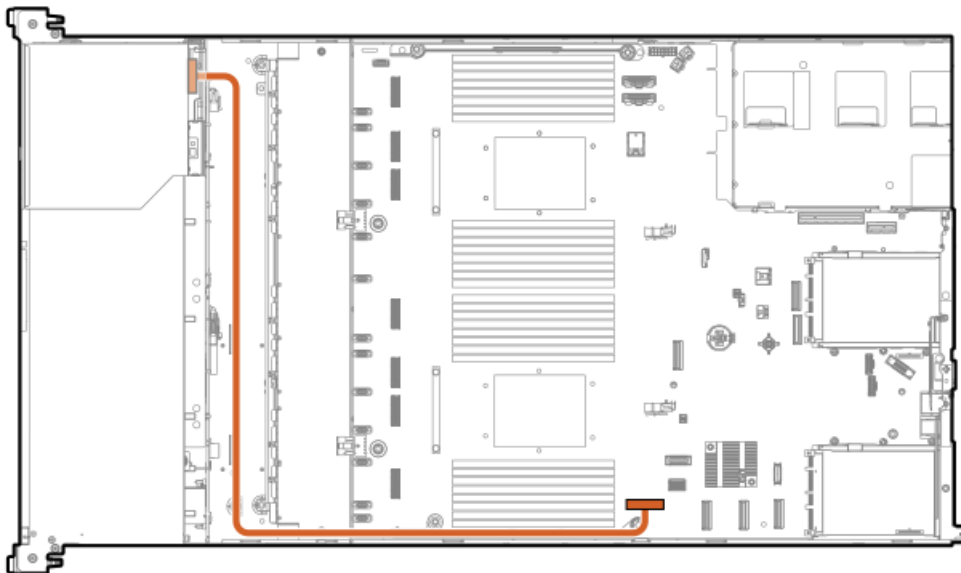
SFF (2.5型) フロントディスプレイのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45620-001 ¹	オレンジ色	SFF (2.5型) フロント ディスプレイ	システムボード

¹ オプションキット : P48926-B21

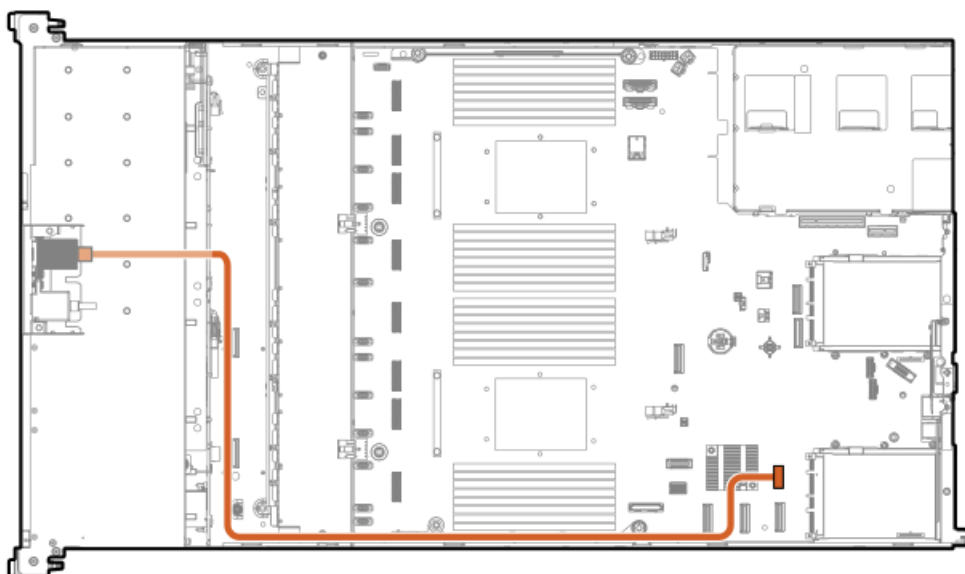
LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45621-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) オプティカ ルディスクドライブ	システムボード

¹ オプションキット : P48914-B21

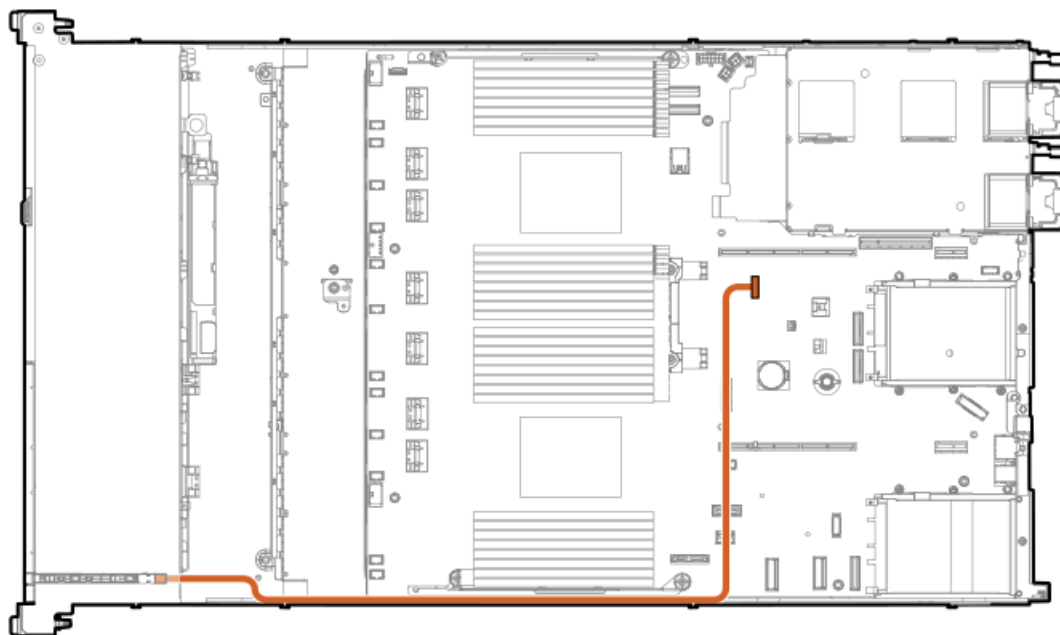
LFF (3.5型) フロントディスプレイポート/USBケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45619-001 ¹	オレンジ色	ディスプレイポート	システムボード

¹ オプションキット : P48928-B21

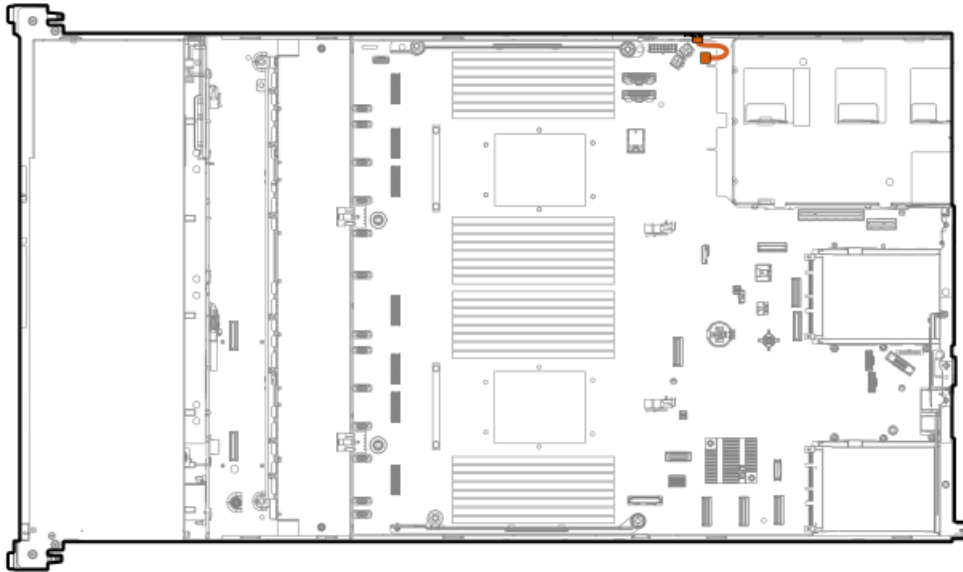
Systems Insight Displayのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48971-001 ¹	オレンジ色	Systems Insight Display モジュール	システムボード

¹ オプションキット : P48927-B21

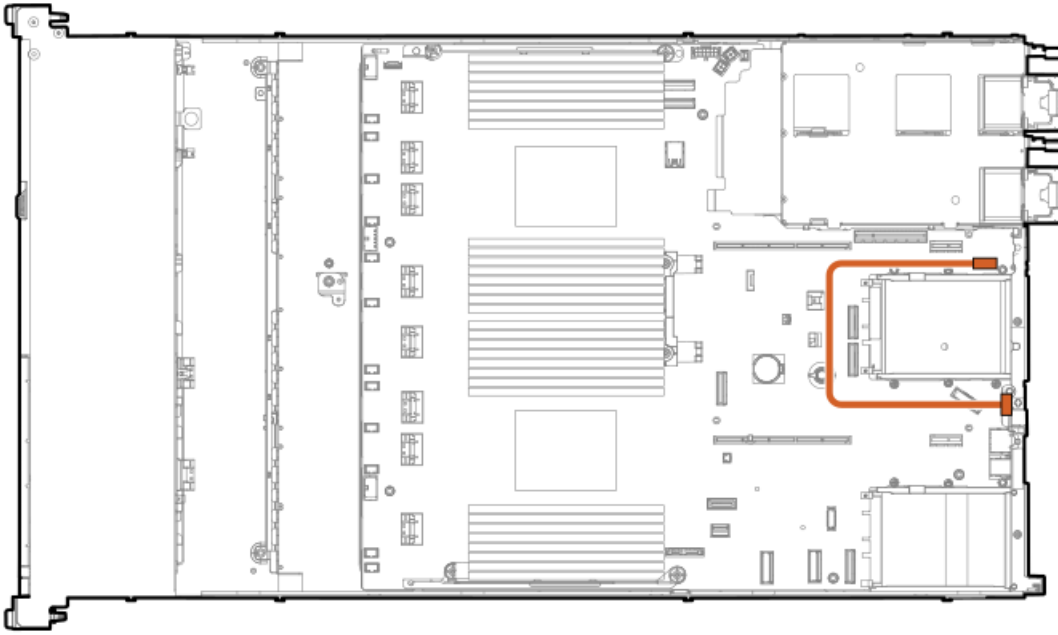
侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P47751-001 ¹	オレンジ色	侵入検知スイッチ	システムボード

¹ オプションキット : P48922-B21

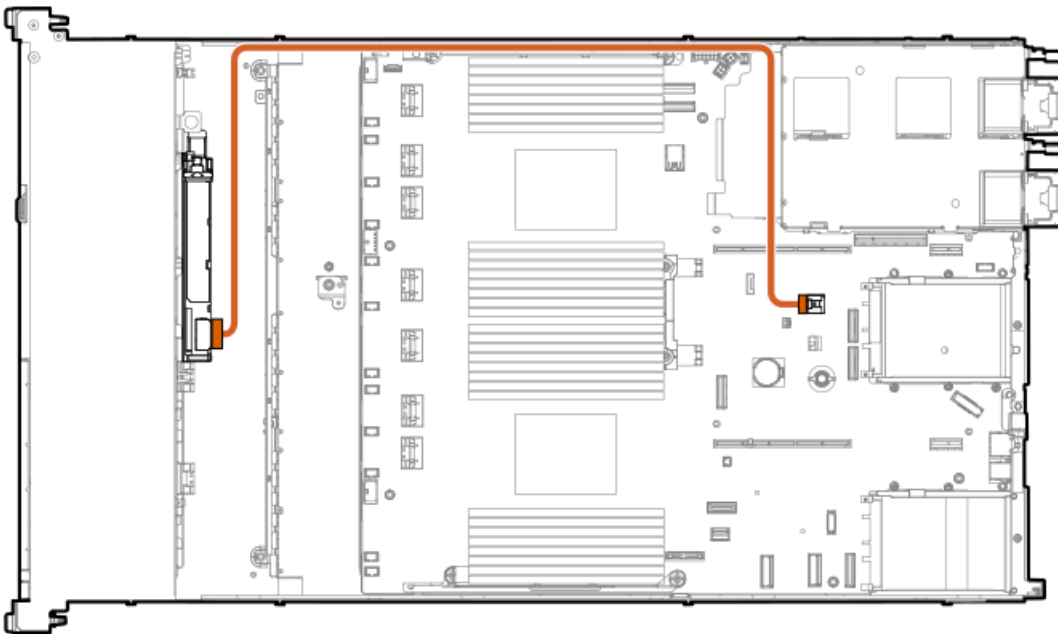
シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45623-001 ¹	オレンジ色	シリアルポート	システムボード

¹ オプションキット : P48921-B21

Smartストレージバッテリー/キャパシターのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45618-001 ¹	オレンジ色	Smartストレージバッテリー	システムボード またはキャパシター

¹ オプションキット : P48918-B21

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品のQuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/dl360gen11-docs>) を参照してください。
- HPEファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPEファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の変更、機能強化、およびバグ修正については、最新の製品リリースノートを参照してください。

サブトピック

[ファームウェアまたはシステムROMのアップデート](#)

[サーバーの構成](#)

[ストレージコントローラーの構成](#)

[HPE NS204i ブートデバイスの管理](#)

[オペレーティングシステムの展開](#)

[セキュリティの構成](#)

[サーバーの最適化](#)

[サーバー管理](#)

[Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート

接続先	使用
Service Packのダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> Service Pack for ProLiant (SPP) http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl HPE SynergyソフトウェアリリースおよびHPE Synergy Service Pack (SSP) https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information
Service Packを1台のサーバーに展開する	Smart Update Manager (SUM) https://www.hpe.com/info/sum-docs
Service Packを複数のサーバーに展開する	HPE OneView https://www.hpe.com/support/oneview-docs
<ul style="list-style-type: none"> 分散されたサーバーインフラストラクチャーのサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベースの管理を可能にする 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する 自動iLOファームウェアアップデートを受け取る ベースラインアップデートアラートを受け取る 	HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs

サーバーの構成

構成する対象

使用

単一サーバー (GUI)	<ul style="list-style-type: none">• Intelligent Provisioning https://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs• iLOリモートコンソールまたはWebインターフェイス https://www.hpe.com/support/ilo6• UEFIシステムユーティリティ https://www.hpe.com/info/UEFI-manuals• HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs
単一サーバー (スクリプト)	<ul style="list-style-type: none">• RESTfulインターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs• Python iLO Redfishライブラリ (python-ilo-rest-library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilo-rest-library• Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powershell/docs• iLO RESTful API https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/• HPE GreenLake for Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/
複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか)	<ul style="list-style-type: none">• HPE OneView¹ https://www.hpe.com/support/oneview-docs• HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs<ul style="list-style-type: none">◦ サーバーの設定 : ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。◦ サーバーグループ : 関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

¹ HPE OneViewを実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLOなどの別のツールを使用しないでください。HPE OneViewとiLOを使用して、同じサーバーを管理する方法については、iLOユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/ilo6>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ	ドキュメント
SRコントローラー	-
Gen11	HPE SR Gen11コントローラーユーザーガイド https://hpe.com/support/SR-Gen11-UG
Gen10	HPE SmartアレイSR Gen10コントローラーユーザーガイド https://www.hpe.com/support/SR-Gen10-UG
MRコントローラー	-
Gen11	HPE MR Gen11コントローラーユーザーガイド https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG
世代間MRガイド	<ul style="list-style-type: none"> HPE MR Storage Administrator User Guide https://www.hpe.com/support/MRSA HPE MR StorCLI User Guide https://www.hpe.com/support/StorCLI

HPE NS204i ブートデバイスの管理

HPE NS204i ブートデバイスのサポートされている機能とメンテナンス情報について詳しくは、HPE NS204i ブートデバイスユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/NS204-UG>

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次のHPEサーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

接続先	参照
サーバーがSANから起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide
サーバーがPXEサーバーから起動するように構成する	HPE ProLiant Gen11サーバーおよびHPE Synergy用UEFIシステムユーティリティユーザーガイド https://www.hpe.com/support/UEFIGen11-UG-en
iLO仮想メディアを使用してOSを展開する	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/ilo6
Intelligent Provisioningを使用してOSを展開する	Intelligent Provisioningユーザーガイド https://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs

セキュリティの構成

接続先	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	<ul style="list-style-type: none"> HPE コンピュートセキュリティリファレンスガイド https://www.hpe.com/support/gen10-security-ref-ja HPE iLO 6セキュリティテクノロジーの概要 https://www.hpe.com/support/ilo6-security-ja
サーバー構成ロック機能が有効にされているHPE Trusted Supply Chainサーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en

サーバーの最適化

接続先	参照
管理およびチューニング機能を通じてサーバーのパフォーマンスを最適化します。	HPEサーバーパフォーマンス管理およびチューニングガイド https://www.hpe.com/support/gen10-intelligent-system-tuning-ja
誤った設定を解決するための推奨事項を入手します。	HPE InfoSight for Serversユーザーガイド https://www.hpe.com/support/InfoSight-for-Servers-UG-en

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO https://www.hpe.com/support/ilo-docs
複数サーバー	HPE OneView https://www.hpe.com/support/oneview-docs
単一または複数サーバー	HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs

Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

接続先	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。	HPE Performance Cluster Manager https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	HPE Cray Programming Environment User Guide https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

トラブルシューティング

サブトピック

NMI機能

トラブルシューティングの資料

NMI機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者はNMIクラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMIを使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者はiLO生成NMI機能を使って、OSに強制的にNMIハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングの資料は、以下のドキュメントのHPE Gen11サーバー製品で使用できます。

- HPE ProLiant Gen11サーバー用のトラブルシューティングガイドは、一般的な問題を解決するための手順を紹介し、障害を特定し識別するための一連の包括的な対策、問題の解決方法、ソフトウェアのメンテナンスについて説明しています。
- Error Message Guide for HPE ProLiant Gen11 servers and HPE Synergyでは、エラーメッセージのリストを提供し、エラーメッセージの意味と解決方法について説明しています。
- HPE ProLiant Gen11サーバーおよびHPE Synergy用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイドでは、クリティカルおよび警告IMLイベントを解決するためのIMLメッセージおよび関連するトラブルシューティング情報を提供します。

お使いの製品のトラブルシューティングの資料にアクセスするには、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)を参照してください。

仕様

サブトピック

[環境仕様](#)

[機械仕様](#)

[電源装置の仕様](#)

[ホットプラグ対応電源装置に関する計算](#)

環境仕様

仕様	値
温度範囲 ¹	–
動作時	10° C~35° C
非動作時	-30° C~60° C
相対湿度（ただし結露しないこと）	–
動作時	最小：-12° C露点温度または8%相対湿度 最大：24° C露点温度または90%相対湿度
非動作時	5~95% 38.7° C、最高湿球温度

¹ ここで示す温度の定格はすべて海拔0 mでのものです。海拔3,048 mまでは、高度が304.8 m上昇するごとに1.0° C下がります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は20° C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

特定の承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気温度の範囲が次のように拡大されます。

- 海拔0 mで5~10° Cおよび35~40° C。この温度は、海拔900 mから3048 mまでは、高度が175 m上昇するごとに1.0° C低

くなります。

- 海拔0 mで40~45° C。この温度は、海拔900 mから3048 mまでは、高度が125 m上昇するごとに1.0° C低くなります。このシステムの承認済みのハードウェア構成については、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)を参照してください。

機械仕様

仕様	値
高さ	4.29 cm (1.69インチ)
奥行き、SFF (2.5型)	75.31 cm (29.65インチ)
奥行き、LFF (3.5型)	77.30 cm (30.43インチ)
幅	43.46 cm (17.11インチ)
重量、SFF (2.5型) 最小	14.50 kg (32ポンド)
重量、SFF (2.5型) 最大	21 kg (46ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最小	14.50 kg (32ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最大	22 kg (48ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。

- [HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ \(HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)
- [HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ \(HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)
- [HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ \(HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)

サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/proliant/powersupply>) にあるQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

[HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ \(HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)

[HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ \(HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

[HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ \(HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)

HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	–
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240VAC 240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50～60 Hz 240 VDC時には該当しません
定格入力電流	9.1 A (100 VAC時) 4.4 A (200 VAC時) 3.6 A (240 VDC時 (中国のみ))
最大定格入力電力	899 W (100 VAC時) 867 W (200 VAC時) 864 W (240 VDC時 (中国のみ))
BTU/時	3067 (100 VAC時) 2958 (200 VAC時) 2949 (240 VAC時 (中国のみ))
電源装置出力	–
安定時定格電力	800 W (100～127 VAC入力時) 800 W (100～240 VAC入力時) 800 W (240 VDC入力時 (中国のみ))
ピーク時の最大電力	800 W (100～127 VAC入力時) 800 W (100～240 VAC入力時) 800 W (240 VDC入力時 (中国のみ))

HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
入力要件	–
定格入力電圧	100~127 VAC 200~240 VAC 240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	11.3 A (100 VAC時) 6.1A (200 VAC時)
最大定格入力電力	1103 W (100 VAC時) 1064 W (200 VAC時)
BTU/時	3764 (100 VAC時) 3629 (200 VAC時)
電源装置出力	–
安定時定格電力	1000 W (100~127 VAC時) 1000 W (200~240 VAC入力時)
最大ピーク電力	1000 W (100~127 VAC時) 1000 W (200~240 VAC時)

HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	–
定格入力電圧	200~240 VAC 240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	8.7 A (200 VAC時) 7.5 A (230 VAC時)
最大定格入力電力	1734 W (200 VAC時) 1727 W (230 VAC時)
BTU/時	5918 (200 VAC時) 5891 (230 VAC時)
電源装置出力	–
安定時定格電力	1600 W (200~240 VAC入力時) 1600 W (240 VDC入力時)
ピーク時の最大電力	1ミリ秒2200 W (ターボモード) (200~240 VAC入力時)

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

Webサイト

全般的なWebサイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>

上記以外のWebサイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

ストレージWebサイト

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス](#)

[アップデートへのアクセス](#)

[リモートサポート \(HPE通報サービス\)](#)

[カスタマーセルフリペア \(CSR\)](#)

[保証情報](#)

[規定に関する情報](#)

[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise WorldwideのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

マイHPEソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- eNewslettersおよびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates>

- お客様のエンタイトルメントを表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターMore Information on Access to Support Materialsページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

重要:

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品エンタイトルメントが必要な場合があります。関連するエンタイトルメントでHPE Passportをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。優れたイベント診断、Hewlett Packard Enterpriseへのハードウェアイベント通知の自動かつ安全な送信を提供します。また、お使いの製品のサービスレベルに基づいて高速かつ正確な解決方法を開始します。Hewlett Packard Enterpriseでは、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPE通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE Pointnext Tech Care

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/tech-care>

HPE Complete Care

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/complete-care>

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品はCSRの対象になりません。Hewlett Packard Enterpriseの正規保守代理店が、CSRによって修理可能かどうかを判断します。

CSRについて詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiantとIA-32サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE EnterpriseおよびCloudlineサーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPEストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPEネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterpriseは、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACHを含むHewlett Packard Enterprise製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などのHewlett Packard Enterpriseの環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterpriseでは、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントの改善に役立てるために、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) にあるフィードバックボタンとアイコン（開いているドキュメントの下部にあります）から、エラー、提案、またはコメントを送信いただけます。すべてのドキュメント情報は、プロセスによってキャプチャーされます。